

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

国民健康保険特別会計【茅野市】

事務事業名	食生活改善推進員育成事業	事業期間	平成 27 ~ 28 年度	整理番号	03020103
担当部署	健康福祉部 保健課	健康推進係	作成担当者名	藤森 ルリ子	連絡先
					326

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり
				施策	05	第5節 健康づくりの推進
				細施策	01	食育の促進と食の啓発
				事務事業	01	地区組織育成事業
	予算事業名	食生活改善推進員事業			会計コード	002 款 08 項 03 目 03 事業 02
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	・組織の育成・指導 ・会員の資質向上のための研修会を開催（健康・病態講座、料理実習）				
	現状と背景 （どうして）	市民の生活習慣病有病率の増加により、栄養・食生活の改善が必要。健康意識を高め、自分・家族・地域の健康づくりを推進する必要がある。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象	受益者 （誰のために）	食生活改善推進員及び市民		
		対象 （直接働きかける）	同上			
	手段・方法 （どうやって）	自分・家族の健康を考え、地域における健康づくり推進のため、健康な茅野市づくりの担い手として活躍できるリーダーを養成する。 研修会を開催し、会員の資質向上を図り、健康意識を高め、食に関心を持ってもらうことで健康づくりをより推進する。 毎月の研修会を通して、食の正しい知識、情報を食生活改善推進員へ伝えていく。 食育ボランティア団体として、自ら食育活動ができるようにサポートしていく。 おいしく楽しく健康講座を開催し、食生活改善推進員を増やす。				
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		研修会の開催（食改）	研修会開催数	回	研修会実施回数	14
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		食生活に関心を持ち、健康意識を高める	研修会参加者数	人	研修会参加者数	460

項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）
実 施 状 況 （ D O ）	事業費等 (a)	円	491,415	441,455	507,016	457,838	525,000
	財源内訳						
	国庫支出金	円					
	県支出金	円		87,754	153,615	79,000	
	地方債	円					
	その他特定財源	円	322,841	272,232	260,195	341,060	390,000
	一般財源	円	168,574	81,469	93,206	37,778	135,000
	職員数						
	正規職員	人	0.60	0.40	0.40	0.40	
	嘱託職員	人					
臨時職員	人						
合計	人	0.60	0.40	0.40	0.40		
	対象（者）数						
	延利用（者）数 (b)						
	単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—
	受益者負担額	円					
	市民一人当たりのコスト	円	9.00	8.00	9.00	8.00	9.00
O （ ）	活動指標	研修会開催数	目標	14	14	14	14
			実績	15	15	16	14
		達成率	%	107.14	107.14	114.29	100.00
	—	—	目標	—	—	—	—
			実績	—	—	—	—
		達成率	%	—	—	—	—
	成果指標	研修会参加者数	目標	460	460	460	460
			実績	347	420	445	423
		達成率	%	75.43	91.30	96.74	91.96
	—	—	目標	—	—	—	—
実績			—	—	—	—	
	達成率	%	—	—	—	—	
備考							

事務事業名	食生活改善推進員育成事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03020103
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	藤森ルリ子	連絡先	326

期	目標	実績	課題
第1期	地域における健康づくりのリーダーとして、自ら食育活動ができるように育成する。	おすすめレシピの調理実習を実施し、味付けやレシピの確認をおこない、地区料理講習会がスムーズにおこなわれるようにした。乳幼児健診試食作り勉強会の実施。月1回の研修会の開催。	地区料理講習会は保健指導員会からの依頼で実施しているが食改自ら開催できるようにできないか。試食作りは味付けや衛生面など注意することが多数あるので繰り返し担当者へ伝える必要がある。
第2期	地域における健康づくりのリーダーとして、自ら食育活動ができるように育成する。	月1回の学習会の開催、健康づくりのつどい、長野県食生活改善推進大会の参加のサポートをした。高校生等の食育活動の準備をし、調理実習の基本を学ぶ勉強会を行った。	食育活動を実践できるように学習会の内容を検討していく必要がある。
第3期	地域における健康づくりのリーダーとして、自ら食育活動ができるように育成する。	月1回の学習会の開催、地区料理講習会がスムーズに行えるようにサポートした。	高校生への食育に多くの委員がかかわってもらったが、経験の多い人と少ない人との能力の差が大きい。調理や実習の基本や手順を自ら考える力をつけるなど、継続して学習していく必要がある。
第4期	地域における健康づくりのリーダーとして、自ら食育活動ができるように育成する。	月1回の学習会の開催、地区育児相談試食づくり、地区料理講習会が4月より始まるので、3月中に研修会を計画、実施した。来年度の計画を立てた。	地区料理講習会や試食づくりなどの食育活動は、新しい会員も活動できるようにサポートする必要がある。

事中評価					
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今後の方向性	成果の方向性	②	⑤	⑦
新しく食育活動に参加してもらった食生活改善推進員には、ベテランの人と一緒にスムーズに活動が行えるようにする。		現状維持	③	⑥	⑨
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	方向性	縮小	④	⑧	⑩
研修会の内容の検討、実施時期の見直し。食育活動が継続できるようにサポート方法を検討する。		休廃止	①		
		皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性			

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
チェック					4					3					4	B
課題	研修会を通して、地域の食と健康のリーダーの育成が課題。まずは、自分、家族から地域へ食を通しての健康づくりや食育活動を行っていくこと。															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	B															
前年度評価シート整理番号																

総合評価	細施策評価前					細施策評価後				
	生活習慣病予防のための食生活は重要であるので、それを自分、家族はもちろんのこと、地域へ広めていくため継続が必要である。また、元気もりもり食育プランの推進のための食育ボランティア団体として、活躍できるような会に育成していきたい。	生活習慣病予防のための食生活は重要であるので、それを自分、家族はもちろんのこと、地域へ広めていくため継続が必要である。また、元気もりもり食育プランの推進のための食育ボランティア団体として、活躍できるような会に育成していきたい。								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

改革・改善の方向性(ACTION)	細施策評価前					細施策評価後				
	成果の方向性	②	⑤	⑦						
現状維持	③	⑥	⑨							
縮小	④	⑧	⑩							
休廃止	①									
皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性	皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性									
改革・改善策	地区料理講習会や高校生の食育活動が継続できるようにサポート方法を検討する。研修会を通して、食の正しい知識、情報を食生活改善推進員に伝えていく。					地区料理講習会や高校生の食育活動が継続できるようにサポート方法を検討する。研修会を通して、食の正しい知識、情報を食生活改善推進員に伝えていく。				

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	保健課長	両角直樹
---------	------------	---------	------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	保育所運営費事業（保育園における食育推進事業）	事業期間	平成 21 ~ 年度	整理番号	06020201
担当部署	こども部 幼児教育課 幼児教育係	作成担当者名	浜 ま ゆ み	連絡先	624

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 03 第3章 生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む 施策 01 第1節 周産・乳幼児期：みんなと遊び、人間としての生活や心の基本を身につける 細施策 03 子どもたちが様々な遊びや体験を通して心と体を育てられるよう応援します 事務事業 02 食育推進事業			
	予算事業名			会計コード 001 款 03 項 02 目 02 事業 02			
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）			子どもたちが、生涯にわたって健康で質の高い生活を送る基本としての「食を営む力」の基礎を培うことを目指して策定した、「茅野市食育推進計画」（元気もりもり食育プラン）の3つの柱（「地域の食文化を大切に守り、伝えます」「望ましい食生活で健康長寿を目指します」「食でコミュニケーションアップを図ります」）及び各園の食育推進計画を推進する。 給食調理業務は、平成14年度から茅野市総合サービスへ委託し、給食調理業務全般、給食材料の発注・検収、衛生管理業務等を行っている。			
	現状と背景 （どうして）			核家族化や氾濫する食品により、「食」に対する価値観の多様化により、食習慣の乱れ（朝食欠食）などが指摘されている。こうした中、子どもたちが日常生活の中で、身近に自分たちが食べるものについて「知る」機会を作ったり、どのように調理されるか「見る」匂いを「嗅ぐ」「触る」等「食」への関心を育み、子どもたちが自分自身で健康に生活できるような食育を推進する必要があるため。			
目的 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	対象 （ 誰 の た め に ）	受益者	保育園の園児、保護者				
	対象 （ 直 接 動 き か け る ）	対象	同上				
的 意 図 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）				「お腹がすくリズムももてる子ども」「食べたいもの、好きなものが増える子ども」「一緒に食べたい人がいる子ども」「食事作り、準備に関わる子ども」「食べ物を話題にする子ども」を目指す。			
手 段 ・ 方 法 （ ど う や っ て ）				「茅野市食育推進計画」（元気もりもり食育プラン）及び各園の食育推進計画を下記を中心に推進する。 ・食育だより等で家庭への情報提供 ・食育オリジナルキャラクター「3人の栄養マン」でバランスよく食べること（イラスト、パペットの利用等）を学び、食生活の実践に結びつくよう推進する。 ・給食での茅野産産利用の増加、園の栽培活動、調理等の体験活動の継続 ・保護者向けに食育を行う機会を設ける。			
N （ ）	評価 指 標 の 作 成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	
		活動 指 標	栄養士による園児への食育	保育園での実施回数	回	実施回数 18保育園×10回	180
		保護者への食育	保護者への実施回数	回	実施回数（18保育園、やまびこ園）	23	
	保護者が食生活に関心があり、意識を高めているか	保護者の3人の栄養マンの認知度	%	食生活アンケート「知っている保護者（家庭）数÷全保護者（家庭）数×100」	100		
	成 果 指 標	成 果 ・ 効 果 は 何 ？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	
朝食を毎日食べる園児の割合を増やす	朝食を毎日食べる割合	%	食生活アンケート「毎日食べる割合」	100			

実 施 状 況 （ D O ）	項 目	単 位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）
			事業費等(a)	円		44,100	29,160
財 源 内 訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
職 員 数	一般財源	円		44,100	29,160	29,160	46,000
	正規職員	人	0.15	1.39	1.77	1.65	
	嘱託職員 臨時職員 計	人					
対 象 （ 者 ） 数	対象（者）数						
	延利用（者）数(b)						
	単位コスト(a)/(b)	円	-	-	-	-	-
	受益者負担額	円					
活 動 指 標	保育園での実施回数	目標	180	180	180	180	180
		実績	180	180	180	180	180
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	保護者への実施回数	目標	18	23	23	23	23
		実績	8	15	19	25	23
	達成率	%	44.44	65.22	82.61	108.70	100.00
	保護者の3人の栄養マンの認知度	目標	100	100	100	100	100
		実績	70	78	79	80	80
	達成率	%	-	70.00	78.00	79.00	80.00
	成 果 指 標	朝食を毎日食べる割合	目標	100	100	100	100
実績			88	94	96	97	97
達成率		%	88.00	94.00	96.00	97.00	97.00
-	目標	-					
	実績	-					
達成率	%	-	-	-	-	-	
備 考	事務事業15給食調理業務を含む						

事務事業名	保育所運営費事業（保育園における食育推進事業）	事業期間	平成 21 ~	年度	整理番号	06020201	
担当部署	こども部	幼児教育課	幼児教育係	作成担当者名	浜 ま ゆ み	連絡先	624

期	目 標	実 績	課 題
第1期	栄養マンの出席シールの作成、活用 食生活アンケートの実施 保護者への支援 ホームページでの食育掲載 給食摂取量の見直し	栄養マンの出席シール作成、園配布 食生活アンケートの配布、回収依頼 家庭教育学級での保護者への講話 ホームページでの保育園の食育を作成した。 給食摂取量の算出	食生活アンケートの集計 摂取量の見直し
第2期	食生活アンケートの集計 離乳食についての共通認識 塩分計の活用	食生活アンケートを集計をした。 離乳食について保育士向け研修会の実施 味つけの見直し	食生活アンケートの結果の周知 保護者への支援
第3期	食生活アンケートの結果の周知(各園、保護者) 一日入園説明会での食育講話の実施	食生活アンケート結果を食育だよりに連続掲載 一日入園説明会を行った。	食生活アンケート結果の活用 保護者への支援
第4期	一日入園説明会での食育講話の実践 離乳食についての見直し	一日入園説明会や家庭教育学級の実施で、ほとんどの園で、保護者に話す機会ができた。 離乳食面談票の見直しを行った。	保護者への支援 職員間の共通認識

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 食生活の実態把握は、健康で過ごすために子ども自身が将来にわたって、また保護者が実践ができるように活かしたい。給食はその見本になるように提供したい。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 性
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 保護者への働きかけを増やす。茅野市の食育キャラクターであるオリジナルの栄養マンの活用を増やす。現在、インパクトのあるパペットは課に1セットしかないが、栄養士2人がいつでもあらゆる場面で利用するためには2セット必要である。	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ① 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4			レ		3					4	B
課題	<p>家庭への食育をどのように働きかけがよいか、どのような内容にすると実践に結びつか、関心が高まるかが課題である。 保育士、栄養士、調理員等、職員間での共通理解、連携が必要である。また、保護者への理解促進を図るための情報発信が課題である。</p>															
記号の定義	<p>A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要</p>															
前年度総合評価判定	B															
前年度評価シート整理番号	03030324															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					
	・「元気もりもり食育プラン」でホームページ作成が検討されていたので、検討を重ね、実施できた。 ・栄養士から保護者への働きかけができる機会が増え、朝食についてお話ができた。 ・3人の栄養マンの食育エプロン、パペットの活用は、園児、保育士の関心が大きく、保護者への認知度も高まってきた。 ・各園で推進できるよう働きかけた。						・「元気もりもり食育プラン」でホームページ作成が検討されていたので、検討を重ね、実施できた。 ・栄養士から保護者への働きかけができる機会が増え、朝食についてお話ができた。 ・3人の栄養マンの食育エプロン、パペットの活用は、園児、保育士の関心が大きく、保護者への認知度も高まってきた。 ・各園で推進できるよう働きかけた。				
前年度改革・改善策の実施状況						前年度細施策評価における今後の方向性					

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 (ACTION)	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					
	成果の方向性	拡 充		②	⑤	⑦ ⑨	レ	拡 充			
方向性	現 状 維 持		③	⑥	⑩		現 状 維 持				
方向性	縮 小		④	⑧			縮 小				
方向性	休 廃 止	①					休 廃 止				
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					
改革・改善策	<p>・望ましい食生活の習慣化のために3人の栄養マンの活用は、視覚的に親しみやすい啓発のひとつである食育エプロン、パペットを活用することは、身近で目にとまる方法として意識が向くため、幅広く活用できる場を検討したい。パペットは印象に残るので、複数で活用できるようにしたい。 ・園児、家庭で食育の意識を高める方法として、3人の栄養マンの出席シールの利用は、食育の日のPRのひとつになっている。 ・職員間の共通認識を持ち、家庭で食育が進む方法の検討が必要。</p>					<p>・望ましい食生活の習慣化のために、視覚的に親しみやすく、意識が向きやすい3人の栄養マンの食育エプロン、パペットを活用することで、食育の推進に取り組む。 ・園児、家庭で食育の意識を高める方法として、3人の栄養マンの出席シールの利用は、食育の日のPRのひとつになっている。 ・職員間の共通認識を持ち、保護者の理解を得られるよう食育の重要性を家庭に発信することで食育の推進に取り組む。 ・パペットは、1セット追加購入したい。</p>					

最終評価年月日	平成28年5月16日	最終評価責任者	幼児教育課長	牛 山 津 人 志
---------	------------	---------	--------	-----------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	食育推進事業			事業期間	平成 22 ~ 29 年度	整理番号	06030103
担当部署	教育委員会事務局	学校教育課	教育総務係	作成担当者名	泉山 百合絵	連絡先	603
計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有 政策体系	政策	03	第3章 生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む		
			施策	02	第2節 児童・思春期：みんなと学び、豊かな人生を送るための基本を身につける		
			細施策	04	確かな学力が習得され、安心して教育が受けられる学校づくりをします		
			事務事業	04	食育推進事業		
予算事業名						会計コード	001 款 10 項 01 目 02 事業 02
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	食育推進事業を進めて、心身ともに健康な生徒、児童を育てる。						
現状と背景 （どうして）	食は、成長期の児童、生徒には必要なことであり、感心を抱かせるようにするとともに保護者にも大いに感心を持たせる。						
目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	児童、生徒および保護者					
	対象 （直接働きかける）	食の大切さを働きかける。					
	意図	教育としての食育を進めることで、食に関する感心を深める。					
手段・方法 （どうやって）	平成22年度に茅野市食育推進計画が策定されました。その計画に基づき新たに食育推進事業を強力に推進する。今まで進めてきた教育としての地産地消は大きな成果を上げている。今後も新しい推進計画に沿ってより進めたい。						
N （ ）	活動指標 の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	
		児童・生徒の地域食材活用	地域食材活用料理給食日	回	給食提供日数	13	
		手づくり弁当給食の実施	手づくり弁当	回	実施日数	13	
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	
		地場産食材の認知度の向上（セロリー認知人数）	地場産理解率	%	地場産認知生徒・児童/全生徒・児童数	100	
		子ども自ら弁当作り	手づくり弁当	回	制作日数	13	

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円	797,790	360,000	361,901	343,205	341,000	
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円						
一般財源	円	797,790	360,000	361,901	343,205	341,000	
職員数							
正規職員	人	0.60	0.60	0.60	0.60		
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合計	人	0.60	0.60	0.60	0.60		
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	14.00	6.00	6.00	6.00	6.00	
D （ ）	活動指標	地域食材活用料理給食日	目標	回	13	13	13
			実績	回	13	13	13
		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00
	手づくり弁当	目標	回	13	13	13	13
		実績	回	13	13	14	15
		達成率	%	100.00	100.00	107.69	115.38
—	目標	—	—	—	—	—	
	実績	—	—	—	—	—	
	達成率	%	—	—	—	—	
O （ ）	成果指標	地場産理解率	目標	%	100	100	100
			実績	%	—	89	84
		達成率	%	—	—	89.00	84.00
	手づくり弁当	目標	回	13	13	13	13
		実績	回	12	12	12	—
		達成率	%	92.31	92.31	92.31	—
備考	関連する市民プラン01050102食育推進計画の策定、推進 この計画に従い、新たに進める。市民プランの細施策において横断的な事務事業である。対象細施策の政策体系番号 03010302						

事務事業名	食育推進事業	事業期間	平成 22 ~ 29 年度	整理番号	06030103
担当部署	教育委員会事務局	学校教育課	教育総務係	作成担当者名	泉山 百合絵
				連絡先	603

期	目 標	実 績	課 題
第1期	・新入生へ食育ナフキン配布し食育指導に活用 ・各学校で手作り弁当の日実施、学習カード作成 ・郷土料理の日を実施し児童生徒保護者に伝えていく ・セルリーの日実施	・新入生へ食育ナフキン配布、給食時に食育指導 ・各学校の手作り弁当の日を調査 ・郷土食の日を実施(5月~) ・セルリーの日実施(6月)	・秋から実施する手作り弁当の日に向けて学習カードを作成する。 ・郷土食を伝えていくための資料を検討する。
第2期	・地場産野菜の給食への取入れ	・各学校地場産野菜の給食への取り入れ ・郷土料理の日を実施、掲示資料等を作成 ・健康展にて学校の食育紹介 ・ビーナチャンネルで朝食の大切さについて放送	・ビーナチャンネルで地場産団体の紹介を検討する。 ・学校給食のホームページを検討する。
第3期	・地場産野菜の給食への取入れ、交流等 ・セルリーの日実施	・各学校地場産野菜の給食への取り入れ、生産者との交流給食等を実施 ・郷土料理の日を実施、内容に合わせた資料掲示 ・セルリーの日実施(11月)	・地場産団体の高齢化、後継者不足。
第4期	・食育だより発行(調査研究結果を家庭に伝える) ・地場産連絡会開催	・食育だよりを発行し、朝食・郷土食に関する調査結果とレシピの紹介(2月) ・地場産連絡会で実績報告・情報交換を行う(2月)	・食育だよりさらに興味をもってもらえるような紙面作成。 ・学校給食のホームページを作成する。

事 中 評 価

管 理	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 果 後 の 方 向 性	拡 充	②	⑤	⑦
	・手作り弁当の日の学習カードを作成し、活用していく。		現 状 維 持	③	⑥	⑨
	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)		縮 小	④	⑧	⑩
			休 廃 止	①		
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			

評価年度

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A
課 題	学校給食に、行事食および伝統食などを取り入れて、児童・生徒に食育の大切さを周知していく。給食地場産連絡会の協力をいただき、市内全小中学校に新鮮で安全でおいしい食材を給食に利用していく。															
記 号 の 定 義	A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	A															
前年度評価シート整理番号	06030108															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	食育推進計画を確実に推進するために、平成23年度から専属の栄養士を学校教育課に配属した。今までの学校給食栄養士との兼務では対応できない部分が改善された。児童・生徒を通じて、保護者まで食育の大切さを周知したい。						食育推進計画を確実に推進するために、平成23年度から専属の栄養士を学校教育課に配属した。今までの学校給食栄養士との兼務では対応できない部分が改善された。児童・生徒を通じて、保護者まで食育の大切さを周知したい。			
前年度改革・改善策の実施状況						前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後									
	今 後 の 方 向 性	成 果 後 の 方 向 性	拡 充	②	⑤	⑦	今 後 の 方 向 性	成 果 後 の 方 向 性	拡 充						
現 状 維 持		③	⑥	⑨	現 状 維 持				⑨						
縮 小		④	⑧	⑩	縮 小										
休 廃 止		①			休 廃 止										
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性								皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				
改 革 ・ 改 善 策	児童、生徒および保護者への食育の大切さを周知するために、栄養マンのパペット活用で授業および講演会活動をした。また、給食時の正しい配膳を示した給食用ナフキンの活用より、さらに食育を進める。					児童、生徒および保護者への食育の大切さを周知するために、栄養マンのパペット活用で授業および講演会活動をした。また、給食時の正しい配膳を示した給食用ナフキンの活用より、さらに食育を進める。絵本などに出てくる料理を取り上げたり、地産の食材を取り上げるメニューを工夫するなど、今後も食育を意識した学習を進める。									

最終評価年月日	平成28年4月28日	最終評価責任者	学校教育課長	平 出 信 次
---------	------------	---------	--------	---------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

国民健康保険特別会計【茅野市】

事務事業名	離乳食教室事業	事業期間	平成 27 ~ 28 年度	整理番号	03020104
担当部署	健康福祉部 保健課	作成担当者名	神澤 活枝	連絡先	326

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり
				施策	05	第5節 健康づくりの推進
				細施策	01	食育の促進と食の啓発
				事務事業	03	健康づくり事業
	予算事業名	離乳食教室事業費			会計コード	002 款 08 項 03 目 02 事業 01
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	ごっくん離乳食教室：4～6か月の赤ちゃんと保護者対象とし、年6回健康管理センターで実施する。 もぐもぐ離乳食教室：7～8か月の赤ちゃんと保護者対象とし、年6回健康管理センターで実施する。 かみかみ離乳食教室：9～11か月の赤ちゃんと保護者対象とし、年6回健康管理センターで実施する。				
	現状と背景 （どうして）	生活様式の多様化、様々な情報が氾濫する中、子どもの頃からの生活リズムの乱れが目立つ。生活リズムは大人の生活、食事が関係していて、生活習慣病有病率の増加にもつながっている。食環境が多様化した中で、健康を維持・増進する為に望ましい食品を選択する力、望ましい食生活を送る力をつける等健康意識を高め、実践していく必要がある。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象	受益者 （誰のために）	市民		
		対象	対象 （直接働きかける）	同上		
		意図	離乳食についての正しい知識を習得し、健康意識を高め、子どもや家族の健康増進のため望ましい食生活を実践する。			
	手段・方法 （どうやって）	4か月健診・10か月健診及び広報で募集、各離乳食教室で次回のご案内、募集をする。 離乳食の話、調理説明、調理実習、試食、個別相談				
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		教室開催による食生活及び離乳食の理解の向上	教室実施回数	回	教室実施回数	18
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		食生活及び離乳食への理解・興味を持って実践につなげてもらう	教室参加者数	人	教室参加者数	360

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）
事業費等 (a)	円		141,370	146,022	116,038	265,000
財源内訳						
国庫支出金	円					
県支出金	円				22,000	
地方債	円					
その他特定財源	円		103,447	107,511	86,442	197,000
一般財源	円		37,923	38,511	7,596	68,000
職員数	人		0.30	0.30	0.30	
正規職員	人					
嘱託職員	人					
臨時職員	人					
合 計	人		0.30	0.30	0.30	
対象（者）数						
延利用（者）数 (b)						
単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—
受益者負担額	円					
市民一人当たりのコスト	円	—	3.00	3.00	2.00	5.00
D O （ ）	活動指標	教室実施回数	目標	実績	達成率	
			18	18	100.00	
	—	目標	実績	達成率		
		—	—	—	—	
成果指標	教室参加者数	目標	実績	達成率		
		360	340	94.44		
—	目標	実績	達成率			
	—	—	—	—		
備考	H24健康づくり事業 決算額 489733円					

事務事業名	離乳食教室事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03020104
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	神澤活枝	連絡先	326

期	目 標	実 績	課 題
第1期	参加者にわかりやすい媒体、資料、話の内容を検討する。	各離乳食教室を開催した。4か月健診、10か月健診でのPRIにより、各離乳食教室での参加者が増えた。	参加者が話や資料や媒体から、より理解が深まるよう、さらに検討が必要である。
第2期	参加者にわかりやすい媒体、資料、話の内容を検討する。離乳食教室の検討会を立ち上げ、来年度の教室運営について検討する	各離乳食教室を開催した。離乳食教室の検討会を立ち上げ、来年度の教室運営について検討した。	来年度の教室運営について検討中だが、参加者の満足度がより高まる教室にするにはどうしたらよいか、いろいろな職種から意見を聞き、さらに検討が必要である。
第3期	参加者にわかりやすい媒体、資料、話の内容を検討する。離乳食教室の検討会で、来年度の教室運営について検討する	各離乳食教室を開催した。離乳食教室の検討会を立ち上げ、来年度の教室運営について検討した。	参加者から希望のある、ばくばく教室を立ち上げるための検討していく必要がある。
第4期	参加者にわかりやすい媒体、資料、話の内容を検討する。離乳食教室の検討会で、来年度の教室運営について検討する	各離乳食教室を開催した。離乳食教室の検討会を立ち上げ、来年度の教室運営について検討した。ばくばく離乳食教室の試食レシピの試食、検討をした。	ばくばく離乳食教室の内容や資料を検討し、来年度より実施できるようにする。

事 中 評 価																					
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 後 の 方 向 性																				
離乳食教室の検討会で参加者がより満足する内容について検討した。要望のあるばくばく教室(11か月～1歳2か月対象)を来年度より実施していく。																					
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)																					
離乳食教室の検討会で検討した結果、ごっくん教室は4か月健診での内容を充実させることで中止し、もぐもぐ離乳食教室を毎月開催、ばくばく教室を新たに隔月で開催していく。食生活改善推進員の報償費を実状に合わせて要求していく。																					
<table border="1"> <tr> <td>成果の方向性</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> <td>レ</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		成果の方向性	②	⑤	⑦	レ	現状維持	③	⑥	⑨		縮小	④	⑧	⑩		休廃止	①			
成果の方向性	②	⑤	⑦	レ																	
現状維持	③	⑥	⑨																		
縮小	④	⑧	⑩																		
休廃止	①																				
皆 減 縮 小 現状維持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性																					

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A

課 題	参加者の多様な疑問に答えられるように、スタッフの力量をつけていくこと。	記号の定義 A:計画どおり事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休・廃止の検討が必要
前年度総合評価判定	A	
前年度評価シート整理番号		

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	今年度は参加者が増え、参加者も身近な疑問をスタッフから情報を得たり、仲間づくりもできた方が多く好評だった。多様な疑問に対して、十分な支援をして行かれるよう、力量形成をしていきたい。	参加者がお話や資料や媒体からより理解が深まるよう、さらに検討が必要である。								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	かみかみ離乳食以降の教室がなく要望もあるが、新年度より1歳6か月健診で栄養個別相談を実施していき、参加者の疑問に答えたり情報提供を行っていく。	H28年度より、もぐもぐ離乳食教室を毎月開催し、新規にばくばく離乳食教室を隔月で実施に変更する。4か月健診で離乳食コーナーを作り、全員に離乳食開始がスムーズにできるように支援をする。もぐもぐ離乳食教室を毎月開催にして、いつでも相談できる体制にする。10か月健診、赤ちゃん相談での個別相談の充実。要望が多かった、ばくばく離乳食教室を新規に開催し、離乳食完了まで切れ目ない支援をしていく。もぐもぐ、ばくばくともに対象月齢を長くし、参加できる機会を増やします。								
今 後 の 方 向 性	今 後 の 方 向 性									

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	保健課長	両角直樹
---------	------------	---------	------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

国民健康保険特別会計【茅野市】

事務事業名	食育事業	事業期間	平成 ~ 年度	整理番号	03020105
担当部署	健康福祉部 保健課	作成担当者名	神澤活枝	連絡先	326

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり		
			施策 05 第5節 健康づくりの推進			
			細施策 01 食育の促進と食の啓発			
			事務事業 03 健康づくり事業			
予算事業名	食育事業費			会計コード 002 款 08 項 03 目 03 事業 01		
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	親子料理教室：茅野市内の小学生親子を対象とし、夏と秋各2回ずつ学校の休日を利用して実施する。 男性料理教室：茅野市内の成人男性を対象とし、年3回実施する。 子育てママの料理教室：子育て中の母を対象とし、同じテーマで2回ずつ夏と冬に実施。子育て中でも参加しやすいように託児つきで行う。 料理講座：市内在住の成人男女を対象に年6回実施。					
現状と背景 （どうして）	生活様式が多様化、情報が氾濫する中、生活リズム・食生活の乱れが目立つ。生活リズム、食事の偏りによる生活習慣病有病率の増加にもつながっている。このような中で、様々なライフステージにおいて健康を維持・増進するために、望ましい食生活を送る力をつける等、健康意識を高め実践していく必要がある。					
目的 （どんな状態にしたいか）	受益者 （誰のために）	市民				
	対象 （直接働きかける）	同上				
	意図	食に対する正しい知識を習得し、健康意識を高め、自分や家族の健康増進のために望ましい食生活を実践する。				
手段・方法 （どうやって）	・親子料理教室：学校を通しチラシの配布、食育の話、調理実習、試食 ・男性料理教室、子育てママの料理教室、料理講座：テーマを設けて企画し広報で募集、健康に関する話、調理実習、試食					
N （ ）	活動指標 の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		食生活改善の重要性の理解度の向上	教室実施回数	回	教室実施回数	17
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		食生活に興味、関心を持ってもらう	教室参加者数	人	教室参加者数	420

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）
事業費等 (a)	円		412,427	397,206	385,111	460,000
財源内訳						
国庫支出金	円					
県支出金	円				24,000	
地方債	円					
その他特定財源	円		301,791	292,446	286,883	375,000
一般財源	円		110,636	104,760	74,228	85,000
職員数	人		0.30	0.30	0.30	
正規職員	人					
嘱託職員	人					
臨時職員	人					
合 計	人		0.30	0.30	0.30	
対象（者）数						
延利用（者）数 (b)						
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
受益者負担額	円					
市民一人当たりのコスト	円	-	7.00	7.00	7.00	8.00
D （ ）	活動指標	教室実施回数	目標	実績	達成率	
			回	17	17	100.00
	-	目標	実績	達成率		
			-	-	-	
O （ ）	成果指標	教室参加者数	目標	実績	達成率	
			人	420	399	95.00
	-	目標	実績	達成率		
			-	-	-	
備考	H24 健康づくり事業 決算額 489,733円					

事務事業名	食育事業	事業期間	平成	~	年度	整理番号	03020105
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	神澤活枝	連絡先	326

期	目標	実績	課題
第1期	各料理教室の開催内容を企画し、募集する。	料理講座の企画、募集を行った。	募集中のため、特になし。
第2期	各料理教室の開催内容を企画し、募集する。魅力ある講座の企画をしていく。	親子料理教室・料理講座・子育てママの料理教室の企画募集を行った。	子育てママの料理教室は、ほとんどの参加者が託児希望で、それ以外の方の参加者が少ない。
第3期	各料理教室の開催内容を企画し、募集する。魅力ある講座の企画をしていく。	親子料理教室・料理講座・男性料理教室の企画募集を行った。	男性料理教室の参加人数が少なかった。料理講座の参加者はリピーターが多く、より多くの人に参加してもらうにはどうしたらいいか検討が必要。
第4期	各料理教室の開催内容を企画し、募集する。魅力ある講座の企画をしていく。	料理講座の企画、募集を行った。	料理講座の参加者はリピーターが多く、より多くの人に参加してもらうにはどうしたらいいか検討が必要。

事中評価																													
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 特になし	<table border="1"> <tr> <td>今</td> <td>成果</td> <td>拡充</td> <td></td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>後</td> <td>の</td> <td>現状維持</td> <td></td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>の</td> <td>方向性</td> <td>縮小</td> <td></td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>方向性</td> <td>方向性</td> <td>休廃止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性</p>	今	成果	拡充		②	⑤	⑦	後	の	現状維持		③	⑥	⑨	の	方向性	縮小		④	⑧	⑩	方向性	方向性	休廃止	①			
今	成果	拡充		②	⑤	⑦																							
後	の	現状維持		③	⑥	⑨																							
の	方向性	縮小		④	⑧	⑩																							
方向性	方向性	休廃止	①																										
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 参加者にとって魅力的な講座の企画を考える。																													

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定	
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定		
評価の観点					4					4					4	A	
チェック																	
課題	料理講座参加者のリピーターが多い。幅広い対象者に参加してもらいたい。子育てママの料理講座は、託児のある講座で託児希望のある参加者が中心となるため、託児等スタッフの人数が多い。															記号の定義	A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要
																前年度総合評価判定	A
																前年度評価シート整理番号	

総合評価	細施策評価前					細施策評価後				
	どの講座も参加希望者が多く食育の推進もできて良かった。						どの講座も参加希望者が多く食育の推進もできて良かった。			
前年度改革・改善策の実施状況						前年度細施策評価における今後の方向性				

改革・改善の方向性	細施策評価前					細施策評価後					
	今	成果	拡充		②	⑤	⑦	成果	拡充		
後	の	現状維持		③	⑥	⑨	の	現状維持			⑨
方向性	方向性	縮小		④	⑧	⑩	方向性	縮小			
方向性	方向性	休廃止	①				方向性	休廃止			
	皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性					皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性					
改革・改善策	幅広く参加者を上げられるよう、テーマ等の企画を考える。子育てママの料理講座は託児希望者以外も参加をしようとする企画を考える。					幅広く参加者を上げられるよう、テーマ等の企画を考える。子育てママの料理講座は託児希望者以外も参加をしようとする企画を考える。					

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	保健課長	両角直樹
---------	------------	---------	------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

国民健康保険特別会計【茅野市】

事務事業名	食生活改善推進養成事業	事業期間	平成 27 ~ 28 年度	整理番号	03020106
担当部署	健康福祉部 保健課	健康推進係	作成担当者名	神澤 活枝	連絡先
					326

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり
				施策	05	第5節 健康づくりの推進
				細施策	01	食育の促進と食の啓発
				事務事業	03	健康づくり事業
	予算事業名	食生活改善推進養成事業			会計コード	002 款 08 項 03 目 03 事業 03
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	おいしく・楽しく健康講座：茅野市内の20歳から65歳くらいまでの成人男女の対象とし、年6回健康に関する講座を実施する。この講座を修了（所定の内容を学習）した人は、食生活改善推進協議会に入会する権利を持つ。				
	現状と背景 （どうして）	生活様式が多様化、情報が氾濫する中、生活リズム・食生活の乱れが目立つ。生活リズム、食事の偏りによる生活習慣病有病率の増加にもつながっている。このような中で、様々なライフステージにおいて健康を維持・増進するために、望ましい食生活を送る力をつける等、健康意識を高め実践していく必要がある。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象	受益者 （誰のために）	市民		
		対象 （直接働きかける）	同上			
		意図	食に運動健康に関する正しい知識を習得し、健康意識を高め、自分や家族の健康増進のために望ましい食生活を実践する。講座を修了（所定の内容を学習）した人は食生活改善推進協議会に入会する権利を取得する。			
	手段・方法 （どうやって）	年間計画を企画し広報、ピーナチャンネル、ホームページ、新聞、その他様々なところにチラシ配布して募集、食事・健康に関する話や体験をしたり、調理実習、試食を行う。また食品の衛生管理・遺伝子組み換えなど食品への知識を深めるために、食品工場への視察研修を行う。				
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		食生活改善の重要性の理解度の向上	教室実施回数	回	教室実施回数	6
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		食生活に興味、関心を持ってもらう	教室参加者数	人	教室参加者数	120

項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）
実 施 状 況 （ D O ）	事業費等 (a)	円		69,545	87,333	85,488	90,000
	財源内訳						
	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円		50,891	64,669	67,000	67,000
	一般財源	円		18,654	22,664	18,488	23,000
職員数							
正規職員	人		0.30	0.30	0.30		
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合計	人		0.30	0.30	0.30		
	対象（者）数						
	延利用（者）数 (b)						
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
	受益者負担額	円					
	市民一人当たりのコスト	円	-	1.00	2.00	2.00	2.00
活動指標	教室実施回数	目標		9	9	6	
		実績		9	9	6	
	達成率	%	-	100.00	100.00	100.00	-
	-	目標					
実績							
達成率	%	-	-	-	-	-	
成果指標	教室参加者数	目標		180	180	120	120
		実績		74	92	97	120
	達成率	%	-	41.11	51.11	80.83	100.00
	-	目標					
実績							
達成率	%	-	-	-	-	-	
備考	H24 健康づくり事業 決算額 489,733円 H27年度は、時間帯を午後から午前中にして時間を長くし、回数を9回から6回へ変更した。						

事務事業名	食生活改善推進養成事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03020106
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	神澤活枝	連絡先	326

期	目標	実績	課題
第1期	教室の開催内容を企画し、募集し実施する。	教室の開催内容を企画し、募集し実施した。	申込者が少なくなってきた。
第2期	参加者に満足感が得られるような内容を検討し実施する。	教室の開催内容を企画し、実施した。今年から、午前の6回コースにしたところ、参加人数が増えた。	30代から80代まで幅広い年齢の方があるので、参加者が満足できる講座にするため、さらに検討が必要である。
第3期	参加者に満足感が得られるような内容を検討し実施する。	教室の開催内容を企画し、実施した。	この講座は食生活改善推進員の養成講座でもあるが、食生活改善推進協議会への入会人数が少なくなってきた。
第4期	来年度の講座の内容について検討する	来年度の講座内容について検討した。	参加者を増やし、食生活推進改善員を増やせるような講座内容にすることが必要である。

事中評価																					
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 講座の回数や時間帯を変更したことで、参加者には調理実習の試食が昼頃できるので好評。スタッフが足りない場面があったので、来年度に向けて検討する。	今後の方向性																				
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 講座の回数や時間帯を変更したので、実情に合った予算請求をしていく。	方向性																				
	<table border="1"> <tr> <td>成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td></td> <td>現状維持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td></td> <td>休廃止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性</p>	成果の方向性	拡充	②	⑤	⑦		現状維持	③	⑥	⑨		縮小	④	⑧	⑩		休廃止	①		
成果の方向性	拡充	②	⑤	⑦																	
	現状維持	③	⑥	⑨																	
	縮小	④	⑧	⑩																	
	休廃止	①																			

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
チェック					4					4					4	A

課題	講座の参加者は増えてきたが、食生活改善推進協議会の入会者が少なかった。	記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要
		前年度総合評価判定 A
		前年度評価シート整理番号

総合評価	細施策評価前	細施策評価後
この講座は健康講座であると同時に食生活改善推進協議会の養成講座である。今年度の参加者は少なかったが規定の単位を受講して全員が修了し、食生活改善推進協議会へ入会を希望する参加者は70%と多かった。今後も元気もりもりプランの推進のための食育ボランティア団体で活躍できる人材を育成するため、実施していきたい。	H27年度は、時間帯を午後から午前中にして時間を長くし、回数を9回から6回へ変更した。参加人数が増え、参加者に好評でほとんどの方が修了証が取得できた。しかし食生活改善推進協議会に入会する人が少なかった。元気もりもり食育プラン推進のため、食育ボランティア団体で活躍できる人材育成が必要なので、講座参加者や食生活改善推進協議会への入会者を増やしていけるように講座を実施していくことが必要である。	
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性	

改革・改善の方向性	細施策評価前	細施策評価後																																
成果の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性</p>	拡充	②	⑤	⑦	現状維持	③	⑥	⑨	縮小	④	⑧	⑩	休廃止	①			<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td></td> <td></td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性</p>	拡充				現状維持			⑤	縮小				休廃止			
拡充	②	⑤	⑦																															
現状維持	③	⑥	⑨																															
縮小	④	⑧	⑩																															
休廃止	①																																	
拡充																																		
現状維持			⑤																															
縮小																																		
休廃止																																		

改革・改善策	参加者募集をピーナチャンネルで行う。いろいろな講座、健診等でチラシの配布先を増やす。	本年度も午前中、6回の講座とし、参加者を増やせるようにPRする。食生活改善推進協議会への入会者を増やす工夫をしていく。
--------	--	---

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	保健課長	両角直樹
---------	------------	---------	------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	食育推進計画推進事業	事業期間	平成 ~ 年度	整理番号	03020123
担当部署	健康福祉部 保健課 健康福祉係	作成担当者名	堀 美 恵	連絡先	326

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり		
			施策 05 第5節 健康づくりの推進			
			細施策 01 食育の促進と食の啓発			
			事務事業 04 食育推進計画の推進事業			
	予算事業名	食育推進計画推進事業費		会計コード 001 款 04 項 01 目 01 事業 08		
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	食に関する知識や食を選択する力を身につけ、健全な食生活を生涯に渡って実践することができることを目指して策定した、「茅野市食育推進計画」（元気もりもり食育プラン）の推進をする。				
	現状と背景 （どうして）	近年、生活様式の多様化により、生活習慣の乱れや生活習慣病の増加などが指摘されている。こうした中、生涯に渡って健全な食生活が実践できるよう、更なる取り組みを進めるため、国では平成17年に「食育基本法」が制定され、茅野市に於いても「食育推進計画」を推進する。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	受益者 市民			
		対象 （直接働きかける）	同上			
		意図	家庭を中心とした自分、家族の健康の維持、増進			
	手段・方法 （どうやって）	「元気もりもり食育プラン」の概要版をあらゆる機会配布しながら、PRし、啓発していく。健康増進のために、親しみやすい「3人の栄養マン」の普及（イラスト印刷やパペット利用）や食育講演会の開催、レシピの募集とレシピ集の発行を行うことで、食生活への実践に結び付くよう推進する。				
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		栄養マンパペットの活用数	パペット活用回数	回	パペット劇活用回数	45
		食育イベント&講演会の開催	食育イベント参加関係機関数	団体	参加関係機関数	15
		レシピ集作成	レシピ集発行部数	部	レシピ集作成	3,000
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		食生活に関心を持ち、健康意識を高める	パペットでの学習人数	人	パペットによる学習人数	1,100
食生活に関心を持ち、健康意識を高める		講演会参加人数	人	参加人数	240	

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）
事業費等 (a)	円	304,000	304,000	797,457	781,093	1,480,000
財源内訳						
国庫支出金	円					
県支出金	円					
地方債	円					
その他特定財源	円					
一般財源	円	304,000	304,000	797,457	781,093	1,480,000
職員数						
正規職員	人	0.50	0.50	0.50	0.50	
嘱託職員	人					
臨時職員	人					
合計	人	0.50	0.50	0.50	0.50	
対象（者）数						
延利用（者）数 (b)						
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
受益者負担額	円					
市民一人当たりのコスト	円	5.00	5.00	14.00	14.00	26.00
D （ ）	パペット活用回数	目標	回	40	40	40
		実績	回	26	34	38
	達成率	%	65.00	85.00	95.00	95.00
	食育イベント参加関係機関数	目標	団体			15
		実績	団体			14
	達成率	%	-	-	-	93.33
レシピ集発行部数	目標	部	3,000	3,000	3,000	
	実績	部	1,500	3,000	3,000	
達成率	%	-	50.00	100.00	100.00	
O （ ）	パペットでの学習人数	目標	人	800	1,000	1,000
		実績	人	1,800	1,000	1,100
	達成率	%	225.00	100.00	100.00	110.00
	講演会参加人数	目標	人	200	200	200
実績		人	200	200	150	
達成率	%	-	100.00	100.00	75.00	
備考	H26から栄養マンによる啓発事業、食育講演会での食育推進事業（国保会計）、レシピ応募事業を統一。H25決算額941,719円（一般財源666,304円）					

事務事業名	食育推進計画推進事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03020123
担当部署	健康福祉部	保健課	健康福祉係	作成担当者名	堀 美 意	連絡先	326

期	目 標	実 績	課 題
第1期	おもてなし編のレシピ集を発行し、活用できるようにする。 食育講演会の講師を決定する。 庁内推進委員会を開催する。	レシピ集を発行し、配布できるようにした。 庁内推進委員会を開催し、今年度の課題と推進目標を決めた。 食育講演会の講師を決定した。	食育推進委員会の全体会を早めに開催し、レシピ集募集や食育イベントについて決定する必要がある。 減塩を進める具体的方策について検討していく必要がある。
第2期	食育推進委員会の全体会を早めに開催し、レシピ集募集や食育イベントについて決定する。 減塩を進める具体的方策について検討する。	食育推進委員会を開催し、今年度の重点目標とレシピ集のテーマを決定し、募集を開始した。 塩分測定器を使つての塩分測定体験を料理教室や各種学習会に取り入れた。	食育イベント&講演会の準備を進める。 塩分測定体験を増やし、塩についての関心を高より高めていく。
第3期	食育イベントを開催する。 レシピ募集を行い、応募レシピ選定委員会を開催する。	食育イベント&講演会を開催した。 寒天ときのこのレシピを募集し、食育イベントでレシピの写真を展示して紹介した。 パペットを使用して、高校生に食育をした。	食育イベントでは、イベント参加団体が増えた。 保育園、学校との連携を強め、親世代に食育をする機会を増やしていく必要がある。
第4期	レシピ集をまとめ、発行に向けて編集する。 保育園、学校と連絡会議を開催し、次年度の計画を立てる。	レシピ集を編集し、業者決定のための入札に出した。 ホームページに職員向け掲示板を掲載したり、行政チャンネルでオリジナル劇を放送して、食育をPRした。	レシピの応募者数が減少している。 食育講演会の講師を早めに決定し、PRを早めに行う必要がある。

事 中 評 価																					
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 性																				
国保以外の働き世代への啓蒙が課題となっている。学校から生活習慣病予防のための食生活について保護者や事務職員に話す機会を得た。学校と保健課の連携を強化し、働き世代に食育をより推進し、生活習慣予防、重症化予防を進める。																					
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）																					
平成29年度に第二次食育計画策定になるので、第一次計画の評価と課題を明確にするために、28年度に市民アンケートを実施するための予算を要求する必要がある。																					
<table border="1"> <tr> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> <td>レ</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> <td></td> </tr> <tr> <td>①</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性</td> </tr> </table>		②	⑤	⑦	レ	③	⑥	⑨		④	⑧	⑩		①				皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			
②	⑤	⑦	レ																		
③	⑥	⑨																			
④	⑧	⑩																			
①																					
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性																					

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック			レ		3			レ		3					4	B
課題	食育計画の啓発にはさまざまな手法があると考えている。食育に関わる各団体等の横のつながりはどのようにしていくか。家庭での食育をどのように進めていくか、食育に関心の薄い20代、30代の若者にどのようにPRしたらよいかが課題である。															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	B															
前年度評価シート整理番号																

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					
	「元氣もりもり食育プラン」のPRのひとつとして、「3人の栄養マン」の普及ができるよう、地域や各種講座、乳幼児健診等でパペットの活用を設け、身近にできるあらゆる場面を活用する。 食育イベントでは昨年度より多くの団体の参加が得られた。 おもてなしレシピ集の発行では、多くの市民から問い合わせをいただき、家庭に取り入れてもらうことができた。 高校生への食育（家庭科での調理実習）が定着した。	「元氣もりもり食育プラン」のPRのひとつとして、「3人の栄養マン」の普及ができるよう、地域や各種講座、乳幼児健診等でパペットの活用を設け、身近にできるあらゆる場面を活用する。 食育イベントでは昨年度より多くの団体の参加が得られた。 おもてなしレシピ集の問い合わせが多かった。次回発行予定のかんてん・きのこレシピ集への問い合わせも多かった。 高校生への食育が定着してきたので、内容の充実を図る。									
前年度改革・改善策の実施状況	一部実施					前年度細施策評価における今後の方向性					

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	「元氣もりもり食育プラン」のPRとして、「3人の栄養マン」の普及ができるよう、パペットだけでなく、栄養マンエプロンも活用する。 食育イベントや講演会のPRを早期から行い、より多くの住民に参加してもらえるようにする。	「元氣もりもり食育プラン」のPRとして、「3人の栄養マン」の普及ができるよう、パペットだけでなく、栄養マンエプロンも活用する。 食育イベントや講演会のPRを早期から行い、より多くの住民に参加してもらえるようにする。 寒天・きのこレシピ集を発行し、地域食材をより多く家庭に取り入れてもらえるようにする。								
今後の方向性	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	保健課長	両角直樹
---------	------------	---------	------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

国民健康保険特別会計【茅野市】

事務事業名	食育推進計画推進事業（国保）			事業期間	平成	～	年度	整理番号	03020123
担当部署	健康福祉部	保健課	健康福祉係	作成担当者名	堀 美 恵		連絡先	326	

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり								
				施策	05	第5節 健康づくりの推進								
				細施策	01	食育の促進と食の啓発								
				事務事業	04	食育推進計画の推進事業								
	予算事業名	食育推進計画推進事業費			会計コード	002	款	08	項	02	目	01	事業	01
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	食に関する知識や食を選択する力を身につけ、健全な食生活を生涯に渡って実践することができることを目指して策定した、「茅野市食育推進計画」（元気もりもり食育プラン）の推進をする。												
	現状と背景 （どうして）	近年、生活様式の多様化により、生活習慣の乱れや生活習慣病の増加などが指摘されている。こうした中、生涯に渡って健全な食生活が実践できるよう、更なる取り組みを進めるため、国では平成17年に「食育基本法」が制定され、茅野市に於いても「食育推進計画」を推進する。												
	目的 的 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	対象 （ 誰 の た め に ）	市民											
		対象 （ 直 接 動 き か け る ）	同上											
	意 図 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	家庭を中心とした自分、家族の健康の維持、増進												
	手段・方法 （ ど う や っ て ）	「元気もりもり食育プラン」の概要版をあらゆる機会配布しながら、PRし、啓発していく。 健康増進のために、親しみやすい「3人の栄養マン」の普及（イラスト印刷やパペット利用）や食育講演会の開催、レシピの募集とレシピ集の発行を行うことで、食生活への実践に結び付けよう推進する。												
N （ ）	活動 指 標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値					
		栄養マンパペットの活用数	パペット活用回数	回	パペット活用回数				45					
		食育イベント&講演会の開催	食育イベント参加関係機関数	団体	参加関係機関数				15					
	成 果 指 標	成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値					
		食生活に関心を持ち、健康意識を高める	パペットでの学習人数	人	パペットによる学習人数				1,100					
		食生活に関心を持ち、健康意識を高める	講演会参加人数	人	参加人数				200					

実 施 状 況 （ ）	項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
	財 源 内 訳	事業費等(a)	円	304,000	304,000	392,340	428,036	446,000
国庫支出金		円						
県支出金		円			130,481	120,000		
地方債		円						
その他特定財源		円			227,031	302,343	445,000	
一般財源		円	304,000	304,000	34,828	5,693	1,000	
正規職員		人	0.50	0.50	0.50	0.50		
嘱託職員		人						
臨時職員		人						
合 計		人	0.50	0.50	0.50	0.50		
D （ ）	対象（者）数							
	延利用（者）数(b)							
	単位コスト(a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
	受益者負担額	円						
	市民一人当たりのコスト	円	5.00	5.00	7.00	8.00	8.00	
	活 動 指 標	パペット活用回数	目標	40	40	40	40	
			実績	26	34	38	43	
		達成率	%	65.00	85.00	95.00	107.50	-
		食育イベント参加関係 機関数	目標		7	12	14	
			実績	団体		6	12	15
達成率		%	-	85.71	100.00	107.14	-	
レシピ集発行部数	目標	部	3,000	3,000	3,000	3,000		
	実績	部		1,500	3,000	3,000		
達成率	%	-	50.00	100.00	100.00			
O （ ）	パペットでの学習人数	目標	800	1,000	1,000	1,000	1,000	
		実績	人	1,800	1,000	1,000	1,100	1,000
	達成率	%	225.00	100.00	100.00	110.00	100.00	
	講演会参加人数	目標	人		200	200	200	200
		実績	人		200	200	150	200
	達成率	%	-	100.00	100.00	75.00	100.00	
備 考	H26から栄養マンによる啓発事業、食育講演会での食育推進事業（国保会計）、レシピ応募事業を統一。 H25決算額941,719円（一般財源666,304円）							

事務事業名	食育推進計画推進事業（国保）	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03020123
担当部署	健康福祉部	保健課	健康福祉係	作成担当者名	堀 美 意	連絡先	326

期	目 標	実 績	課 題
第1期	おもてなし編のレシピ集を発行し、活用できるようにする。 食育講演会の講師を決定する。 庁内推進委員会を開催する。	レシピ集を発行し、配布できるようにした。 庁内推進委員会を開催し、今年度の課題と推進目標を決めた。 食育講演会の講師を決定した。	食育推進委員会の全体会を早めに開催し、レシピ集募集や食育イベントについて決定する必要がある。 減塩を進める具体的方策について検討していく必要がある。
第2期	食育推進委員会の全体会を早めに開催し、レシピ集募集や食育イベントについて決定する。 減塩を進める具体的方策について検討する。	食育推進委員会を開催し、今年度の重点目標とレシピ集のテーマを決定し、募集を開始した。 塩分測定器を使っての塩分測定体験を料理教室や各種学習会に取り入れた。	食育イベント&講演会の準備を進める。 塩分測定体験を増やし、塩についての関心をより高めていく。
第3期	食育イベントを開催する。 レシピ募集を行い、応募レシピ選定委員会を開催する。	食育イベント&講演会を開催した。 寒天ときのこのレシピを募集し、食育イベントでレシピの写真を展示して紹介した。 パペットを使用して、高校生に食育をした。	食育イベントでは、イベント参加団体が増えた。 保育園、学校との連携を強め、親世代に食育をする機会を増やしていく必要がある。
第4期	レシピ集をまとめ、発行に向けて編集する。 保育園、学校と連絡会議を開催し、次年度の計画を立てる。	レシピ集を編集し、業者決定のための入札に出した。 ホームページにも職員向け掲示板を掲載したり、行政チャンネルでオリジナル劇を放送して、食育をPRした。	レシピの応募者数が減少している。 食育講演会の講師を早目に決定し、PR期間を長く行って、より多くの人に周知する必要がある。

管 理	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の の 現 状 維 持 方 向 性 縮 小 休 廃 止 方 向 性	②	⑤	⑦	レ
	国保以外の働き世代への啓蒙が課題となっている。学校から生活習慣病予防のための食生活について保護者や事務職員に放す機会を得た。学校と保健課の連携を強化し、働き世代に食育をより推進し、生活習慣病予防、重症化予防を勧める。		③	⑥	⑨	
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）		④	⑧	⑩	
	平成29年度に第二次食育計画策定になるので、第一次計画の評価と課題を明確にするために、28年度に市民アンケートを実施するための予算を要求する必要がある。		①			
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			

評価年度	当年度
------	-----

評 価	視 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
		1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
	チェック			レ		3			レ		3					4	B
課 題	食育計画の啓発にはさまざまな手法があると考えている。食育に関わる各団体等の横のつながりはどのようにしていくか、家庭での食育をどのように進めていくか、食育に関心のない方にどのようにしたらよいかが課題である。																
		記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
		前年度総合評価判定					B					前年度評価シート整理番号					

評 価	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
	前年度改革・改善策の実施状況	一部実施
	前年度細施策評価における今後の方向性	

改 革 ・ 改 善 策	今 後 の 方 向 性						改 善 策					
	細 施 策 評 価 前			細 施 策 評 価 後			今 後 の 方 向 性			改 善 策		
	成 果 の 方 向 性	拡 充	現 状 維 持	縮 小	休 廃 止	①	成 果 の 方 向 性	拡 充	現 状 維 持	縮 小	休 廃 止	レ
		②	⑤	レ	⑦		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					

改 革 ・ 改 善 策	今 後 の 方 向 性	改 善 策
	「元氣もりもり食育プラン」のPRのひとつとして、「3人の栄養マン」の普及ができるよう、パペットだけでなく、栄養マンエプロンも活用する。 また、食育イベントや講演会のPRを早期から行い、より多くの住民に参加してもらえるようにする。	「元氣もりもり食育プラン」のPRとして、「3人の栄養マン」の普及ができるよう、パペットだけでなく、栄養マンエプロンも活用する。 食育イベントや講演会のPRを早期から行い、より多くの住民に参加してもらえるようにする。 寒天・きのこレシピ集を発行し、地域食材をより多く家庭に取り入れてもらえるようにする。

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	保健課長	両 角 直 樹
---------	------------	---------	------	---------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

国民健康保険特別会計【茅野市】

事務事業名	運動習慣づくり事業（国保）	事業期間	平成 19 ~ 年度	整理番号	03020108
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	森井潤
				連絡先	326

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり		
			施策 05 第5節 健康づくりの推進			
			細施策 02 運動習慣の定着と地域活動支援			
			事務事業 01 健康づくり事業			
	予算事業名	茅野市健康づくり事業費		会計コード	002 款 08 項 02 目 01 事業 01	
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	ウォーキングのつどい等を開催し、運動習慣の定着および啓発を行います。 ウォーキング庁内検討会において、統一したマップ、案内看板等の作成を検討する。				
	現状と背景 （どうして）	生活習慣病の増加およびそれに伴う医療費の増加が問題となっています。生活習慣病予防のため、また健康づくりのため運動が有効とされています。運動習慣のある人は、増加傾向にありますが一層の推進が必要と思われます。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	市民			
		対象 （直接働きかける）	同上			
		意図	生活習慣病予防・健康づくりのために定期的に運動をする市民が増加する。運動に関する意識のある方が増加する。			
	手段・方法 （どうやって）	ウォーキングのつどいの開催 ウォーキングマップの作成等 ウォーキングコース案内板設置				
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		ウォーキングのつどい等開催回数	開催回数	回	開催回数合計	1
		ウォーキングのマップの作成	作成箇所	箇所	作成箇所数	2
		ウォーキングコースの看板設置	設置場所	箇所	看板設置箇所	1
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		定期的な運動習慣のある人の増加	実施者の割合	%	定期的な運動習慣がある人の割合	60

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）		
事業費等 (a)	円	67,566	129,695	112,636	68,459	103,000		
財源内訳								
国庫支出金	円							
県支出金	円							
地方債	円							
その他特定財源	円	49,416	93,208	84,033				
一般財源	円	18,150	36,487	28,603	68,459	103,000		
職員数	人	0.34	0.34	0.34	0.34			
正規職員	人							
嘱託職員	人							
臨時職員	人							
合計	人	0.34	0.34	0.34	0.34			
対象（者）数	人							
延利用（者）数 (b)	人							
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-		
受益者負担額	円							
市民一人当たりのコスト	円	1.00	2.00	2.00	1.00	2.00		
D （ ）	活動指標	開催回数	目標	回	2	2	1	1
			実績	回	2	0	1	1
		達成率	%	100.00	0.00	100.00	100.00	
	作成箇所	目標	箇所					
		実績	箇所					
		達成率	%	-	-	-	-	
設置場所	目標	箇所						
	実績	箇所						
	達成率	%	-	-	-	-		
O （ ）	成果指標	実施者の割合	目標	%	60	60	60	
			実績	%	40	40	40	
		達成率	%	66.67	66.67	66.67	66.67	
	-	目標	-					
実績		-						
	達成率	%	-	-	-	-		
備考								

事務事業名	運動習慣づくり事業（国保）	事業期間	平成 19 ~	年度	整理番号	03020108
担当部署	健康福祉部 保健課	健康推進係	作成担当者名	森 井 潤	連絡先	326

期	目 標	実 績	課 題
第1期	市民の森の看板設置とマップ作成。	市民の森の看板設置について、生活環境課の担当と打ち合わせをし、市民団体への周知をしてもらった。	北山地区のマップ作成場所を検討する。ウォーキングのつどい開催を検討する。
第2期	市民の森の看板設置とマップ作成。	市民の森の看板設置について、生活環境課の担当と打ち合わせをし、市民団体への周知をしてもらった。	北山地区のマップ作成場所を検討する。ウォーキングのつどい開催を検討する。
第3期	市民の森の看板設置とマップ作成。	市民の森の看板設置について、生活環境課の担当と打ち合わせをし、市民団体への周知をしてもらった。 北山地区のマップ作成場所を検討した。 ウォーキングのつどいを開催した。（運動公園周 北山地区コミュニティーセンター担当者と打合せ	北山地区のマップ作成。 市民の森看板設置後のマップ作成。
第4期	北山地区マップ完成と市民の森の看板設置。	生活環境課の担当と打ち合わせをし、市民団体意向を取り入れた市民の森の看板設置。	マップの効果的な活用と看板を活用したウォーキングの効果の検証。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 住民の意向を取り入れる手段と方法について、他課との綿密な連携が必要。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 性
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 新たなマップ作成の候補地域の選定と看板の設置希望地域の把握と実施。	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ① 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 課 題	視 点					妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定						
チェック					4																B
課題	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な運動習慣のない人が半数以上います。 最終目標は、運動習慣の定着と生活習慣病の予防ですので、このことが実現できるようにすること。そのために、運動の楽しさや爽快感、効果等についてPRし、体験の機会を増やしていくことが課題です。 															記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要					
前年度総合評価判定																B					
前年度評価シート整理番号																03020107					

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
ウォーキングマップを米沢地区を作成しました。 各担当課と看板設置等について検討しました。	運動の楽しさや爽快感、効果等についてPRし、体験の機会を増やしていくことが課題です。	
前年度改革・改善策の実施状況	実施済	前年度細施策評価における今後の方向性

改 革 ・ 改 善 策	今 後 の 方 向 性					改 善 策				
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定
ウォーキングのつどいを開催し、運動の楽しさや関心を持ってもらうイベントとして継続していく。 今後は、地域の特性を生かして、史跡や四季を楽しむ等の付加価値をつけて、ウォーキングマップを作成し、ウォーキングの定着を目指していきたい。 ウォーキングコースに看板を設置し、見やすさ・使いやすさを検討していきたい。					4					
運動の楽しさや爽快感、効果等についてPRし、体験の機会を増やしていくことが課題です。										
前年度改革・改善策の実施状況	実施済	前年度細施策評価における今後の方向性								

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	保健課長	両角直樹
---------	------------	---------	------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	運動習慣づくり事業	事業期間	平成 19 ~ 年度	整理番号	03020108
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	森井潤
				連絡先	326

計	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり								
				施策	05	第5節 健康づくりの推進								
				細施策	02	運動習慣の定着と地域活動支援								
				事務事業	01	健康づくり事業								
画	予算事業名				会計コード	001	款	04	項	01	目	01	事業	07
	事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	ウォーキングのつどい等を開催し、運動習慣の定着および啓発を行います。 ウォーキング庁内検討会において、統一したマップ、案内看板等の作成を検討する。												
	現状と背景 (どうして)	生活習慣病の増加およびそれに伴う医療費の増加が問題となっています。生活習慣病予防のため、また健康づくりのため運動が有効とされています。運動習慣のある人は、増加傾向にありますが一層の推進が必要と思われます。												
	目的	受益者 (誰のために)	市民											
	対象 (直接働きかける)	同上												
	意図 (どんな状態にしたいか)	生活習慣病予防・健康づくりのために定期的に運動をする市民が増加する。運動に関する意識のある方が増加する。												
A	手段・方法 (どうやって)	ウォーキングのつどいの開催 ウォーキングマップの作成等 ウォーキングコース案内板設置												
	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値				
N	活動指標	ウォーキングのつどい等開催回数	開催回数	回	開催回数合計					1				
		ウォーキングのマップの作成	作成箇所	箇所	作成箇所数					2				
		ウォーキングコースの看板設置	設置場所	箇所	看板設置箇所					1				
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値				
	定期的な運動習慣のある人の増加	実施者の割合	%	定期的な運動習慣がある人の割合					60					

項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)	
実 施 状 況	事業費等(a)	円	67,566	129,695	1,232,136	896,196	1,160,000	
	財源内訳							
	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円	49,416	93,208				
	一般財源	円	18,150	36,487	1,232,136	896,196	1,160,000	
	職員数							
	正規職員	人	0.34	0.34	0.34	0.34		
	嘱託職員	人						
臨時職員	人							
合計	人	0.34	0.34	0.34	0.34			
対象(者)数	人							
延利用(者)数(b)	人							
単位コスト(a)/(b)	円	-	-	-	-	-		
受益者負担額	円							
市民一人当たりのコスト	円	1.00	2.00	22.00	16.00	21.00		
D	活動指標	開催回数	目標	回	2	2	1	1
			実績	回	2	0	1	1
	達成率	%	100.00	0.00	100.00	100.00	-	
	作成箇所	目標	箇所					
		実績	箇所					
	達成率	%	-	-	-	-	-	
設置場所	目標	箇所						
	実績	箇所						
達成率	%	-	-	-	-	-		
O	成果指標	実施者の割合	目標	%	60	60	60	60
			実績	%	40	40	40	40
	達成率	%	66.67	66.67	66.67	66.67	66.67	
	-	目標	-					
実績	-							
達成率	%	-	-	-	-	-		
備考								

事務事業名	運動習慣づくり事業	事業期間	平成 19 ~	年度	整理番号	03020108
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	森井潤	連絡先
						326

期	目 標	実 績	課 題
第1期	市民の森の看板設置とマップ作成。	市民の森の看板設置について、生活環境課の担当と打ち合わせをし、市民団体への周知をしてもらった。	北山地区のマップ作成場所を検討する。ウォーキングのつどい開催を検討する。
第2期	市民の森の看板設置とマップ作成。	市民の森の看板設置について、生活環境課の担当と打ち合わせをし、市民団体への周知をしてもらった。	北山地区のマップ作成場所を検討する。ウォーキングのつどい開催を検討する。
第3期	市民の森の看板設置とマップ作成。	市民の森の看板設置について、生活環境課の担当と打ち合わせをし、市民団体への周知をしてもらった。 北山地区のマップ作成場所を検討した。 ウォーキングのつどいを開催した。(運動公園周)	北山地区のマップ作成。 市民の森看板設置後のマップ作成。
第4期	北山地区マップ完成と市民の森の看板設置。	北山地区コミュニティセンター担当者と打ち合わせをし住民の意向を取り入れた北山地区マップ完成。 生活環境課の担当と打ち合わせをし、市民団体意向を取り入れた市民の森の看板設置。	マップの効果的な活用と看板を活用したウォーキングの効果の検証。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 住民の意向を取り入れる手段と方法について、他課との綿密な連携が必要。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 性
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 新たなマップ作成の候補地域の選定と看板の設置希望地域の把握と実施。	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック				レ	3				レ	3				レ	3	B
課題	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な運動習慣のない人が半数以上います。 最終目標は、運動習慣の定着と生活習慣病の予防ですので、このことが実現できるようにすること。そのために、運動の楽しさや爽快感、効果等についてPRし、体験の機会を増やしていくことが課題です。 															
CHICK	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					前年度総合評価判定					B
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ウォーキングマップを米沢地区を作成しました。 各担当課と看板設置等について検討しました。 					<ul style="list-style-type: none"> 運動の楽しさや爽快感、効果等についてPRし、体験の機会を増やしていくことが課題です。 					前年度評価シート整理番号					03020107

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 (ACTION)	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					
	成 果 の 方 向 性	拡 充	現 状 維 持	縮 小	休 廃 止	成 果 の 方 向 性	拡 充	現 状 維 持	縮 小	休 廃 止	
今 後 の 方 向 性											
		②	③	④	①						
		⑤	⑥	⑧							
		レ	⑨	⑩					レ		
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性									

改革・改善策	<ul style="list-style-type: none"> ウォーキングのつどいを開催し、運動の楽しさや関心を持ってもらうイベントとして継続していく。 今後は、地域の特性を生かして、史跡や四季を楽しむ等の付加価値をつけて、ウォーキングマップを作成し、ウォーキングの定着を目指していきたい。 ウォーキングコースに看板を設置し、見やすさ・使いやすさを検討していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動の楽しさや爽快感、効果等についてPRし、体験の機会を増やしていくことが課題です。
--------	--	--

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	保健課長	両角直樹
---------	------------	---------	------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

国民健康保険特別会計【茅野市】

事務事業名	地域健康づくり事業			事業期間	平成	～	年度	整理番号	03020137					
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	森井潤		連絡先	326						
計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり								
			施策	05	第5節 健康づくりの推進									
			細施策	02	運動習慣の定着と地域活動支援									
			事務事業	02	健康教室事業									
	予算事業名	茅野市健康づくり事業費			会計コード	002	款	08	項	02	目	01	事業	01
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	地域内で行う市民の健康推進。												
	現状と背景 （どうして）	生活習慣病の発症予防のため、地域住民の自主的な運動習慣の定着化と啓発を促進していくこと。												
	目的	受益者 （誰のために）	市民											
		対象 （直接働きかける）	同上											
	的 意 図 （どんな状態にしたいか）	地域住民が自主的に健康増進活動に取り組むよう、意識の向上を図り、定期的な運動習慣の定着に努める。												
	手段・方法 （どうやって）	チラシ作成、回覧板で周知する。												
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値				
		健康教室の開催	開催数	回	健康教室年間3回開催					3				
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値				
		定期的な運動習慣のある人の数	実施者の割合	%	定期的な運動習慣がある人の割合					70				

項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
実 施 状 況 （ ）	事業費等 (a)	円	71,000	14,967	18,000	6,000	24,000	
	財源内訳							
	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円	52,000	10,953	18,000	6,000	24,000	
	一般財源	円	19,000	4,014				
	職員数	人		0.01	0.01	0.01		
	正規職員	人						
	嘱託職員	人						
臨時職員	人							
合計	人		0.01	0.01	0.01			
	対象（者）数							
	延利用（者）数 (b)							
	単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—	
	受益者負担額	円						
	市民一人当たりのコスト	円	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
O （ ）	活動指標	開催数	目標	回	3	3	2	2
			実績	回	3	2	2	1
		達成率	%	100.00	66.67	100.00	50.00	—
	—	—	目標	—	—	—	—	—
			実績	—	—	—	—	—
		達成率	%	—	—	—	—	—
	成果指標	実施者の割合	目標	%	60	70	70	70
			実績	%	40	47	45	30
		達成率	%	66.67	67.14	64.29	42.86	64.29
	—	—	目標	—	—	—	—	—
実績			—	—	—	—	—	
	達成率	%	—	—	—	—	—	
備考	地区いきいき百人衆事業に活用							

事務事業名	地域健康づくり事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03020137
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	森井潤	連絡先	326

期	目 標	実 績	課 題
第1期	地域住民が自主的に健康増進活動に取り組むよう、意識の向上を図り、定期的な運動習慣の定着に努める。	5/23豊平地区縄文いきいき百人衆のつどい開催参加者30人	広報ちのが月1の発行になったため、タイミングによっては市民への周知が難しくなった。活動内容のマンネリ化、リニューアルを検討。
第2期	地域住民が自主的に健康増進活動に取り組むよう、意識の向上を図り、定期的な運動習慣の定着に努める。	保健福祉サービスセンター等における健康増進活動の中で講座・教室の開催案内を行った。	具体的事業の提案
第3期	地域住民が自主的に健康増進活動に取り組むよう、意識の向上を図り、定期的な運動習慣の定着に努める。	保健福祉サービスセンター等における健康増進活動の中で講座・教室の開催案内を行った。	具体的事業の提案
第4期	地域住民が自主的に健康増進活動に取り組むよう、意識の向上を図り、定期的な運動習慣の定着に努める。	保健福祉サービスセンター等における健康増進活動の中で講座・教室の開催案内を行った。	具体的事業の提案

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック				レ					レ				レ			B

課題	<p>・定期的な運動習慣のない人が半数以上います。 最終目標は、運動習慣の定着と生活習慣病の予防ですので、このことが実現できるようにすること。そのために、運動の楽しさや爽快感、効果等についてPRし、体験の機会を増やしていくことが課題です。</p>	<p>記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要</p>
前年度総合評価判定		
前年度評価シート整理番号		

細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
地域の特性を生かして、史跡や四季を楽しむ等の付加価値をつけて、運動習慣の定着を目指していきたい。	運動の楽しさや爽快感、効果等についてPRし、体験の機会を増やしていくことが課題です。
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性

今 後 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
成果の方向性	<p>拡 充 ② ⑤ ⑦ 現 状 維 持 ③ ⑥ ⑨ 縮 小 ④ ⑧ ⑩ 休 廃 止 ①</p>	<p>成 果 の 方 向 性 拡 充 現 状 維 持 縮 小 休 廃 止</p>
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性
改革・改善策	より住民ニーズをつかみ、地域の特性を生かして、史跡や四季を楽しむ等の付加価値をつけて、運動習慣の定着を目指していきたい。	運動の楽しさや爽快感、効果等についてPRし、体験の機会を増やしていくことが課題です。

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	保健課長	両角直樹
---------	------------	---------	------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名		健康教室事業		事業期間	平成 16 ~ 年度	整理番号	03050105	
担当部署		健康福祉部		作成担当者名	清水 利 恵	連絡先	82-0073	
計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり		
			施策	05	第5節 健康づくりの推進			
			細施策	02	運動習慣の定着と地域活動支援			
			事務事業	02	健康教室事業			
	予算事業名	西部保健福祉サービスセンター事業費			会計コード	001	款	03
	事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	いつまでも元気で健康で過ごすために運動は有効であり、運動を習慣付けることにより生活習慣病を予防する。そのための教室を開催し意識付けを促す。具体的には地域の方々への健康教室として地区をあげてのいきいき百人衆を開催したり、高齢者クラブ等地区の集まりでの健康講話を行う。						
	現状と背景 (どうして)	時代とともに便利な生活様式に変わってきており体を動かす機会が減っている。食生活の変化や運動不足により生活習慣病が増加しており、それに伴う医療費の増加も問題となっている。						
	目的	対象	受益者 (誰のために)	宮川地区、金沢地区の住民				
		対象	対象 (直接働きかける)	同上				
	的	意図 (どんな状態にしたいか)	生活習慣病の発症を予防し、いつまでも健康でいられるよう、運動に関心を持ってもらうようにする。					
手段・方法 (どうやって)	いきいき百人衆を開催し参加してもらい実際に運動を体験してもらったり、高齢者クラブや保健補導員会等地区の集まりで健康講話を行い、運動の大切さを知ってもらう。							
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など		最終目標値	
		いきいき百人衆の開催	開催回数	回	開催回数の合計			
		地区の集まりでの健康講話の実施	実施地区等数	区	実施地区等の合計			
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など		最終目標値	
		いきいき百人衆の開催率	開催率	%	開催回数÷目標回数		100	
		地区の集まりの開催率	開催率	%	開催区数÷目標開催区数		100	

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)	
事業費等(a)	円						
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
職員数	一般財源	円					
	正規職員	人					
	嘱託職員	人					
	臨時職員	人					
合計	人						
対象(者)数							
延利用(者)数(b)							
単位コスト(a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	-	
D O （ ）	活動指標	開催回数	目標	回			
			実績	回	1	1	1
	実施地区等数	目標	区				
		実績	区	17	16	9	3
	-	目標					
		実績					
成果指標	開催率	目標	%				
		実績	%	-	-	-	-
	開催率	目標	%				
		実績	%	-	-	-	-
備考							

事務事業名	健康教室事業	事業期間	平成 16 ~	年度	整理番号	03050105	
担当部署	健康福祉部	西部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	清水 利 恵	連絡先	82-0073

期 第 1 期	目 標		実 績		課 題		
事 中 評 価							
の 管 理	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化		今 後 の 方 向 性	成 果 拡 充	②	⑤	⑦
				現 状 維 持	③	⑥	⑨
				縮 小	④	⑧	⑩
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）			休 廃 止	①		
				皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			

評価年度		当年度												総合評価判定			
評 価 の 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総合評価判定	
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定		
チェック					4					レ	3					4	B
課 題	平成16年度から3年間のモデル事業としていきいき百人衆の立ち上げが始まり、地域住民が主体となり当初は10地区全地区で開催されていたが、モデル事業の終了後、組織の長くなり手がいない、活動の行き詰まり等により、開催地区が減少している。高齢者クラブ等での健康講話については要望も多く定期的実施できているが、更なる広がりをどうやって作るかと、割り当ての時間が短いという課題がある。															記 号 の 定 義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要
	前年度総合評価判定															B	
	前年度評価シート整理番号															03050105	
総 合 評 価	細 施 策 評 価 前						細 施 策 評 価 後										
	現在、ほとんどの地区で行きいき百人衆の活動が消滅しており生かされていない。地域住民の主体性に期待し運営も任せていたが、長くなり手がいない等住民の負担感が大きかった。今後の方向性を論議する必要がある。健康講話はある程度要望もあるが、高齢者クラブやそれ以外の集まりにも話す機会を広げていく必要がある。						現在、ほとんどの地区で行きいき百人衆の活動が消滅しており生かされていない。地域住民の主体性に期待し運営も任せていたが、長くなり手がいない等住民の負担感が大きかった。今後の方向性を論議する必要がある。健康講話はある程度要望もあるが、高齢者クラブやそれ以外の集まりにも話す機会を広げていく必要がある。										
	前年度改革・改善策の実施状況						一部実施						前年度細施策評価における今後の方向性				
改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 (A C T I O N)	細 施 策 評 価 前						細 施 策 評 価 後										
	成 果 拡 充			②	⑤	レ	⑦	成 果 拡 充						レ			
	現 状 維 持			③	⑥		⑨	現 状 維 持									
	縮 小			④	⑧		⑩	縮 小									
休 廃 止	①						休 廃 止										
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性						皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性										
	今後も高齢者クラブへの働き掛けや、保健補導員を通じ各行政区に健康の話聞く機会を設けてもらうよう働きかけを継続する。						今後も高齢者クラブへの働き掛けや、保健補導員を通じ各行政区に健康の話聞く機会を設けてもらうよう働きかけを継続する。										

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	西部保健福祉サービスセンター長	依 田 利 文
---------	------------	---------	-----------------	---------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	中部保健福祉サービスセンター健康教室事業	事業期間	平成 16 ~ 年度	整理番号	03060110
担当部署	健康福祉部	中部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	永田 そのか
				連絡先	82-0107

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり							
				施策	05	第5節 健康づくりの推進							
				細施策	02	運動習慣の定着と地域活動支援							
				事務事業	02	健康教室事業							
	予算事業名			会計コード	001	款	03	項	01	目	09	事業	04
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	地域の方々や高齢者クラブ等地域の集まりで健康教室を開催し、市民一人ひとりの健康意識を高めたり、具体的な健康づくりの方法について講話を行う。											
	現状と背景 （どうして）	近年少子高齢化により、疾病及び加齢に伴う医療や介護による負担が増加している。こうした変化に対応するためには市民一人ひとりが生活習慣病を予防し、社会生活を営むために必要な機能を維持・向上すること等によって健康づくりを推進することが必要である。											
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象	受益者 （誰のために）	ちの・米沢・中大塩地区の住民									
		対象	対象 （直接働きかける）	同上									
		意図	健康教室を実施することで個人の健康意識を向上させ、市民一人ひとりが健康を育む習慣に関心を持ち、健康づくりを自ら実施できるようになる。										
	手段・方法 （どうやって）	高齢者クラブや保健補導員会等地域の集まりで健康教室を行い、生活習慣病予防を主とした病気の理解を深め、心身の機能を維持・向上するために住民自ら健康づくりを進められるように支援します。											
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値				
		地区の集まりでの健康講話の実施	開催回数	区	開催回数の合計				13				
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値				
		地区の集まりの開催率	開催率	%	開催区数÷目標開催区数				100				

項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）
実 施 状 況 （ D O ）	事業費等 (a)	円					
	財源内訳						
	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
	一般財源	円					
	職員数						
	正規職員	人					
	嘱託職員	人					
臨時職員	人						
合計	人						
	対象（者）数						
	延利用（者）数 (b)						
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
	受益者負担額	円					
	市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	-
活動指標	開催回数	目標	13	13	13	13	25
		実績	23	20	20	38	
	達成率	%	176.92	153.85	153.85	292.31	-
成果指標	開催率	目標	100	100	100	100	100
		実績	100	100	100	100	
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	-
備考	目標	実績					
		達成率	%	-	-	-	-

事務事業名	中部保健福祉サービスセンター健康教室事業	事業期間	平成 16 ~	年度	整理番号	03060110	
担当部署	健康福祉部	中部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	永田 そのか	連絡先	82-0107

四 半 期 と の 管 理	期	目 標	実 績	課 題
	第1期			
	第2期			
	第3期			
	第4期			

事 中 評 価										
管 理	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化					今 後 の 方 向 性	成 果 的 拡 充	②	⑤	⑦
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）						現 状 維 持	③	⑥	⑨
							縮 小	④	⑧	⑩
							休 廃 止	①		
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性										

評価年度	
------	--

評 価 （ C H E C K ）	視 点	妥 当 性				有 効 性				効 率 性				総 合 評 価 判 定						
	評価の観点	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2		3	4	判定			
	チェック					4					レ	3					4	B		
課 題	高齢者クラブでは定例会を利用して健康講話の要望があるが、全地区には実施できておらず、また割り当ての時間が短いという課題がある。保健補導員主催の健康教室では参加者の集まりが悪く、開催する日程、時間等で工夫が必要である。												記 号 の 定 義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要						
	前年度総合評価判定					B					前年度評価シート整理番号					03060110				

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後									
	高齢者クラブでの健康講話はある程度要望があるが、高齢者クラブに加入する前の世代の方へも話す機会を広げていく必要がある。					高齢者クラブでの健康講話はある程度要望があるが、高齢者クラブに加入する前の世代の方へも話す機会を広げていく必要がある。									
	前年度改革・改善策の実施状況					一部実施					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 （ A C T I O N ）	今 後 の 方 向 性					今 後 の 方 向 性				
	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	成 果 的 拡 充	②	⑤	レ	⑦	成 果 的 拡 充			レ	
	現 状 維 持	③	⑥		⑨	現 状 維 持				
縮 小	④	⑧		⑩	縮 小					
休 廃 止	①				休 廃 止					
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性										
今後も高齢者クラブへの働き掛けや、保健補導員を通じ各行政区に健康の話聞く機会を設けてもらうよう働きかけを継続する。					今後も高齢者クラブへの働き掛けや、保健補導員を通じ各行政区に健康の話聞く機会を設けてもらうよう働きかけを継続する。					

最終評価年月日	平成28年4月27日	最終評価責任者	中部保健福祉サービスセンター長	保 科 実 早 子
---------	------------	---------	-----------------	-----------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名		健康教室事業			事業期間	平成 16 ~	年度	整理番号	03040105						
担当部署		健康福祉部			作成担当者名	金井美代子		連絡先	82-0026						
計	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり									
			施策	05	第5節 健康づくりの推進										
			細施策	02	運動習慣の定着と地域活動支援										
			事務事業	02	健康教室事業										
画	予算事業名					会計コード	001	款	03	項	01	目	09	事業	03
	事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)		いつまでも元気で健康で過ごすために運動は有効であり、運動を習慣付けることにより生活習慣病を予防する。そのための教室を開催し意識付けを促す。具体的には地域の方々への健康教室として地区をあげてのいきいき百人衆を開催したり、高齢者クラブ等地区の集まりでの健康講話を行う。												
	現状と背景 (どうして)		時代とともに便利な生活様式に変わってきており体を動かす機会が減っている。食生活の変化や運動不足により生活習慣病が増加しており、それに伴う医療費の増加も問題となっている。												
	目的	対象	受益者 (誰のために)	玉川地区、豊平地区、泉野地区の住民											
対象		対象 (直接働きかける)	同上												
L	的	意図 (どんな状態にしたいか)	生活習慣病の発症を予防し、いつまでも健康でいられるよう、運動に関心を持ってもらうようにする。												
		手段・方法 (どうやって)	いきいき百人衆を開催し参加してもらい実際に運動を体験してもらったり、高齢者クラブや保健補導員会等地区の集まりで健康講話を行い、運動の大切さを知ってもらう。												
N	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値						
		活動指標	いきいき百人衆の開催	開催回数	回	開催回数の合計									
		地区の集まりでの健康講話の実施	実施地区等数	区	実施地区等の合計										
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値						
	いきいき百人衆の開催率	開催率	%	開催回数÷目標回数				100							
	地区の集まりの開催率	開催率	%	開催区数÷目標開催区数				100							

実施状況	項目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)
			事業費等(a)	円			
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
	一般財源	円					
	職員数	人					
延利用(者)数(b)	正規職員	人					
	嘱託職員	人					
単位コスト(a)/(b)	臨時職員	人					
	合計	人					
受益者負担額	対象(者)数						
	市民一人当たりのコスト	円					
活動指標	開催回数	目標	回				
		実績	回	1	1	1	2
	達成率	%					
	実施地区等数	目標	区				
		実績	区	16	9	5	1
	達成率	%					
-	目標						
	実績						
達成率	%						
成果指標	開催率	目標	%				
		実績	%	1	1	1	2
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	
	開催率	目標	%				
実績		%	31	31	31		
達成率	%	51.61	29.03	16.13			
備考							

事務事業名	健康教室事業	事業期間	平成 16 ~	年度	整理番号	03040105	
担当部署	健康福祉部	東部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	金井美代子	連絡先	82-0026

期	目 標	実 績	課 題
第1期			
第2期	第1回豊平地区いきいき百人衆の実施	吉田山ウォーキングの実施	参加者が減少傾向にある
第3期	第2回豊平地区いきいき百人衆の実施	小泉山ウォーキングの実施	参加者が減少傾向にある
第4期			

事 中 評 価						
管 理	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 後 の 方 向 性	成 果 の 方 向 性	②	⑤	⑦
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）		拡 充			
			現 状 維 持	③	⑥	⑨
			縮 小	④	⑧	⑩
	休 廃 止	①				
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			

評価年度	
------	--

評 価	視 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
		1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
		チェック					4					レ	3				
課 題	平成16年度から3年間のモデル事業としていきいき百人衆の立ち上げが始まり、地域住民が主体となり当初は10地区全地区で開催されていたが、モデル事業の終了後、組織の長くなり手がいない、活動の行き詰まり等により、開催地区が減少している。高齢者クラブ等での健康講話については要望も多く定期的実施できているが、更なる広がりをどうやって作るかと、割り当ての時間が短いという課題がある。															記 号 の 定 義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要 前年度総合評価判定 B 前年度評価シート整理番号	
	前年度総合評価判定 B																
	前年度評価シート整理番号																

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	現在、ほとんどの地区で行きいき百人衆の活動が消滅しており生かされていない。地域住民の主体性に期待し運営も任せていたが、長くなり手がいない等住民の負担感が大きかった。今後の方向性を論議する必要がある。健康講話はある程度要望もあるが、高齢者クラブやそれ以外の集まりにも話す機会を広げていく必要がある。	現在、ほとんどの地区で行きいき百人衆の活動が消滅しており生かされていない。地域住民の主体性に期待し運営も任せていたが、長くなり手がいない等住民の負担感が大きかった。今後の方向性を論議する必要がある。健康講話はある程度要望もあるが、高齢者クラブやそれ以外の集まりにも話す機会を広げていく必要がある。								
前年度改革・改善策の実施状況	一部実施					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	成 果 の 方 向 性	②	⑤	レ	⑦	レ				
	休 廃 止	①								
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性							
今後も高齢者クラブへの働き掛けや、保健補導員を通じ各行政区に健康の話聞く機会を設けてもらうよう働きかけを継続する。										

最終評価年月日	平成28年5月19日	最終評価責任者	東部保健福祉サービスセンター長	依田利文
---------	------------	---------	-----------------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	北部保健福祉サービスセンター健康教室事業			事業期間	平成	～	年度	整理番号	03070110
担当部署	健康福祉部	北部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	中村紀子		連絡先	77-3000	

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり								
				施策	05	第5節 健康づくりの推進								
				細施策	02	運動習慣の定着と地域活動支援								
				事務事業	02	健康教室事業								
	予算事業名	北部保健福祉サービスセンター事業費			会計コード	001	款	03	項	01	目	09	事業	05
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	いつまでも元気で健康で過ごすために運動をはじめ適正な食生活を習慣付けることにより生活習慣病を予防する。そのための教室を開催し意識付けを促す。具体的には地域の方々への健康教室として地区をあげて、高齢者クラブ等地区の集まりでの健康講話を行う。												
	現状と背景 （どうして）	時代とともに便利な生活様式に変わってきており体を動かす機会が減っている。食生活の変化や運動不足により生活習慣病が増加しており、それに伴う医療費の増加も問題となっている。												
	目的 的 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	受益者 （誰のために）	湖東・北山地区の住民											
		対象 （直接働きかける）	同上											
	意図 （どんな状態にしたいか）	生活習慣病の発症を予防し、いつまでも健康でいられるよう、健康に関心を持ってもらうようにする。												
	手段・方法 （どうやって）	高齢者クラブや介護予防事業等地区の集まりで健康講話を行い、健康の大切さを知ってもらう。												
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値				
		活動指標	地区の集まりでの健康講話の実施	実施地区等数	区	実施地区等の合計								
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値				
		地区の集まりの開催率	参加者数	人										

実 施 状 況 （ D O ）	項目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
	実 施 状 況 （ D O ）	事業費等 (a)	円					
財源内訳								
国庫支出金		円						
県支出金		円						
地方債		円						
その他特定財源		円						
一般財源		円						
職員数		人						
正規職員		人						
嘱託職員		人						
臨時職員	人							
合計	人							
活 動 指 標 （ D O ）	対象（者）数							
	延利用（者）数 (b)							
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
	受益者負担額	円						
	市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	-	
	活動指標	実施地区等数	目標	区				
			実績	区	3	3	7	6
	活動指標	-	目標	%	-	-	-	-
			実績	%	5	3	7	6
	活動指標	-	目標	%	-	-	-	-
実績			%	-	-	-	-	
成果指標	参加者数	目標	人					
		実績	人	150	75	142	122	
成果指標	-	目標	%	-	-	-	-	
		実績	%	150	75	142	122	
成果指標	-	目標	%	-	-	-	-	
		実績	%	-	-	-	-	
備考								

事務事業名	北部保健福祉サービスセンター健康教室事業	事業期間	平成	~	年度	整理番号	03070110
担当部署	健康福祉部	北部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	中村紀子	連絡先	77-3000

四 半 期 と の 管 理	期	目 標	実 績	課 題
	第1期			
	第2期			
	第3期			
	第4期			

事 中 評 価

の 管 理	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 後 の 方 向 性	成 果 的 拡 充	②	⑤	⑦
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）		現 状 維 持	③	⑥	⑨
			縮 小	④	⑧	⑩
			休 廃 止	①		
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			

評価年度

評 価 （ C H E C K ）	視 点	妥 当 性				有 効 性				効 率 性				総 合 評 価 判 定 B			
	評価の観点	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2		3	4	判定
	チェック					4					レ	3					
課 題	高齢者クラブ等での健康講話については要望も多く定期的に実施できているが、更なる広がりやどうやって作るかと、割り当ての時間が短いという課題がある。												記 号 の 定 義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要				
前年度総合評価判定																	
前年度評価シート整理番号																	

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
	健康講話は要望もあるが、高齢者クラブやそれ以外の集まりにも話す機会を広げていく必要がある。	健康講話は要望もあるが、高齢者クラブやそれ以外の集まりにも話す機会を広げていく必要がある。
	前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 （ A C T I O N ）	今 後 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後			
	成 果 的 方 向 性	成 果 的 拡 充	②	⑤	レ	⑦
		現 状 維 持	③	⑥		⑨
		縮 小	④	⑧		⑩
休 廃 止		①				
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				
改 革 ・ 改 善 策	今後も高齢者クラブへの働き掛けや、保健補導員を通じ各行政区に健康の話聞く機会を設けてもらうよう働きかけを継続する。		今後も高齢者クラブへの働き掛けや、保健補導員を通じ各行政区に健康の話聞く機会を設けてもらうよう働きかけを継続する。			

最終評価年月日	平成28年4月12日	最終評価責任者	北部保健福祉サービスセンター長	牛 山 隆
---------	------------	---------	-----------------	-------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名		介護予防教室事業			事業期間	平成 20 ~ 年度	整理番号	03050106
担当部署		健康福祉部	西部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	清水 利 恵	連絡先	82-0073
計 画	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり				
				施策 05 第5節 健康づくりの推進				
				細施策 02 運動習慣の定着と地域活動支援				
				事務事業 03 介護予防教室事業				
	予算事業名	西部保健福祉サービスセンター事業費			会計コード	001	款	03
	事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	基本チェックリストにより把握した二次予防高齢者やその他の65歳以上の高齢者が、将来介護状態にならないように、その時期を少しでも遅らせるために、普段から行える介護予防についての学習や運動の場の提供をする介護予防教室として、各行政区等で脚腰おたっしや教室を実施する。						
	現状と背景 (どうして)	介護認定を受けている方のうち、転倒や骨折・認知症により寝たきりとなる方が多い現状の中で、元気なうちから将来介護状態にならないための取り組みに関心を持ってもらい、実際にそれを行う教室に参加する機会を提供する必要がある。						
目 的	対 象 (誰のために)	宮川・金沢地区の介護認定を受けていない65歳以上の高齢者						
	対 象 (直接働きかける)	同上						
	意 図 (どんな状態にしたいか)	介護予防教室を通じて定期的に外出する機会を作り、他者と話をしたり体を動かすことで心身の健康を維持して、いつまでも自分のできることを維持することができる。						
手 段・方 法 (どうやって)	介護予防事業を委託した事業所や脚腰おたっしや教室へ対象者に集まってもらい、運動や生活の中に取り入れられそうなことについてお話しをする。仲間と一緒に体を動かしたり、顔見知りになり話をしてもらうことで、定期的に外出する機会を得てもらう。							
	行政活動の結果からつくりだすものは何？		指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など		最終目標値	
評 価 指 標 の 作 成	活動指標	脚腰おたっしや教室の開催	開催回数	回	おたっしや教室(月1回)×1地区、OB会(月2回×1地区、月1回×6地区、半年開催1地			
	成果指標	介護予防教室(委託)の開催	開催回数	回				
	成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など		最終目標値		
		対象者の教室参加者率	参加者率	%	各地区の(教室参加者数(延)÷対象地区の高齢者数(延)の10%×100)		80	

項 目	単 位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)	
事業費等(a)	円						
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円						
一般財源	円						
職員数	人	0.13	0.13	0.13	0.13		
正規職員	人						
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合 計	人	0.13	0.13	0.13	0.13		
対象(者)数							
延利用(者)数(b)							
単位コスト(a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	-	
活動指標	開催回数	目標	回	51	102	114	114
		実績	%	-	-	-	-
	開催回数	目標	回	120	122	120	122
		実績	%	-	-	-	-
-	目標	%	-	-	-	-	
	実績	%	-	-	-	-	
成果指標	参加者率	目標	%	100	100	100	100
		実績	%	80	80	80	80
	達成率	%	80.00	80.00	80.00	80.00	
	達成率	%	80.00	80.00	80.00	80.00	
-	目標	%	-	-	-	-	
	実績	%	-	-	-	-	
備考							

事務事業名	介護予防教室事業	事業期間	平成 20 ~	年度	整理番号	03050106	
担当部署	健康福祉部	西部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	清水 利 恵	連絡先	82-0073

四 半 期 と の 管 理	期	目 標	実 績	課 題
	第1期			
	第2期			
	第3期			
	第4期			

事 中 評 価						
今 後 の 方 向 性	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	成 果 拓 充		②	⑤	⑦
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	現 状 維 持		③	⑥	⑨
		縮 小		④	⑧	⑩
		休 廃 止	①			
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拓 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				

評価年度	当年度
------	-----

評 価 課 題 （ C H E C K ）	視 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定	
	評価の観点	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定		B
	チェック					4			レ		3					4		

評 価 課 題 （ C H E C K ）	記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要
	前年度総合評価判定	B
	前年度評価シート整理番号	03050106

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 （ A C T I O N ）	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後						
	成 果 拓 充		②	⑤	レ	⑦	成 果 拓 充				レ	
	現 状 維 持		③	⑥		⑨	現 状 維 持					
今 後 の 方 向 性	縮 小		④	⑧		⑩	縮 小					
	休 廃 止	①					休 廃 止					
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拓 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拓 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					

改革・改善策	現在開催する地区に加え開催地区を増やし、より多くの方が参加し、外出の機会を作ってもらえるように進めていく。参加者が充実した気持ちで続けられるように内容の検討が必要である。また、実施地区を増やしていきたいが、保健師の業務量も増えることとなるため限られた人員の中でどのように実施していけばよいか介護予防事業担当課と協議していきたい。	現在開催する地区に加え開催地区を増やし、より多くの方が参加し、外出の機会を作ってもらえるように進めていく。参加者が充実した気持ちで続けられるように内容の検討が必要である。また、実施地区を増やしていきたいが、保健師の業務量も増えることとなるため限られた人員の中でどのように実施していけばよいか介護予防事業担当課と協議していきたい。
--------	--	--

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	西部保健福祉サービスセンター長	依 田 利 文
---------	------------	---------	-----------------	---------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	介護予防教室事業			事業期間	平成 20 ~ 年度	整理番号	03060106
担当部署	健康福祉部	中部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	永田 そのか	連絡先	82-0107
計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり	
				施策	05	第5節 健康づくりの推進	
				細施策	02	運動習慣の定着と地域活動支援	
				事務事業	03	介護予防教室事業	
	予算事業名			会計コード	001	款	03
	事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	基本チェックリストにより把握した二次予防高齢者やその他の65歳以上の高齢者が、将来介護状態にならないように、その時期を少しでも遅らせるために、普段から行える介護予防についての学習や運動の場の提供をする介護予防教室として、各行政区等で脚腰おたっしや教室を実施する。					
	現状と背景 (どうして)	介護認定を受けている方のうち、転倒や骨折・認知症により寝たきりとなる方が多い現状の中で、元気なうちから将来介護状態にならないための取り組みに関心を持ってもらい、実際にそれを行う教室に参加する機会を提供する必要がある。					
	目的 対象	受益者 (誰のために)	ちの・米沢・中大塩地区の介護認定を受けていない65歳以上の高齢者				
		対象 (直接働きかける)	同上				
	意図 (どんな状態にしたいか)	介護予防教室を通じて定期的に外出する機会を作り、他者と話をしたり体を動かすことで心身の健康を維持して、いつまでも自分のできることを維持することができる。					
	手段・方法 (どうやって)	介護予防事業を委託した事業所や脚腰おたっしや教室へ対象者に集まってもらい、運動や生活の中に取り入れられそうなことについてお話しをする。仲間と一緒に体を動かしたり、顔見知りになり話をしてもらうことで、定期的に外出する機会を得てもらう。					
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など		最終目標値
		脚腰おたっしや教室の開催	開催回数	回	おたっしや教室（月1回）×13区		156
	成果指標	介護予防教室（委託）の参加人数	参加人数	回			
		成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など		最終目標値
	対象者の教室参加率	参加率	%	各地区の（教室参加者数（延）÷対象地区の高齢者数（延）の10%×100）		80	

項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
実 施 状 況 （ D O ）	事業費等 (a)	円						
	財源内訳							
	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
	一般財源	円						
	職員数	人						
	正規職員	人	0.11	0.13	0.13	0.13		
	嘱託職員	人						
臨時職員	人							
合計	人	0.11	0.13	0.13	0.13			
	対象（者）数							
	延利用（者）数 (b)							
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
	受益者負担額	円						
	市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	-	
O （ ）	活動指標	開催回数	目標	126	144	156	156	137
			実績	126	144	156	137	
		達成率	100.00	100.00	100.00	87.82	-	
	-	参加人数	目標					
			実績	300	264	780	608	
		達成率	-	-	-	-	-	
	-	-	目標					
			実績					
		達成率	-	-	-	-	-	
	成果指標	参加率	目標	100	100	80	80	80
実績			80	80	80	80	80	
	達成率	80.00	80.00	100.00	100.00	100.00		
-	-	目標						
		実績						
	達成率							
備考								

事務事業名	介護予防教室事業	事業期間	平成 20 ~	年度	整理番号	03060106	
担当部署	健康福祉部	中部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	永田 そのか	連絡先	82-0107

四 半 期 と の 管 理	期	目 標	実 績	課 題
	第1期			
	第2期			
	第3期			
	第4期			

事 中 評 価					
今 後 の 方 向 性	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	成 果 的 拡 充	②	⑤	⑦
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	現 状 維 持	③	⑥	⑨
		縮 小	④	⑧	⑩
		休 廃 止	①		
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			

評価年度	
------	--

評 価 課 題 （ C H E C K ）	視 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定	
	評価の観点	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定		B
	チェック					4					3					4		
課 題	教室の開催により、近所の人を誘いあっていたことで参加者数が増えた地区と、参加者が固定されなかなか他の参加者が増えない地区があった。多くの方に参加してもらうためには、気軽に出かけられる雰囲気や運動のメニューなど内容についても検討が必要である。決まった期間でなく長期的に教室（集まり）を続けていくために、それぞれの地区においてボランティアや福祉推進委員等の協力者が必須である。参加者が教室に参加してどんな変化や効果を感じることができたのか評価も行っていく。															記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要	
																前年度総合評価判定	B	
																前年度評価シート整理番号	03060106	

総 合 評 価 （ C H E C K ）	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後														
	将来介護状態にならないように、その時期を少しでも遅らせるために、どのようなニーズを持っている方が多いのか、どのような開催方法であれば継続して参加してもらえるのか、地区の特色を掴みながら、実施地区を増やしていきたいが、保健師の業務量も増えることとなるため限られた人員の中でどのように実施していけばよいか考えていきたい。										将来介護状態にならないように、その時期を少しでも遅らせるために、どのようなニーズを持っている方が多いのか、どのような開催方法であれば継続して参加してもらえるのか、地区の特色を掴みながら、実施地区を増やしていきたいが、保健師の業務量も増えることとなるため限られた人員の中でどのように実施していけばよいか考えていきたい。									
	前年度改革・改善策の実施状況					一部実施	前年度細施策評価における今後の方向性													

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 （ A C T I O N ）	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後						
	成 果 的 拡 充		②	⑤	レ	⑦	成 果 的 拡 充				レ	
	現 状 維 持		③	⑥		⑨	現 状 維 持					
方 向 性	縮 小		④	⑧		⑩	縮 小					
	休 廃 止	①					休 廃 止					
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					
改 革 ・ 改 善 策	現在開催する地区に加え開催地区を増やし、より多くの方が参加し、外出の機会を作ってもらえるように進めていく。参加者が充実した気持ちで続けられるように内容の検討が必要である。また、実施地区を増やしていきたいが、保健師の業務量も増えることとなるため限られた人員の中でどのように実施していけばよいか介護予防事業担当課と協議していきたい。					現在開催する地区に加え開催地区を増やし、より多くの方が参加し、外出の機会を作ってもらえるように進めていく。参加者が充実した気持ちで続けられるように内容の検討が必要である。また、実施地区を増やしていきたいが、保健師の業務量も増えることとなるため限られた人員の中でどのように実施していけばよいか介護予防事業担当課と協議していきたい。						

最終評価年月日	平成28年4月27日	最終評価責任者	中部保健福祉サービスセンター長	保 科 実 早 子
---------	------------	---------	-----------------	-----------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	介護予防教室事業			事業期間	平成 20 ~ 年度	整理番号	03040106
担当部署	健康福祉部	東部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	春日 純一	連絡先	82-0026
計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり	
				施策	05	第5節 健康づくりの推進	
				細施策	02	運動習慣の定着と地域活動支援	
				事務事業	03	介護予防教室事業	
	予算事業名			会計コード	001	款	03
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	基本チェックリストにより把握した二次予防高齢者やその他の65歳以上の高齢者が、将来介護状態にならないように、その時期を少しでも遅らせるために、普段から行える介護予防についての学習や運動の場の提供をする介護予防教室として、各行政区等で脚腰おたっしや教室を実施する。					
	現状と背景 （どうして）	介護認定を受けている方のうち、転倒や骨折・認知症により寝たきりとなる方が多い現状の中で、元気なうちから将来介護状態にならないための取り組みに関心を持ってもらい、実際にそれを行う教室に参加する機会を提供する必要がある。					
	目的 （どんな状態にしたいか）	受益者 （誰のために）	玉川・豊平・泉野地区の介護認定を受けていない65歳以上の高齢者				
		対象 （直接働きかける）	同上				
		意図	介護予防教室を通じて定期的に外出する機会を作り、他者と話をしたり体を動かすことで心身の健康を維持して、いつまでも自分のできることを維持することができる。				
	手段・方法 （どうやって）	介護予防事業を委託した事業所や脚腰おたっしや教室へ対象者に集まってもらい、運動や生活の中に取り入れられそうなことについてお話しをする。仲間と一緒に体を動かしたり、顔見知りになり話をしてもらうことで、定期的に外出する機会を得てもらう。					
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など		最終目標値
		脚腰おたっしや教室の開催	開催回数	回	おたっしや教室（月1回）×1地区、OB会（月2回×1地区、月1回×6地区、半年開催1地		
		介護予防教室（委託）の開催	開催回数	回			
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など		最終目標値
	対象者の教室参加者率	参加者率	%	各地区の（教室参加者数（延）÷対象地区の高齢者数（延）の10%×100		80	

項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）
実 施 状 況 （ D O ）	事業費等 (a)	円					
	財源内訳						
	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
職員数	一般財源	円					
	正規職員	人	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13
	嘱託職員	人					
	臨時職員	人					
	合計	人	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13
	対象（者）数						
	延利用（者）数 (b)						
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
	受益者負担額	円					
	市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	18.00
活動指標	開催回数	目標	回				
		実績	回	102	114	114	114
	達成率	%	-	-	-	-	
	開催回数	目標	回				
実績		回	122	120	115	115	
達成率	%	-	-	-	-		
-	目標	-					
	実績	-					
達成率	%	-	-	-	-		
成果指標	参加者率	目標	%	100	100	100	100
		実績	%	80	80	80	95
	達成率	%	80.00	80.00	80.00	95.00	
	目標	-					
実績	-						
達成率	%	-	-	-	-		
備考							

事務事業名	介護予防教室事業	事業期間	平成 20 ~	年度	整理番号	03040106	
担当部署	健康福祉部	東部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	春日 純一	連絡先	82-0026

四 半 期 と の 管 理	期	目 標	実 績	課 題
	第1期			
	第2期			
	第3期			
	第4期			

事 中 評 価

当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 後 の 方 向 性	成 果 的 拡 充	②	⑤	⑦
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）		現 状 維 持	③	⑥	⑨
		縮 小	④	⑧	⑩
		休 廃 止	①		
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			

評価年度

評 価 課 題 （ C H E C K ）	視 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	評価の観点	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
	チェック					4			レ		3					4	
課 題	教室の開催により、近所の人を誘いあっていたことで参加者数が増えた地区と、参加者が固定されなかなか他の参加者が増えない地区があった。多くの方に参加してもらうためには、気軽に出かけられる雰囲気や運動のメニューなど内容についても検討が必要である。決まった期間でなく長期的に教室（集まり）を続けていくために、それぞれの地区においてボランティアや福祉推進委員等の協力者が必須である。参加者が教室に参加してどんな変化や効果を感じることができたのか評価も行っていく。															記 号 の 定 義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要
																前年度総合評価判定	B
																前年度評価シート整理番号	

総 合 評 価 （ C H E C K ）	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後														
	将来介護状態にならないように、その時期を少しでも遅らせるために、どのようなニーズを持っている方が多いのか、どういった開催方法であれば継続して参加してもらえるのか、地区の特色を掴みながら、実施地区を増やしていきたいが、保健師の業務量も増えることになりため限られた人員の中でどのように実施していけばよいか考えていきたい。										将来介護状態にならないように、その時期を少しでも遅らせるために、どのようなニーズを持っている方が多いのか、どういった開催方法であれば継続して参加してもらえるのか、地区の特色を掴みながら、実施地区を増やしていきたいが、保健師の業務量も増えることになりため限られた人員の中でどのように実施していけばよいか考えていきたい。									
	前年度改革・改善策の実施状況					一部実施	前年度細施策評価における今後の方向性													

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 （ A C T I O N ）	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後						
	成 果 的 拡 充		②	⑤	レ	⑦	成 果 的 拡 充				レ	
	現 状 維 持		③	⑥		⑨	現 状 維 持					
縮 小		④	⑧		⑩	縮 小						
休 廃 止	①					休 廃 止						
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					
改 革 ・ 改 善 策	現在開催する地区に加え開催地区を増やし、より多くの方が参加し、外出の機会を作ってもらえるように進めていく。参加者が充実した気持ちで続けられるように内容の検討が必要である。また、実施地区を増やしていきたいが、保健師の業務量も増えることになりため限られた人員の中でどのように実施していけばよいか介護予防事業担当課と協議していきたい。					現在開催する地区に加え開催地区を増やし、より多くの方が参加し、外出の機会を作ってもらえるように進めていく。参加者が充実した気持ちで続けられるように内容の検討が必要である。また、実施地区を増やしていきたいが、保健師の業務量も増えることになりため限られた人員の中でどのように実施していけばよいか介護予防事業担当課と協議していきたい。						

最終評価年月日	平成28年5月19日	最終評価責任者	東部保健福祉サービスセンター長	依 田 利 文
---------	------------	---------	-----------------	---------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	北部保健福祉サービスセンター介護予防教室事業			事業期間	平成	～	年度	整理番号	03070106					
担当部署	健康福祉部	北部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	山崎 知子		連絡先	77-3000						
計	市民プランにおける位置づけ	有	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり									
			施策	05	第5節 健康づくりの推進									
			細施策	02	運動習慣の定着と地域活動支援									
			事務事業	03	介護予防教室事業									
画	予算事業名	北部保健福祉サービスセンター事業費			会計コード	001	款	03	項	01	目	09	事業	05
	事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	基本チェックリストにより把握した二次予防高齢者やその他の65歳以上の高齢者が、将来介護状態にならないように、その時期を少しでも遅らせるために、普段から行える介護予防についての学習や運動の場の提供をする介護予防教室として、各行政区等で脚腰おたっしや教室を実施する。												
	現状と背景 (どうして)	介護認定を受けている方のうち、転倒や骨折・認知症により寝たきりとなる方が多い現状の中で、元気なうちから将来介護状態にならないための取り組みに関心を持ってもらい、実際にそれを行う教室に参加する機会を提供する必要がある。												
	目的	対象	受益者 (誰のために)	湖東・北山地区の介護認定を受けていない65歳以上の高齢者										
		対象 (直接働きかける)	同上											
意図 (どんな状態にしたいか)		介護予防教室を通じて定期的に外出する機会を作り、他者と話をしたり体を動かすことで心身の健康を維持して、いつまでも自分のできることを維持することができる。												
手段・方法 (どうやって)	介護予防事業を委託した事業所や脚腰おたっしや教室へ対象者に集まってもらい、運動や生活の中に取り入れられそうなことについてお話しをする。仲間と一緒に体を動かしたり、顔見知りになり話をしてもらうことで、定期的に外出する機会を得てもらう。													
	N	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値			
脚腰おたっしや教室の開催			開催回数	回	おたっしや教室(月1回)×1地区、OB会(月2回×1地区、月1回×6地区、半年開催1地									
介護予防教室(委託)の開催		開催回数	回											
成果指標		成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値				
	対象者の教室参加者率	参加者率	%	各地区の(教室参加者数(延)÷対象地区の高齢者数の10%×12)×100					80					

実施状況	項目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算又は決算額)	平成28年度事業計画(予算)	
			事業費等(a)	円				
財源内訳	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
	一般財源	円						
職員数	正規職員	人	0.13	0.13	0.13	0.13		
	嘱託職員	人						
	臨時職員	人						
	合計	人	0.13	0.13	0.13	0.13		
状況	対象(者)数							
	延利用(者)数(b)							
	単位コスト(a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
	受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円							
D	活動指標	開催回数	目標	回	60	92	109	120
			実績	回	60	92	114	116
	達成率	%	100.00	100.00	104.59	96.67		
	-	開催回数	目標	回		39	39	40
実績			回		39	40	40	
達成率	%	-	100.00	102.56	100.00			
O	成果指標	参加者率	目標	%	80	80	80	
			実績	%	40	65	65	87
	達成率	%	50.00	81.25	81.25	109.25		
	-	目標	%					
実績	%							
達成率	%	-	-	-	-			
備考								

事務事業名	北部保健福祉サービスセンター介護予防教室事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03070106
担当部署	健康福祉部	北部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	山崎知子	連絡先	77-3000

四 半 期 と の 管 理	期	目 標	実 績	課 題
	第1期			
	第2期			
	第3期			
	第4期			

事 中 評 価

当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 後 の 方 向 性	成 果 的 拡 充	②	⑤	⑦
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）		現 状 維 持	③	⑥	⑨
		縮 小	④	⑧	⑩
		休 廃 止	①		
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			

評価年度	当年度
------	-----

評 価 課 題 （ C H E C K ）	視 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定	
	評価の観点	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定		B
	チェック					4			レ		3					4		

課 題 （ C H E C K ）	記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要
	前年度総合評価判定	
前年度評価シート整理番号		

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 （ A C T I O N ）	今 後 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					
	成 果 的 拡 充		②	⑤	レ	⑦	成 果 的 拡 充				レ	
	現 状 維 持		③	⑥		⑨	現 状 維 持					
改 革 ・ 改 善 策	縮 小		④	⑧		⑩	縮 小					
	休 廃 止	①					休 廃 止					
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					
現在開催する地区に加え開催地区を増やし、より多くの方が参加し、外出の機会を作ってもらえるように進めていく。参加者が充実した気持ちで続けられるように内容の検討が必要である。また、実施地区を増やしていきたいが、保健師の業務量も増えることとなるため限られた人員の中でどのように実施していけばよいか介護予防事業担当課と協議していきたい。		現在開催する地区に加え開催地区を増やし、より多くの方が参加し、外出の機会を作ってもらえるように進めていく。参加者が充実した気持ちで続けられるように内容の検討が必要である。また、実施地区を増やしていきたいが、保健師の業務量も増えることとなるため限られた人員の中でどのように実施していけばよいか介護予防事業担当課と協議していきたい。										

最終評価年月日	平成28年4月12日	最終評価責任者	北部保健福祉サービスセンター長	牛山 隆
---------	------------	---------	-----------------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	健康増進事業費（歯科検診事業）	事業期間	平成 〇〇 ~ 〇〇 年度	整理番号	03020110
担当部署	健康福祉部 保健課	健康推進係	作成担当者名	中谷 恵美	連絡先
					326

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり		
			施策 05 第5節 健康づくりの推進			
			細施策 03 歯科保健事業の充実			
			事務事業 02 歯科健診事業			
	予算事業名	歯科検診事業費		会計コード 001 款 04 項 01 目 02 事業 03		
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	・30～60歳の5歳刻みの年齢の方を対象に歯周疾患検診を行い歯周疾患の早期発見、早期治療につなげる。また、歯周疾患が悪化することによる身体への影響（循環器疾患、糖尿病、肺炎）を予防する。				
	現状と背景 （どうして）	・歯周疾患が増加している。早期発見することで治療期間も短くなる。				
	目的	対象	受益者 （誰のために）	市民		
			対象 （直接働きかける）	市民		
		意図 （どんな状態にしたいか）	検診を受け早期発見、治療につなげる。			
	手段・方法 （どうやって）	・検診対象者全員に個別通知する。 ・歯周疾患検診をを指定歯科医療機関で実施する。				
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		活動指標	歯科検診受診の推進	検診受診者数	人	
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		成果指標	歯周疾患患者の減少	異常なし者率	%	異常なし者÷検診受診者

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）		
事業費等 (a)	円	1,028,980	971,598	1,124,416	897,007	1,235,000		
財源内訳								
国庫支出金	円							
県支出金	円	205,000	442,000	249,000	309,680	540,000		
地方債	円							
その他特定財源	円							
一般財源	円	823,980	529,598	875,416	587,327	695,000		
職員数	人							
正規職員	人	0.11	0.15	0.15	0.15			
嘱託職員	人							
臨時職員	人							
合計	人	0.11	0.15	0.15	0.15			
対象（者）数								
延利用（者）数 (b)								
単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—		
受益者負担額	円							
市民一人当たりのコスト	円	18.00	17.00	20.00	16.00	22.00		
D （ ）	活動指標	検診受診者数	目標	人	400	400	450	450
			実績	人	375	426	456	358
	達成率	%	93.75	106.50	101.33	79.56	—	
	—	目標	—	—	—	—	—	
実績		—	—	—	—	—		
達成率	%	—	—	—	—	—		
O （ ）	成果指標	異常なし者率	目標	%	25	25	35	35
			実績	%	20	31	16	11
	達成率	%	80.00	122.00	45.71	32.57	34.29	
	—	目標	—	—	—	—	—	
実績	—	—	—	—	—	—		
達成率	%	—	—	—	—	—		
備考								

事務事業名	健康増進事業費（歯科検診事業）	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03020110
担当部署	健康福祉部 保健課	健康推進係	作成担当者名	中谷 恵美	連絡先	326	

期	目 標	実 績	課 題
第1期	対象者に案内通知を発送する。	4月から12月生まれの対象者に通知を発送した。	対象年齢の方に発送スケジュールに従って正確に通知を発送する。
第2期	対象者に案内通知を発送する。	1月から3月生まれの対象者に通知を発送した。	送った受診表をなくしてしまう人から連絡が来ることがある。
第3期	受診表の再発行を速やかに行う。	受診表を紛失した方に対し、再発行を行う。	受診表を紛失した方から連絡が来ることがある。
第4期	検診期間が終了したら、医療機関に回収に行く。次年度に向けて準備を行う。	医療機関に書類の回収に行く。今年度実施者数358名。次年度に向け準備。	前年に比べ受診者数が減少した。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化特になし。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 歯科医師会からの要望により、次年度からは20歳の歯科検診も新たに実施する。30代からの歯周疾患検診は次年度も継続していく。	② ⑤ ⑦ レ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4			レ		3					4	B

課 題	受診者数に大きな差はないが、男性が少ない。あまり受診者が減らないようにしていく。	記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要
		前年度総合評価判定 B 前年度評価シート整理番号

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	受診した人の8割を超える人が要指導・要精密検査（口腔内に何らかの問題を持っている）ということから、受診を機に異常を早期発見できたと言える。対象者全員に通知したことから受診者が伸びたので今後も継続していく。また、歯周疾患予防についても啓蒙していく。	受診者のうち88%の人は、要指導・要精密検査となっている。受診を機に口腔衛生に関する知識の普及及び生活習慣の見直し等ができたのではないと思われる。次年度も継続していく。								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	受診者が減らないように周知していく。また、歯周疾患予防についても啓蒙していく。	受診者が大きく減少しないように周知していきたい。歯周疾患予防について、歯科医師会の協力を得ながら啓蒙していく。								

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	保健課長	両角直樹
---------	------------	---------	------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	一般経費(乳幼児健診事業)	事業期間	平成 ~ 年度	整理番号	03020111
担当部署	健康福祉部	作成担当者名	五味 愛美	連絡先	326
	保健課				
	健康推進係				

計 画 目 的 的 手 段 ・ 方 法 （ ど う や っ て ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり
				施策	05	第5節 健康づくりの推進
				細施策	04	母子保健システムの確立
				事務事業	01	母子保健事業
予 算 事 業 名	乳幼児健診事業			会計コード	001	款 04 項 01 目 04 事業 06
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	4か月児・・・内科健診、整形外科健診、集団指導（生活リズム・離乳食指導）、発達発育確認、個別指導 10か月児・・・内科健診、集団指導（生活リズム・歯科・離乳食指導）、発達発育確認、個別指導 1歳6か月児・・・内科健診、歯科検診、集団指導（生活リズム・歯科・食事指導）、発達発育確認、個別指導、心理相談 2歳児・・・歯科健診、歯科指導、集団指導（生活リズム、歯科、食事指導）、発達発育確認、個別相談、言語相談 3歳児・・・内科健診、歯科検診、集団指導（生活リズム・歯科・食事指導）、発達発育確認、個別指導、心理相談、視力検					
現状と背景 （どうして）	成長の節目として、身体、歯に異常がないかどうか保護者自身も確認ができる機会。また、発育、発達確認や各専門職に相談を行うことで、子育て中の母等の心配や不安軽減をし、安心して育児ができるように支援する。また、歯科については早いうちから関心を持ってもらい歯周疾患の予防を目指す。					
対 象	受益者 （誰のために）	市民				
	対 象 （直接働きかける）	4か月児、10か月児、1歳6か月児、2歳児、3歳児とその保護者				
的 意 図 （どんな状態にしたいか）	対象児の健康状態の確認ができる。また、保護者が発達発育について確認できる場となり、現在の生活習慣や食事、口腔衛生について見直す機会となる。希望者には各専門職に相談をしてもらうことで、不安を減らして安心して育児をすることができるようにする。					
手 段 ・ 方 法 （どうやって）	4か月児、10か月児、1歳6か月児、2歳児、3歳児とその保護者 小児科医、歯科医、歯科衛生士、保健師、栄養士、臨床心理士、視能訓練士、保育園長が、診察・発達発育確認・それぞれ相談を行う。					
N （ 評 価 指 標 の 作 成 ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		健診回数（4、10、1.6、2、3歳児健診）	実施回数	回	年間計画による実施回数	120
	成果指標	成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		3歳児健診時う歯を保有していない児の比率	う歯を保有していない比率	%	年間計画による健診結果数値	90
		健診に来所して健康状態の確認ができる	健診受診率	%	健診来所者÷健診対象者×100	98

項 目	単 位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）
事業費等 (a)	円		8,787,000	6,328,010	6,623,580	7,544,000
財源内訳						
国庫支出金	円					
県支出金	円					
地方債	円					
その他特定財源	円					
一般財源	円		8,787,000	6,328,010	6,623,580	7,544,000
職員数	人		1.10	1.10	1.10	1.10
正規職員	人					
嘱託職員	人					
臨時職員	人					
合 計	人		1.10	1.10	1.10	1.10
対 象 (者) 数						
延 利 用 (者) 数 (b)						
単 位 コ ス ト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—
受 益 者 負 担 額	円					
市民一人当たりのコスト	円	—	157.00	113.00	118.00	283.00
D （ 活 動 指 標 ）	実施回数	目標	96	96	96	96
		実績	96	96	96	96
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00
	—	目標	—	—	—	—
		実績	—	—	—	—
	達成率	%	—	—	—	—
O （ 成 果 指 標 ）	う歯を保有していない比率	目標	90	90	90	85
		実績	86	75	83	89
	達成率	%	95.56	83.67	92.56	104.71
	健診受診率	目標	98	98	98	98
		実績	96	97	97	99
	達成率	%	98.08	99.08	98.98	101.02
備 考						

事務事業名	一般経費(乳幼児健診事業)	事業期間	平成	~	年度	整理番号	03020111
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	五味 愛美	連絡先	326

期	目 標	実 績	課 題
第1期	健診をスムーズに行うために、受付～事後相談までの流れを再確認する。改善点を明確にする。	各健診の流れを確認し、問診物品管理を含めた改善点を確認できた。	集団指導の内容についても更新の検討が必要である。
第2期	集団指導の内容について更新を検討する。	集団指導の内容について更新を検討できた。各資料のポイントをしぼり集団指導を実施することができた。	今後も各月齢に合わせた指導を行っていく。
第3期	指導の中で、具体的な例を出し、保護者が生活場面をふりかえることができるようにする。	資料を見ながら、具体的な例も出すことができた。	問診票や集団指導の資料を用いて、今後の子どもの発達のためやすがわかるようお伝えしていく。
第4期	保護者が子どもの発達のためやすがわかるよう、今後の成長についてお伝えしていく。	今の月齢とこれからの成長について資料を用いて説明することができた。	今後も各月齢に合わせた指導を行っていく。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 特になし	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 継続実施	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4			レ		3					4	B
課題	<p>今後も定期的に健診の内容について振り返りを行い、改善案について検討していく。 保護者向けのわかりやすい資料についても健診内容とあわせて見直ししていく。 保健師等の個別相談技術、問診技術の力量形成を継続させていく。</p>															
記号の定義	<p>A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要</p>															
前年度総合評価判定	B															
前年度評価シート整理番号																

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	健診内容について振り返りを行い見直しをかけることができた。継続的に見直しを行っていく。						健診内容について振り返りを行い見直しをかけることができた。継続的に見直しを行っていく。			
前年度改革・改善策の実施状況	実施済					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後								
	成果の方向性	拡 充		②	⑤	レ	⑦	成 果 の 方 向 性	拡 充					
	現 状 維 持		③	⑥		⑨		現 状 維 持			レ			
	縮 小		④	⑧		⑩		縮 小						
	休 廃 止	①						休 廃 止						
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性								
改革・改善策	今後も健診内容について振り返りを行い改善案を検討していく。					今後も健診内容について振り返りを行い改善案を検討していく。								

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	保健課長	両角直樹
---------	------------	---------	------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

国民健康保険特別会計【茅野市】

事務事業名	一般経費(乳幼児健診事業) (国保)	事業期間	平成 ~ 年度	整理番号	03020111
担当部署	健康福祉部 保健課	健康推進係	作成担当者名	五味 愛美	連絡先
					326

計 画 目 的 的 手 段 ・ 方 法 (ど う や っ て)	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり
				施策	05	第5節 健康づくりの推進
				細施策	04	母子保健システムの確立
				事務事業	01	母子保健事業
予 算 事 業 名	乳幼児健診事業費			会計コード	002	款 08 項 02 目 02 事業 01
事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	4か月児…内科健診、整形外科健診、集団指導(生活リズム・離乳食指導)、発達発育確認、個別指導 10か月児…内科健診、集団指導(生活リズム・歯科・離乳食指導)、発達発育確認、個別指導 1歳6か月児…内科健診、歯科検診、集団指導(生活リズム・歯科・食事指導)、発達発育確認、個別指導、心理相談 2歳児…歯科健診、歯科指導、集団指導(生活リズム、歯科、食事指導)、発達発育確認、個別相談、言語相談 3歳児…内科健診、歯科検診、集団指導(生活リズム・歯科・食事指導)、発達発育確認、個別指導、心理相談、視力検					
現状と背景 (どうして)	成長の節目として、身体、歯に異常がないかどうか保護者自身も確認ができる機会。また、発育、発達確認や各専門職に相談を行うことで、子育て中の母等の心配や不安軽減をし、安心して育児ができるように支援する。また、歯科については早いうちから関心を持ってもらい歯周疾患の予防を目指す。					
対 象	受益者 (誰のために)	市民				
	対 象 (直接働きかける)	4か月児、10か月児、1歳6か月児、2歳児、3歳児とその保護者				
的 意 図 (どんな状態にしたいか)	対象児の健康状態の確認ができる。また、保護者が発達発育について確認できる場となり、現在の生活習慣や食事、口腔衛生について見直す機会となる。希望者には各専門職に相談をしてもらうことで、不安を減らして安心して育児をすることができるようにする。					
手 段 ・ 方 法 (どうやって)	4か月児、10か月児、1歳6か月児、2歳児、3歳児とその保護者 小児科医、歯科医、歯科衛生士、保健師、栄養士、臨床心理士、視能訓練士、保育園長が、診察・発達発育確認・それぞれ相談を行う。					
N 評 価 指 標 の 作 成	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何?	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		健診回数(4、10、1.6、2、3歳児健診)	実施回数	回	年間計画による実施回数	120
		成果・効果は何?	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
	成果指標	3歳児健診時う歯を保有していない児の比率	う歯を保有していない比率	%	年間計画による健診結果数値	90
		健診に来所して健康状態の確認ができる	健診受診率	%	健診来所者÷健診対象者×100	98

項 目	単 位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)
事業費等(a)	円		8,787,000	1,023,788	903,902	1,174,000
財源内訳						
国庫支出金	円					
県支出金	円			202,386	160,000	
地方債	円					
その他特定財源	円			604,761	673,346	871,000
一般財源	円		8,787,000	216,641	70,556	303,000
職員数	人		1.10	1.10	1.10	1.10
正規職員	人					
嘱託職員	人					
臨時職員	人					
合 計	人		1.10	1.10	1.10	1.10
対 象 (者) 数						
延 利 用 (者) 数 (b)						
単 位 コ ス ト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
受 益 者 負 担 額	円					
市民一人当たりのコスト	円	-	157.00	18.00	16.00	169.00
D 活 動 指 標	実施回数	目標	96	96	96	96
		実績	96	96	96	96
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00
	-	目標	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-
	達成率	%	-	-	-	-
O 成 果 指 標	う歯を保有していない比率	目標	90	90	90	85
		実績	86	75	83	89
	達成率	%	95.56	83.67	92.56	104.71
	健診受診率	目標	98	98	98	98
		実績	96	97	97	99
	達成率	%	98.08	99.08	98.98	101.02

備考 H26年度から乳幼児健診事業と歯科指導事業(国保会計)を統合
25年度決算額7,961,685円(一般財源6,896,454円)

事務事業名	一般経費(乳幼児健診事業) (国保)	事業期間	平成	~	年度	整理番号	03020111
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	五味 愛美	連絡先	326

期	目 標	実 績	課 題
第1期	健診をスムーズに行うために、受付～事後相談までの流れを再確認する。改善点を明確にする。	各健診の流れを確認し、問診物品管理を含めた改善点を確認できた。	集団指導の内容についても更新の検討が必要である。
第2期	集団指導の内容について更新を検討する。	集団指導の内容について更新を検討できた。各資料のポイントをしぼり集団指導を実施することができた。	今後も各月齢に合わせた指導を行っていく。
第3期	指導の中で、具体的な例を出し、保護者が生活場面をふりかえることができるようにする。	資料を見ながら、具体的な例も出すことができた。	問診票や集団指導の資料を用いて、今後の子どもの発達のためやすがわかるようお伝えしていく。
第4期	保護者が子どもの発達のためやすがわかるよう、今後の成長についてお伝えしていく。	今の月齢とこれからの成長について資料を用いて説明することができた。	今後も各月齢に合わせた指導を行っていく。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	
------	--

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4			レ		3					4	B
課題	<p>今後も定期的に健診の内容について振り返りを行い、改善案について検討していく。 保護者向けのわかりやすい資料についても健診内容とあわせて見直ししていく。 保健師等の個別相談技術、問診技術の力量形成を継続させていく。</p>															
記号の定義	A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	B															
前年度評価シート整理番号																

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	健診内容について振り返りを行い見直しをかけることができた。継続的に見直しを行っていく。						健診内容について振り返りを行い見直しをかけることができた。継続的に見直しを行っていく。			
前年度改革・改善策の実施状況	実施済					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後								
	成果の方向性	拡 充		②	⑤	レ	⑦	成 果 の 方 向 性	拡 充					
	現 状 維 持		③	⑥		⑨		現 状 維 持			レ			
	縮 小		④	⑧		⑩		縮 小						
	休 廃 止	①						休 廃 止						
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性								
改革・改善策	今後も健診内容について振り返りを行い改善していく。					今後も健診内容について振り返りを行い改善していく。								

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	保健課長	両角直樹
---------	------------	---------	------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	一般経費(不妊治療助成事業)			事業期間	平成	~	年度	整理番号	03020131					
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	五味 愛美			連絡先	326					
計	市民プランにおける位置づけ	有	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり									
			施策	05	第5節 健康づくりの推進									
			細施策	04	母子保健システムの確立									
			事務事業	01	母子保健事業									
画	予算事業名	不妊治療費助成事業			会計コード	001	款	04	項	01	目	04	事業	03
	事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	不妊症により子どもを授かることができない夫婦がいるが、医療技術の進歩により不妊治療を受けることで子どもを授かることができるケースが増えている。しかし、不妊治療は、1回の治療費が高額である。また、1回では成功しないことも多く何度か繰り返し治療を受けなければならないこともあり、経済的な負担が大きく治療を断念せざるを得ない夫婦がいる。不妊症に悩む多くの夫婦が不妊治療を受けることができる環境を整えることが必要である。												
	現状と背景 (どうして)	不妊治療は、一部の治療を除き保険診療適応外の治療であるため、1回の治療費が高額で経済的負担が大きく治療を受けられない夫婦がいる。また、そのことによる精神的負担も大きい。												
	目的	受益者 (誰のために)	不妊症に悩む夫婦											
L	対象	対象 (直接働きかける)	不妊治療を受ける夫婦											
	意図 (どんな状態にしたいか)	不妊治療を受ける夫婦に治療費の一部を助成し経済的負担を軽減することにより、より多くの夫婦に治療を受ける機会が持てるようにし、不妊に悩む夫婦が子どもを授かることができるようにする。また、一人でも多くの子どもが生まれ、少子化対策の一環となるようにする。												
	手段・方法 (どうやって)	県に不妊治療費に対する助成制度があるが、治療の内容の指定、指定の医療機関、所得制限があるため、県の助成事業の対象にならなかった夫婦に対して不妊治療費の一部を助成する。 助成額：1回の治療費の自己負担額に2分の1を乗じて得た額(10万円(一部5万円)を限度とする。)を助成する。 助成回数：5回を限度とする。 制度の内容をチラシ(医療機関、市の施設)、「広報ちの」にて周知する。												
N	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何?	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値					
		制度の概要や申請の方法について市民に周知する	広報ちの掲載回数	回	半年に1回掲載する				2					
	成果指標	成果・効果は何?	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値					
		治療による出産	出生率	%	治療後の出生数÷助成者×100				50					

項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)	
実 施 状 況	事業費等(a)	円	2,615,267	3,292,688	1,232,551	1,922,418	3,958,000	
	財源内訳							
	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
	一般財源	円	2,615,267	3,292,688	1,232,551	1,922,418	3,958,000	
	職員数							
	正規職員	人		0.03	0.03	0.03	0.03	
	嘱託職員	人						
臨時職員	人							
合計	人		0.03	0.03	0.03	0.03		
対象(者)数								
延利用(者)数(b)								
単位コスト(a)/(b)	円	-	-	-	-	-	-	
受益者負担額	円							
市民一人当たりのコスト	円	47.00	59.00	22.00	34.00	75.00		
D O	活動指標	広報ちの掲載回数	目標	回	2	2	2	2
			実績	回	0	2	1	2
		達成率	%	0.00	100.00	50.00	100.00	
	-		目標					
			実績					
		達成率	%	-	-	-	-	
	-		目標					
			実績					
		達成率	%	-	-	-	-	
	成果指標	出生率	目標	%	50	50	50	50
実績			%	29	22	9	7	
	達成率	%	58.80	44.40	18.00	13.60		
-		目標						
		実績						
	達成率	%	-	-	-	-		
備考								

事務事業名	一般経費(不妊治療助成事業)	事業期間	平成	~	年度	整理番号	03020131
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	五味 愛美	連絡先	326

期	目標	実績	課題
第1期	県の不妊治療助成対象に変更があったため、市の対象を確認する。申請方法の変更が可能か確認する。	不妊治療の方法と県助成の対象について確認できた。市の申請方法について検討も行った。平成27年度中を目的に申請書類等の変更を検討していく。	事務手続きに誤りがないように確認をしていく。受け取りのチェック表を使用していく。
第2期	申請受付時の方法について係内で再度手順を確認する。	手順を確認することができた。	事務手続きに誤りがないように確認をしていく。受け取りのチェック表を今後も使用していく。県の助成についての質問も増えている。
第3期	今後も制度の説明を丁寧にを行う。	県の助成対象となる医療機関一覧表を準備するなど、県と市との違いを説明することもできた。	来年度に向けた申請書類の変更等準備していく。
第4期	申請書の変更等の準備をしていく。	茅野市不妊治療費助成事業実施要綱の一部改正を行い新制度の体制を整えることができた。広報にも変更について掲載し周知することができた。	年度の切り替わりで手続きがスムーズに行えるように準備しておく。

事中評価																											
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 特になし	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">今後の方向性</td> <td>成果の方向性</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> <td>レ</td> </tr> <tr> <td>拡充</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> <td></td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	今後の方向性	成果の方向性	②	⑤	⑦	レ	拡充	③	⑥	⑨		現状維持	④	⑧	⑩		縮小	①				休廃止				
今後の方向性	成果の方向性		②	⑤	⑦	レ																					
	拡充		③	⑥	⑨																						
	現状維持		④	⑧	⑩																						
	縮小	①																									
休廃止																											
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 新たに男性不妊症及び不育症治療費を助成対象に追加し、今後は若い世代を積極的に支援していく。	<table border="1"> <tr> <td>方向性</td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>現状維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="4">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	方向性	皆減	縮小	現状維持	拡大		コスト投入の方向性																			
方向性	皆減	縮小	現状維持	拡大																							
	コスト投入の方向性																										

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
評価の観点					4					3					4	B
チェック																
課題	助成対象の内容の拡大、様式の変更など要綱の一部改正が行われた。変更部分に関して周知をしていくことと事務の徹底をしていくことが課題である。															
記号の定義	A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	B															
前年度評価シート整理番号																

総合評価	細施策評価前					細施策評価後				
	申請手続きに関して手順を確認しつつ要綱改正に向けた準備を行うことができた。						申請手続きに関して手順を確認しつつ要綱改正に向けた準備を行うことができた。			
前年度改革・改善策の実施状況	実施済					前年度細施策評価における今後の方向性				

改革・改善の方向性(ACTION)	細施策評価前					細施策評価後				
	今後の方向性	成果の方向性	②	⑤	レ	⑦	成果の方向性	レ		
	拡充					拡充				
	現状維持	③	⑥	⑨		現状維持				
	縮小	④	⑧	⑩		縮小				
	休廃止	①				休廃止				
	皆減	縮小				現状維持	拡大			
	コスト投入の方向性									
改革・改善策	今後も制度の周知とともに事務手続きを確実に進めていくために係内で事務手順を確認していく。					今後も制度の周知とともに事務手続きを確実に進めていくために係内で事務手順を確認していく。				

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	保健課長	両角直樹
---------	------------	---------	------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	一般経費（妊婦一般健康診査事業）	事業期間	平成 〇〇 ~ 〇〇 年度	整理番号	03020132
担当部署	健康福祉部 保健課 健康推進係	作成担当者名	五味 愛美	連絡先	326

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり		
			施策 05 第5節 健康づくりの推進			
			細施策 04 母子保健システムの確立			
			事務事業 01 母子保健事業			
予算事業名	妊婦一般健康診査事業			会計コード 001 款 04 項 01 目 03 事業 01		
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	妊婦届出をした妊婦に対して、妊婦一般健康診査受診票を発行し、産科医療機関受診の際にかかる健診費用を公費負担する。					
現状と背景 （どうして）	産科における妊婦健康診査は保険適外であるため、経済的負担が大きい。健診費用を公費負担することによって、早期から胎児、妊婦の健康状態の確認のための健診を受けやすくなる。					
目的 的 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	対象 （ 誰 の た め に ）	市民				
	対象 （ 直 接 働 き か け る ）	妊婦				
意 図 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	妊婦初期に妊婦届出をしてもらい、妊婦初期から公費により妊婦健康診査を受けられるようにする。胎児や妊婦自身の健康状態の確認や相談ができるようにして、安心して妊娠期を送ってもらい、無事に出産をむかえられる。					
手 段 ・ 方 法 （ ど う や っ て ）	各産院に母子健康手帳交付窓口周知の依頼をする。 14回分基本健診（追加健診・超音波健診を含む）受診票を母子健康手帳交付時面接にて産科受診の際に使用していただくよう説明する。					
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
	成果指標	母子健康手帳交付窓口の周知することで妊婦にスムーズに受診券を交付できる	母子健康手帳（妊婦受診票）交付窓口の周知回数	回	各産院への交付窓口周知の依頼した回数	1
O （ ）	活動指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
	成果指標	妊婦初期から妊婦健診を受けることができる	妊婦届出時期	%	母子健康手帳交付時の妊娠週数15週までの妊婦数/母子手帳交付数（転入を除く）	100

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）
事業費等 (a)	円		51,506,705	47,676,599	51,225,638	53,305,000
財源内訳						
国庫支出金	円					
県支出金	円					
地方債	円					
その他特定財源	円					
一般財源	円		51,506,705	47,676,599	51,225,638	53,305,000
職員数	人		0.10	0.10	0.10	
正規職員	人					
嘱託職員	人					
臨時職員	人					
合 計	人		0.10	0.10	0.10	
対象（者）数						
延利用（者）数 (b)						
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
受益者負担額	円					
市民一人当たりのコスト	円	-	920.00	852.00	915.00	952.00
D （ ）	活動指標	母子健康手帳（妊婦受診票）交付窓口の周知回数	目標 1	実績 1	達成率 100.00	
		目標 1	実績 1	達成率 100.00		
	-	目標 -	実績 -	達成率 -		
		目標 -	実績 -	達成率 -		
O （ ）	成果指標	妊婦届出時期	目標 100	実績 99	達成率 99.20	
		目標 100	実績 99	達成率 99.40		
	-	目標 -	実績 -	達成率 -		
		目標 -	実績 -	達成率 -		
備考						

事務事業名	一般経費（妊婦一般健康診査事業）	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03020132
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	五味 愛美	連絡先	326

期	目 標	実 績	課 題
第1期	妊娠の届け出が16週を超えた人(転入を除く)の場合には、若年妊婦等なんらかから支援を必要とするため、母子手帳交付時に留意して関わる。	転入者以外の16週を超える届け出はなかったが、引き続き留意していく。	今後も母子手帳交付時の面談にて早い時期から支援ができるように留意していく。
第2期	妊娠の届け出が16週を超えた人(転入を除く)の場合には、若年妊婦等なんらかから支援を必要とするため、母子手帳交付時に留意して関わる。	転入者以外の16週を超える届け出はなかったが、引き続き留意していく。	今後も母子手帳交付時の面談にて早い時期から支援ができるように留意していく。
第3期	妊娠の届け出が16週を超えた人(転入を除く)の場合には、若年妊婦等なんらかから支援を必要とするため、母子手帳交付時に留意して関わる。	若年妊婦の16週を超える届出があり、こども課との関わりがあった。	今後もこども課、各SCと連絡をとりあい、対応していく。
第4期	妊娠の届け出が16週を超えた人(転入を除く)の場合には、若年妊婦等なんらかから支援を必要とするため、母子手帳交付時に留意して関わる。	若年妊婦の16週を超える届出があり、こども課との関わりがあった。	今後もこども課、各SCと連絡をとりあい、対応していく。

事 中 評 価																						
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 特になし	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">今 後 の 方 向 性</td> <td>成 果 的 方 向 性</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>拡 充</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>現 状 維 持</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>縮 小</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休 廃 止</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	今 後 の 方 向 性	成 果 的 方 向 性	②	⑤	⑦	拡 充	③	⑥	⑨	現 状 維 持	④	⑧	⑩	縮 小	①			休 廃 止			
今 後 の 方 向 性	成 果 的 方 向 性		②	⑤	⑦																	
	拡 充		③	⑥	⑨																	
	現 状 維 持		④	⑧	⑩																	
	縮 小	①																				
休 廃 止																						
他課と連携を密にして、子育て世代の支援を強化していく。	<table border="1"> <tr> <td>皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性</td> </tr> </table>	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性																				
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性																						

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4			レ		3					4	B
課題	妊婦健診で所見があった方について出産後のフォローをしていく。妊婦健診受診票発行時のアンケート調査をもとにハイリスク者に早い段階でフォローしていく。															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	B															
前年度評価シート整理番号																

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	母子健康手帳で妊婦の様子がわかるので、フォローが必要な人を担当者が把握する。	母子健康手帳で妊婦の様子がわかるので、フォローが必要な人を担当者が把握する。					母子健康手帳で妊婦の様子がわかるので、フォローが必要な人を担当者が把握する。			
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	妊婦健診受診率の向上 妊婦健診の経済的負担の軽減 妊婦健診時に所見があった人の把握と出産後のフォロー	妊婦健診受診率の向上 妊婦健診の経済的負担の軽減 妊婦健診時に所見があった人の把握と出産後のフォロー					妊婦健診受診率の向上 妊婦健診の経済的負担の軽減 妊婦健診時に所見があった人の把握と出産後のフォロー			
今 後 の 方 向 性	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	保健課長	両 角 直 樹
---------	------------	---------	------	---------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	一般経費（パパママ講座・赤ちゃん相談事業）			事業期間	平成	～	年度	整理番号	03020133
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	五味 愛美			連絡先	326

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり							
				施策	05	第5節 健康づくりの推進							
				細施策	04	母子保健システムの確立							
				事務事業	01	母子保健事業							
	予算事業名	パパママ講座・赤ちゃん相談事業			会計コード	001	款	04	項	01	目	04	事業
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	出産を控える夫婦に対して、健やかな妊娠期を過ごし、出産を迎え子育てに向かうことができるように講座を開催する。新生児、乳幼児に対して、発達発育の確認や不安に対して相談ができる機会を作り、育児支援、仲間づくりの場を提供する。												
現状と背景 （どうして）	核家族化にともない、新生児に触れる機会なく育児を始める父母や、身近に相談相手が少ない環境の中で育児をしている保護者が多くなっている。妊娠期からを健やかに過ごし、出産、育児の中で出てくる不安や心配ごとなどに対して役立つ場の提供が必要である。												
目的 的 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	対象 （ 誰 の た め に ）	受益者 市民											
	対象 （ 直 接 働 き か け る ）	出産を控える夫婦 新生児、乳幼児とその保護者											
的 意 図 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	出産を控える夫婦が、健やかな妊娠期を過ごし、出産を迎え子育てに向かうことができるようにする。新生児、乳幼児に対して、発達発育の確認や不安に対して相談ができる。												
手段・方法 （ ど う や っ て ）	出産を控える夫婦に対し講座を開催。妊娠期の過ごし方や、親になることなどのテーマに沿って専門職からの講義を聴いたり、育児体験をしてもらう。新生児、乳幼児に対して、身体測定や離乳食、母乳育児、その他の育児相談発達発育の確認や不安に対して相談ができる。												
N （ ）	活動 指 標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値			
		パパママ講座に参加できる機会をつくる	パパママ講座開催回数	12	年間パパママ講座開催回数					12			
		新生児・乳幼児について相談できる場がある	赤ちゃん相談開催回数	24	年間赤ちゃん相談開催回数					24			
	成 果 指 標	成 果 ・ 効 果 は 何 ？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値			
		パパママ講座に参加する	パパママ講座参加率	%	パパママ講座参加者÷第1子の出産を迎える夫婦の参加者数					55			

実 施 状 況 （ ）	項 目	単 位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
	D （ ）	事業費等 (a)	円		592,537	589,687	506,554	706,000
財源内訳								
国庫支出金		円						
県支出金		円						
地方債		円						
その他特定財源		円		9,700	3,300	2,350	12,000	
一般財源		円		582,837	586,387	504,204	694,000	
職員数								
正規職員		人		0.10	0.10	0.10		
嘱託職員		人						
臨時職員	人							
合 計	人		0.10	0.10	0.10			
O （ ）	対象（者）数							
	延利用（者）数 (b)							
	単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—	
	受益者負担額	円						
	市民一人当たりのコスト	円	—	11.00	11.00	9.00	13.00	
	活動 指 標	パパママ講座開催回数	目標	12	12	12	12	
			実績	12	12	12	12	
		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	—
		赤ちゃん相談開催回数	目標	24	24	24	24	
	実績		24	24	24	24		
達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	—		
成 果 指 標	パパママ講座参加率	目標	%	55	55	55	55	
		実績	%	52	49	36	52	
	達成率	%	94.36	88.18	65.45	94.55	100.00	
	—	目標	—	—	—	—	—	
実績	—	—	—	—	—	—		
達成率	%	—	—	—	—	—		
備 考								

事務事業名	一般経費(パパママ講座・赤ちゃん相談事業)	事業期間	平成	~	年度	整理番号	03020133
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	五味 愛美	連絡先	326

期	目 標	実 績	課 題
第1期	赤ちゃん相談を健診後のフォローの場(発育・発達確認の場)としている児もいるため、フォローを確実に行えるように台帳を整理する。受付がスムーズに行えるように流れを考える。	フォロー台帳の整理を行った。受付表を変更しスムーズな受付ができるように変更した。	今後も相談の場として健診→赤ちゃん相談でのフォロー→個別支援の流れがもれないように行っていく。 パパママ講座については、平成28年度からの内容について今年度検討していく。
第2期	赤ちゃん相談開催後に毎回カンファレンスを行いフォロー児を確認する。	毎回カンファレンスを実施し、フォロー児を確認することができた。	今後も赤ちゃん相談にて、フォローを行い、次の個別支援、訪問、健診につなげる。 パパママ講座の内容について検討していく。
第3期	パパママ講座の内容について検討する。	パパママ講座の内容については、講師の変更はせず内容を充実させる方向で検討ができた。	講座内容について具体的な内容をつめていく。
第4期	パパママ講座の保健師の関わる部分について具体的に検討する。	各回の保健師の担当する部分について検討ができた。育児体験に模擬の沐浴体験を取り入れるなど検討ができた。	パパママ講座については、保健師の役割についてマニュアルにそって進めていく。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 特になし	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 若い世代を積極的に支援していく。	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					3					4	B
課題	赤ちゃん相談については、今後も気軽に相談できる場所として丁寧な対応に心がけていく。 パパママ講座についても、今後も内容を見直しながら妊娠期に安心して過ごせお産を迎えられようように内容を深めていく。															
CHICK	前年度総合評価判定					前年度総合評価判定					前年度総合評価判定					B
CHICK	前年度評価シート整理番号					前年度評価シート整理番号					前年度評価シート整理番号					

細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
赤ちゃん相談の内容やフォロー体制について検討することができた。 パパママ講座についても、内容を見直し深めることができた。	引き続き、事業についての検討をしながら目的が達成できるようにしていく。
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性

今 後 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
改革・改善の方向性	成 果 の 方 向 性 拡 充 ② ⑤ ⑦ 現 状 維 持 ③ ⑥ ⑨ 縮 小 ④ ⑧ ⑩ 休 廃 止 ① 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	成 果 の 方 向 性 拡 充 現 状 維 持 縮 小 休 廃 止 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性
改革・改善策	赤ちゃん相談、パパママ講座について随時内容を検討していく。	赤ちゃん相談、パパママ講座について随時内容を検討していく。

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	保健課長	両角直樹
---------	------------	---------	------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	一般経費(親子広場事業)			事業期間	平成	~	年度	整理番号	03020134				
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	五味 愛美			連絡先	326				
計	市民プランにおける位置づけ	有	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり								
			施策	05	第5節 健康づくりの推進								
			細施策	04	母子保健システムの確立								
			事務事業	01	母子保健事業								
予 算 事 業 名	親子広場事業			会計コード	001	款	04	項	01	目	04	事業	05
事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	乳幼児健診時やその後のフォロー、保護者の希望により、発達、発育等に心配がある親子に対して、集団の遊びを通じて親子関係を豊かにし、児の発達発育を促す。 臨床心理士、言語聴覚士、理学療法士に直接相談できる機会であり、発達、言語、体の動きについての支援を行う。 発達について専門的な見方での評価が必要な児に対しては、発達相談へお誘いする。 教室参加者の保護者を対象として、保護者向けの子育てスキルアップに関する講座も併せて開催する。												
現状と背景 (どうして)	児の発達のペースや家庭環境、家族関係などにより、家庭内では十分な関わりが持てなかったり、どの様に関わることが児にとってよいのか等に悩みや心配を持つ保護者が多い。												
目 的	対 象	受益者 (誰のために)	市民										
	対 象	対象 (直接働きかける)	乳幼児健診やその他の相談等で発達、発育等を経過的に見ていくことが必要となった入園前の乳幼児										
	意 図	(どんな状態にしたいか)	発達、発育が他の児と比べてゆっくりな児に対して、家庭でのやり取りだけでなく、集団の中での遊びを通じて多くの関わりを持つ機会が持て、発達、発育が促していけるような場の提供。										
手 段・方 法	(どうやって)												
N	評 価 指 標 の 作 成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値				
		活動指標	フォローの場の提供をする	教室開催回数	回	開催予定に対して実施した割合				100			
		成果指標	成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値			
		成果指標	お誘いした人に対する参加者の割合	参加率	%	参加者÷教室に誘った人数				80			

項 目	単 位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)		
事業費等(a)	円		931,803	1,156,535	952,931	1,429,000		
財源内訳								
国庫支出金	円							
県支出金	円							
地方債	円							
その他特定財源	円		2,200	2,400	1,000	3,000		
一般財源	円		929,603	1,154,135	951,931	1,426,000		
職員数	人		0.30	0.30	0.30			
正規職員	人							
嘱託職員	人							
臨時職員	人							
合 計	人		0.30	0.30	0.30			
対象(者)数								
延利用(者)数(b)								
単位コスト(a)/(b)	円	-	-	-	-	-		
受益者負担額	円							
市民一人当たりのコスト	円	-	17.00	21.00	17.00	26.00		
D	活動指標	教室開催回数	目標	回	31	31	31	32
			実績	回	31	31	31	
		達成率	%	100.00	100.00	100.00	96.88	
		達成率	%	-	-	-	-	
O	成果指標	参加率	目標	%	80	80	80	80
			実績	%	61	64	73	71
		達成率	%	75.75	80.50	91.25	88.63	
		達成率	%	-	-	-	-	
備考								

事務事業名	一般経費(親子広場事業)	事業期間	平成	~	年度	整理番号	03020134
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	五味 愛美	連絡先	326

期	目 標	実 績	課 題
第1期	教室を誘われてからの不参加者の確認を確実にし、継続参加できるように支援していく。教室の内容について「親子のふれあい遊び」を中心に取り入れる。	不参加者に対して状況確認を電話で行った。「親子のふれあい遊び」として、毎回わらべ歌を取り入れることができた。	継続参加できるように欠席者には連絡を入れ状況を確認していく。今後も参加者の成長・発達を確認していく。
第2期	7月に臨床心理士の巡回相談を親子広場と同日開催するため、相談内容を事前に検討する。	事前に打ち合わせができた。対象者をしぼったことにより、臨床心理士から関わりのアドバイスを受けることができた。	今後も、巡回相談および毎回のカンファレンスで各参加者の関わりの方向性を明確にしていく。
第3期	教室を誘われてからの不参加者の確認を確実にし、継続参加できるように支援していく。初参加者に対して、初回時点で教室の概要を説明していく。	初参加者に対して、当日の流れを説明するとともに、言語聴覚士や理学療法士、臨床心理士など確実な相談を行うことができた。	新規参加者が増えていくため、今後も参加目的を明確にし関わっていく。
第4期	教室前に新規のカルテ等確認し、相談スタッフに的確につなぐ。	相談スタッフにつなぐことができた。わらべ歌が定着した。	参加者の求めるものを把握する。今後も参加目的を明確にしかかわっていく。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化特になし。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 性
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 他子ども支援部署と連携をし、支援を強化していく。	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ① 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 課 題	視 点					妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定						
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定												
チェック					4										3											4	B
課題	参加が途絶えていたり、誘っても1度も参加がない親子について定期的に状況確認が必要である。参加しやすい雰囲気づくり、継続して参加したくなる内容を検討する。その子とその親にあった対応をしていく。																				記号の定義 A:計画どおり事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休・廃止の検討が必要						
前年度総合評価判定																					B						
前年度評価シート整理番号																											

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
参加を待っているばかりでなく、何らかの理由で参加しない親子については状況確認した。参加によって成長がみられる。保育士さんのふれあい遊びが充実した。引き続き参加したいと思ってもらえる教室を目指す。	年度末の振り返りを活かして目的が達成できるようにする。	
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性	

改 革 ・ 改 善 策	今 後 の 方 向 性					改 革 ・ 改 善 策				
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定
参加している親子にできるだけ多く声掛けをする。必要なフォローにつなげる。参加しない親子・中断者について確認する。	参加している親子にできるだけ多く声掛けをする。必要なフォローにつなげる。参加しない親子・中断者について確認する。									

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	保健課長	両角直樹
---------	------------	---------	------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	養育医療給付事業	事業期間	平成 27 ~ 28 年度	整理番号	03020127
担当部署	健康福祉部 保健課	作成担当者名	森井潤	連絡先	326

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり		
			施策 05 第5節 健康づくりの推進			
			細施策 04 母子保健システムの確立			
			事務事業 01 母子保健事業			
	予算事業名	養育医療給付事業費		会計コード 001 款 04 項 01 目 03 事業 02		
	事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	母子保健法第20条に基づき、身体の発育が未熟なまま生まれ、入院を必要とする乳児が、指定医療機関において入院治療を受ける場合に、その治療に要する医療費を養育医療として公費により負担します。				
	現状と背景 (どうして)	未熟児は、正常な新生児と比べて生理的に欠陥があり、疾病にも罹患しやすく、その死亡率はきわめて高率であるばかりでなく、心身の障害を残すことも多いことから、生後速やかに適切な処置を講ずることが必要である。このため、医療を必要とする未熟児に対しては、養育に必要な医療の給付を行う。				
	目的 対象	受益者 (誰のために)	未熟児のうち医師が入院養育を必要と認めた乳児			
		対象 (直接働きかける)	同上			
	目的 意図 (どんな状態にしたいか)	養育に必要な医療の給付を行う				
	手段・方法 (どうやって)	保護者からの申請に基づき給付決定を行い、治療に要する医療費を公費により負担する。 制度の内容を「広報ちの」にて申請窓口や、申請方法を周知する。				
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		制度の概要や申請の方法について市民に周知する	広報ちの掲載回数	回	半年に1回掲載する	2
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値

実施状況	項目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)
			事業費等(a)	円		702,737	1,074,823
財源内訳	国庫支出金	円		264,456	476,067	1,226,934	1,010,000
	県支出金	円		132,228	238,033	613,466	505,000
	地方債	円					
	その他特定財源	円		172,323	122,064	610,730	200,000
	一般財源	円		133,730	238,659	617,138	331,000
職員数	正規職員	人		0.05	0.05	0.10	
	嘱託職員	人					
	臨時職員	人					
	合計	人		0.05	0.05	0.10	
	対象(者)数						
	延利用(者)数(b)						
	単位コスト(a)/(b)	円	-	-	-	-	-
	受益者負担額	円					
	市民一人当たりのコスト	円	-	13.00	19.00	55.00	37.00
D O （ ）	活動指標	広報ちの掲載回数	目標	2	2	2	
			実績	1	1	1	
	達成率	%	50.00	50.00	50.00		
	-	目標	-				
		実績	-				
	達成率	%	-	-	-	-	
成果指標	-	目標	-				
		実績	-				
	達成率	%	-	-	-	-	
	-	目標	-				
実績		-					
達成率	%	-	-	-	-		
備考	※ 成果指標を設定することは性質上なじまない。						

事務事業名	養育医療給付事業	事業期間	平成	~	年度	整理番号	03020127
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	森井潤	連絡先	326

期	目標	実績	課題
第1期	制度や申請方法、申請窓口などの周知を行う。申請者に負担がかからないようにスムーズに決定業務を行う。	スムーズに決定業務ができた。	制度や申請についての周知は引き続き行う必要がある。
第2期	制度や申請方法、申請窓口などの周知を行う。申請者に負担がかからないようにスムーズに決定業務を行う。	スムーズに決定業務ができた。	制度や申請についての周知は引き続き行う必要がある。
第3期	制度や申請方法、申請窓口などの周知を行う。申請者に負担がかからないようにスムーズに決定業務を行う。	スムーズに決定業務ができた。	制度や申請についての周知は引き続き行う必要がある。
第4期	制度や申請方法、申請窓口などの周知を行う。申請者に負担がかからないようにスムーズに決定業務を行う。広報紙掲載による周知。番号法対応に伴う様式の変更。	ホームページ・チラシなどを活用し広報活動を強化した。	制度や申請についての周知は引き続き行う必要がある。

事中評価																		
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 特になし	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">今後の方向性</td> <td>拡充</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	今後の方向性	拡充	②	⑤	⑦	現状維持	③	⑥	⑨	縮小	④	⑧	⑩	休廃止	①		
今後の方向性	拡充		②	⑤	⑦													
	現状維持		③	⑥	⑨													
	縮小		④	⑧	⑩													
	休廃止	①																
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 高度医療体制が整備されたこともあり需要は増加傾向にあるため、医療機関などとの連携は密にし、対象者を支援していく。	<p>皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性</p>																	

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
評価の観点				レ	3				レ	3				レ	3	B
チェック				レ	3				レ	3				レ	3	
課題	<p>制度や申請方法、申請窓口などの周知はこれからも必要であり、行っていく。申請時期は、未熟児を抱え大変な時期と重なるため、できるだけ申請者に負担がかからないようにスムーズに決定業務ができるようにしていく。</p>															<p>記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要</p>
	前年度総合評価判定					A					前年度評価シート整理番号					

総合評価	細施策評価前					細施策評価後				
	申請窓口を他部署から案内されてきたという申請者もあり、庁内の周知はされつつあると思われる。今後も、広報等も通じて必要な方にご案内をする。	申請窓口を他部署から案内されてきたという申請者もあり、庁内の周知はされつつあると思われる。今後も、広報等も通じて必要な方にご案内をする。								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

改革・改善の方向性	細施策評価前					細施策評価後				
	今後の方向性	拡充		②	⑤	レ	⑦			
現状維持			③	⑥		⑨				
縮小			④	⑧		⑩				
休廃止		①								
	皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性					皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性				
改革・改善策	<ul style="list-style-type: none"> 広報で申請窓口のお知らせ 決定業務をできるだけ早く行い、申請者の負担を少なくする。 					<ul style="list-style-type: none"> 広報で申請窓口のお知らせ 決定業務をできるだけ早く行い、申請者の負担を少なくする。 				

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	保健課長	両角直樹
---------	------------	---------	------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名		妊婦・乳幼児訪問事業			事業期間	平成	～	年度	整理番号	03050107			
担当部署		健康福祉部		西部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名		清水 利恵	連絡先	82-0073			
計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり								
			施策	05	第5節 健康づくりの推進								
			細施策	04	母子保健システムの確立								
			事務事業	02	妊婦・乳幼児訪問事業								
	予算事業名	西部保健福祉サービスセンター事業費			会計コード	001	款	03	項	01	目	09	事業
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	ハイリスク妊婦、個別支援が必要な家庭への訪問、新生児等の全戸家庭訪問												
現状と背景 （どうして）	核家族化や地域における人間関係の希薄化等に伴い、育児不安やストレスなど、親と子の健康は社会的に大きな問題となっている。子供が健やかに成長していくためには、親子がともに満足と幸福感に満たされているような心の健康が必要で、子供に愛情を注いで育児ができるような支援体制の確立が望まれている。												
目的 的 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	対象 （ 誰 の た め に ）	妊産婦・乳幼児とその家族											
	対象 （ 直 接 働 き か け る ）	若年・高年妊婦、医療的に保健指導が必要な妊婦、及び全ての産婦と乳幼児											
手段・方法 （ ど う や っ て ）	乳幼児健診だけでなく、乳幼児の心理相談等や妊産婦に対する指導を行う。また、地域で子育てを支援する様々な活動についての事業周知に力を入れるとともに、利用者のニーズに沿った実施方法を継続して検討実施し、育児不安やストレスを解消させ以後の継続的な相談支援につなげる。												
	妊婦、乳幼児健診等において上記の妊産婦等を把握し、保健福祉サービスセンターの保健師が家庭を訪問し母子の心身の様子及び養育環境を把握し、育児に関する不安や悩みの相談に応じ、子育て支援に関する情報提供や指導を行う。その中で、支援が必要な家庭に対する提供サービスの検討、関係機関との連絡調整を行う。												
N （ ）	活動指標 の 作 成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値			
		妊産婦・乳幼児訪問指導件数	訪問指導件数	件	訪問実施件数の合計								
	成果 指 標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値			
		訪問指導実施率	実施率	%	訪問指導件数÷訪問指導対象件数					100			

項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）
実 施 状 況 （ ）	事業費等 (a)	円					
	財源内訳						
	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
	一般財源	円					
職員数	正規職員	人		0.60	0.60	1.00	
	嘱託職員	人					
臨時職員	臨時職員	人		0.40	0.40		
	合計	人		1.00	1.00	1.00	
対象（者）数	対象（者）数						
	延利用（者）数 (b)						
単 位 コ ス ト	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
	受益者負担額	円					
市民一人当たりのコスト	市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	-
	訪問指導件数	目標 実績 達成率					
活 動 指 標	-	目標		149	169	131	
	-	実績					
	-	達成率					
	-	目標					
成 果 指 標	実施率	目標 実績 達成率					
	-	目標		100	100	100	100
	-	実績		100	100	100	100
	-	達成率		100.00	100.00	100.00	100.00
備 考	目標						
	実績						
	達成率						

事務事業名	妊婦・乳幼児訪問事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03050107
担当部署	健康福祉部	西部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	清水 利 恵	連絡先	82-0073

四 半 期 と の 管 理	期	目 標	実 績	課 題
	第1期			
	第2期			
	第3期			
	第4期			

事 中 評 価

当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 果 の 方 向 性 の 方 向 性	拡 充		②	⑤	⑦
		現 状 維 持		③	⑥	⑨
		縮 小		④	⑧	⑩
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）		休 廃 止	①			
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				

評価年度 当年度

評 価 課 題 （ C H E C K ）	視 点	妥 当 性				有 効 性				効 率 性				総 合 評 価 判 定			
	評価の観点	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2		3	4	判定
	チェック					4					4						4
課 題	<p>事業を効果的に進めるためには、対象者に事業の趣旨と内容及び訪問を受けることのメリット等が理解されることが必要である。母子健康手帳交付時や出生届受理時等の機会を活用し事業の周知を図るとともに、事前に訪問日程の調整をする等、対象家庭や地域の実情に応じて訪問を受けやすい環境を作る必要がある。</p>												記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要			
													前年度総合評価判定	A			
													前年度評価シート整理番号	03050107			

総 合 評 価 （ C H E C K ）	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後		
	<p>核家族化や地域における人間関係の希薄化等に伴い、妊娠中や産後は地域社会から孤立してしまうことがある。この時期の対応は、育児不安やストレスなどを解消し母子の健全育成や虐待の防止につながる。早期に関わることで、育児不安や負担の軽減や育児支援の情報提供が可能となり、その後の子育て支援につながっていくため、より充実した支援を目指していく必要がある。</p>	<p>核家族化や地域における人間関係の希薄化等に伴い、妊娠中や産後は地域社会から孤立してしまうことがある。この時期の対応は、育児不安やストレスなどを解消し母子の健全育成や虐待の防止につながる。早期に関わることで、育児不安や負担の軽減や育児支援の情報提供が可能となり、その後の子育て支援につながっていくため、より充実した支援を目指していく必要がある。</p>		
	前年度改革・改善策の実施状況	実施済	前年度細施策評価における今後の方向性	

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 （ A C T I O N ）	今 後 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後	
	成 果 の 方 向 性	<p>拡 充</p> <p>現 状 維 持</p> <p>縮 小</p> <p>休 廃 止</p>	<p>②</p> <p>⑤</p> <p>⑦</p> <p>③</p> <p>⑥</p> <p>⑨</p> <p>④</p> <p>⑧</p> <p>⑩</p> <p>①</p>	<p>②</p> <p>⑤</p> <p>⑦</p> <p>③</p> <p>⑥</p> <p>⑨</p> <p>④</p> <p>⑧</p> <p>⑩</p> <p>①</p>
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			
	改革・改善策	<p>対象世帯への働きかけ（電話・訪問）を積極的に行う。訪問体制の充実を図る。</p>	<p>対象世帯への働きかけ（電話・訪問）を積極的に行う。訪問体制の充実を図る。</p>	

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	西部保健福祉サービスセンター長	依 田 利 文
---------	------------	---------	-----------------	---------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名		妊婦・乳幼児訪問事業			事業期間	平成 12 ~	年度	整理番号	03060111								
担当部署		健康福祉部	中部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	笠原いくみ		連絡先	82-0107								
計	市民プランにおける位置づけ	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり												
			施策	05	第5節 健康づくりの推進												
			細施策	04	母子保健システムの確立												
			事務事業	02	妊婦・乳幼児訪問事業												
画	予算事業名							会計コード	001	款	04	項	01	目	02	事業	05
	事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	ハイリスク妊婦、個別支援が必要な家庭への訪問、新生児等の全戸家庭訪問															
	現状と背景 (どうして)	核家族化や地域における人間関係の希薄化等に伴い、育児不安やストレスなど、親と子の健康は社会的に大きな問題となっている。子供が健やかに成長していくためには、親子がともに満足と幸福感に満たされているような心の健康が必要で、子供に愛情を注いで育児ができるような支援体制の確立が望まれている。															
	目的	受益者 (誰のために)	妊産婦・乳幼児とその家族														
P	的	対象	若年・高年妊婦、医療的に保健指導が必要な妊婦、及び全ての産婦と乳幼児														
		意図 (どんな状態にしたいか)	乳幼児健診だけでなく、乳幼児の心理相談等や妊産婦に対する指導を行う。また、地域で子育てを支援する様々な活動についての事業周知に力を入れるとともに、利用者のニーズに沿った実施方法を継続して検討実施し、育児不安やストレスを解消させ以後の継続的な相談支援につなげる。														
		手段・方法 (どうやって)	妊婦、乳幼児健診等において上記の妊産婦等を把握し、保健福祉サービスセンターの保健師が家庭を訪問し母子の心身の様子及び養育環境を把握し、育児に関する不安や悩みの相談に応じ、子育て支援に関する情報提供や指導を行う。その中で、支援が必要な家庭に対する提供サービスの検討、関係機関との連絡調整を行う。														
A	N	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値						
			活動指標	妊産婦・乳幼児訪問指導件数	訪問指導件数	件	訪問実施件数の合計					150					
			成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値					
			訪問指導実施率	実施率	%	訪問指導件数÷訪問指導対象件数					100						

実施状況	項目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算又は決算額)	平成28年度事業計画(予算)	
			事業費等(a)	円				
財源内訳	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
	一般財源	円						
	職員数	人						
状況	正規職員	人						
	嘱託職員	人						
	臨時職員	人						
	合計	人						
O	活動指標	対象(者)数						
		延利用(者)数(b)						
	訪問指導件数	目標	件	186	146	150	150	150
		実績	件	210	164	182	136	
	-	達成率	%	112.90	112.33	121.33	90.67	-
		目標	件					
	-	実績	件					
		達成率	%	-	-	-	-	-
	成果指標	実施率	目標	%	100	100	100	100
			実績	%	112	112	108	95
達成率		%	112.00	112.00	108.00	95.00	100.00	
目標		件						
-	実績	件						
	達成率	%	-	-	-	-	-	
備考								

事務事業名	妊婦・乳幼児訪問事業	事業期間	平成 12 ~	年度	整理番号	03060111	
担当部署	健康福祉部	中部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	笠原いくみ	連絡先	82-0107

四 半 期 と の 管 理	期	目 標	実 績	課 題
	第1期			
	第2期			
	第3期			
	第4期			

事 中 評 価

の 管 理	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 後 の 方 向 性	成 果 拡 充	②	⑤	⑦
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）		現 状 維 持	③	⑥	⑨
			縮 小	④	⑧	⑩
			休 廃 止	①		
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			

評価年度

評 価 課 題 （ C H E C K ）	視 点	妥 当 性				有 効 性				効 率 性				総 合 評 価 判 定			
	評価の観点	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2		3	4	判定
	チェック					4					4						4
課 題	<p>事業を効果的に進めるためには、対象者に事業の趣旨と内容及び訪問を受けることのメリット等が理解されることが必要である。母子健康手帳交付時や出生届受理時等の機会を活用し事業の周知を図るとともに、事前に訪問日程の調整をする等、対象家庭や地域の実情に応じて訪問を受けやすい環境を作る必要がある。</p>												記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要			
		前年度総合評価判定				A				前年度評価シート整理番号				03060111			

総 合 評 価 （ C H E C K ）	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
	<p>核家族化や地域における人間関係の希薄化等に伴い、妊娠中や産後は地域社会から孤立してしまうことがある。この時期の対応は、育児不安やストレスなどを解消し母子の健全育成や虐待の防止につながる。早期に関わることで、育児不安や負担の軽減や育児支援の情報提供が可能となり、その後の子育て支援につながっていくため、より充実した支援を目指していく必要がある。</p>	<p>核家族化や地域における人間関係の希薄化等に伴い、妊娠中や産後は地域社会から孤立してしまうことがある。この時期の対応は、育児不安やストレスなどを解消し母子の健全育成や虐待の防止につながる。早期に関わることで、育児不安や負担の軽減や育児支援の情報提供が可能となり、その後の子育て支援につながっていくため、より充実した支援を目指していく必要がある。</p>
	前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 （ A C T I O N ）	今 後 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後			
	方 向 性	成 果 拡 充	②	⑤	⑦	
		現 状 維 持	③	⑥	⑨	
		縮 小	④	⑧	⑩	
休 廃 止	①					
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			
改 革 ・ 改 善 策	対象世帯への働きかけ（電話・訪問）を積極的に行う。訪問体制の充実を図る。		対象世帯への働きかけ（電話・訪問）を積極的に行う。訪問体制の充実を図る。			

最終評価年月日	平成28年4月27日	最終評価責任者	中部保健福祉サービスセンター長	保 科 実 早 子
---------	------------	---------	-----------------	-----------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名		妊婦・乳幼児訪問事業			事業期間	平成	～	年度	整理番号	03040107								
担当部署		健康福祉部			作成担当者名	橋本こづえ			連絡先	82-0026								
計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり													
			施策	05	第5節 健康づくりの推進													
			細施策	04	母子保健システムの確立													
			事務事業	02	妊婦・乳幼児訪問事業													
	予算事業名								会計コード	001	款	03	項	01	目	09	事業	03
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	ハイリスク妊婦、個別支援が必要な家庭への訪問、新生児等の全戸家庭訪問																
	現状と背景 （どうして）	核家族化や地域における人間関係の希薄化等に伴い、育児不安やストレスなど、親と子の健康は社会的に大きな問題となっている。子供が健やかに成長していくためには、親子がともに満足と幸福感に満たされているような心の健康が必要で、子供に愛情を注いで育児ができるような支援体制の確立が望まれている。																
目的 的 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	対象 （ 誰 の た め に ）	妊産婦・乳幼児とその家族																
	対象 （ 直 接 働 き か け る ）	若年・高年妊婦、医療的に保健指導が必要な妊婦、及び全ての産婦と乳幼児																
	意図 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	乳幼児健診だけでなく、乳幼児の心理相談等や妊産婦に対する指導を行う。また、地域で子育てを支援する様々な活動についての事業周知に力を入れるとともに、利用者のニーズに沿った実施方法を継続して検討実施し、育児不安やストレスを解消させ以後の継続的な相談支援につなげる。																
	手段・方法 （ ど う や っ て ）	妊婦、乳幼児健診等において上記の妊産婦等を把握し、保健福祉サービスセンターの保健師が家庭を訪問し母子の心身の様子及び養育環境を把握し、育児に関する不安や悩みの相談に応じ、子育て支援に関する情報提供や指導を行う。その中で、支援が必要な家庭に対する提供サービスの検討、関係機関との連絡調整を行う。																
N （ ）	活動指標 の 作 成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値									
		妊産婦・乳幼児訪問指導件数	訪問指導件数	件	訪問実施件数の合計													
	成果 指 標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値									
		訪問指導実施率	実施率	%	訪問指導件数÷訪問指導対象件数				100									

項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
実 施 状 況 （ ）	事業費等 (a)	円						
	財源内訳							
	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
職 員 数	正規職員	人	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	
	嘱託職員	人						
	臨時職員	人	0.40	0.40	0.40	0.40		
	合計	人	1.00	1.00	1.00	1.00	0.60	
対 象 （ 者 ） 数	対象（者）数							
	延利用（者）数 (b)							
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
受 益 者 負 担 額	受益者負担額	円						
	市民一人当たりのコスト	円					82.00	
	活 動 指 標 （ ）	訪問指導件数	目標	件				
実績			件	155	159	169	175	170
-		達成率	%	-	-	-	-	-
		目標	件					
-		実績	件					
		達成率	%	-	-	-	-	-
成 果 指 標 （ ）	実施率	目標	%	100	100	100	100	
		実績	%	100	100	100	100	
	-	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		目標	件					
	-	実績	件					
		達成率	%	-	-	-	-	-
備考								

事務事業名	妊婦・乳幼児訪問事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03040107
担当部署	健康福祉部	東部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	橋本こづえ	連絡先	82-0026

期	目 標	実 績	課 題
第1期	対象者宅への訪問	訪問実施件数35件	訪問の継続
第2期	対象者宅への訪問	訪問実施件数40件	訪問の継続
第3期	対象者宅への訪問	訪問実施件数35件	訪問の継続
第4期	対象者宅への訪問	訪問実施件数40件	訪問の継続

事 中 評 価			
今 後 の 方 向 性	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	成 果 的 拡 充	② ⑤ ⑦
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	現 状 維 持	③ ⑥ ⑨
		縮 小	④ ⑧ ⑩
		休 廃 止	①
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	

評価年度	
------	--

評 価 課 題	視 点					妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	評価の観点					1 2 3 4 判定					1 2 3 4 判定					1 2 3 4 判定					
	チェック					4					4					4					
課題	<p>事業を効果的に進めるためには、対象者に事業の趣旨と内容及び訪問を受けることのメリット等が理解されることが必要である。母子健康手帳交付時や出生届受理時等の機会を活用し事業の周知を図るとともに、事前に訪問日程の調整をする等、対象家庭や地域の実情に応じて訪問を受けやすい環境を作る必要がある。</p>															記号の定義	A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要				
	前年度総合評価判定					A					前年度評価シート整理番号										

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	核家族化や地域における人間関係の希薄化等に伴い、妊娠中や産後は地域社会から孤立してしまうことがある。この時期の対応は、育児不安やストレスなどを解消し母子の健全育成や虐待の防止につながる。早期に関わることで、育児不安や負担の軽減や育児支援の情報提供が可能となり、その後の子育て支援につながっていくため、より充実した支援を目指していく必要がある。	核家族化や地域における人間関係の希薄化等に伴い、妊娠中や産後は地域社会から孤立してしまうことがある。この時期の対応は、育児不安やストレスなどを解消し母子の健全育成や虐待の防止につながる。早期に関わることで、育児不安や負担の軽減や育児支援の情報提供が可能となり、その後の子育て支援につながっていくため、より充実した支援を目指していく必要がある。								
前年度改革・改善策の実施状況	実施済					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	今 後 の 方 向 性					改 革 ・ 改 善 策								
	今 後 の 方 向 性	成 果 的 拡 充			②	⑤	⑦	改 革 ・ 改 善 策	成 果 的 拡 充					
		現 状 維 持			③	⑥	⑨		現 状 維 持				レ	
		縮 小			④	⑧	⑩		縮 小					
休 廃 止		①					休 廃 止							
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性							皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					
対象世帯への働きかけ（電話・訪問）を積極的に行う。訪問体制の充実を図る。						対象世帯への働きかけ（電話・訪問）を積極的に行う。訪問体制の充実を図る。								

最終評価年月日	平成28年5月19日	最終評価責任者	東部保健福祉サービスセンター長	依田利文
---------	------------	---------	-----------------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名		妊婦・乳幼児訪問事業			事業期間	平成	～	年度	整理番号	03070111			
担当部署		健康福祉部		北部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名		中村紀子	連絡先	77-3000			
計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり							
				施策	05	第5節 健康づくりの推進							
				細施策	04	母子保健システムの確立							
				事務事業	02	妊婦・乳幼児訪問事業							
	予算事業名	北部保健福祉サービスセンター事業費			会計コード	001	款	03	項	01	目	09	事業
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	ハイリスク妊婦、個別支援が必要な家庭への訪問、新生児等の全戸家庭訪問												
現状と背景 （どうして）	核家族化や地域における人間関係の希薄化等に伴い、育児不安やストレスなど、親と子の健康は社会的に大きな問題となっている。子供が健やかに成長していくためには、親子がともに満足と幸福感に満たされているような心の健康が必要で、子供に愛情を注いで育児ができるような支援体制の確立が望まれている。												
目的 的 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	対象 （ 誰 の た め に ）	妊産婦・乳幼児とその家族											
	対象 （ 直 接 働 き か け る ）	若年・高年妊婦、医療的に保健指導が必要な妊婦、及び全ての産婦と乳幼児											
手段・方法 （ ど う や っ て ）	乳幼児健診だけでなく、乳幼児の心理相談等や妊産婦に対する指導を行う。また、地域で子育てを支援する様々な活動についての事業周知に力を入れるとともに、利用者のニーズに沿った実施方法を継続して検討実施し、育児不安やストレスを解消させ以後の継続的な相談支援につなげる。												
	妊婦、乳幼児健診等において上記の妊産婦等を把握し、保健福祉サービスセンターの保健師が家庭を訪問し母子の心身の様子及び養育環境を把握し、育児に関する不安や悩みの相談に応じ、子育て支援に関する情報提供や指導を行う。その中で、支援が必要な家庭に対する提供サービスの検討、関係機関との連絡調整を行う。												
N （ ）	活動指標 の 作 成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値			
		妊産婦・乳幼児訪問指導件数	訪問指導件数	件	訪問実施件数の合計								
	成果 指 標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値			
		訪問指導実施率	実施率	%	訪問指導件数÷訪問指導対象件数					100			

項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
実 施 状 況 （ ）	事業費等 (a)	円						
	財源内訳							
	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
	一般財源	円						
	職員数							
	正規職員	人						
	嘱託職員	人						
臨時職員	人							
合計	人							
対象（者）数								
延利用（者）数 (b)								
単位コスト (a)/(b)	円		-	-	-	-	-	
受益者負担額	円							
市民一人当たりのコスト	円		-	-	-	-	-	
D O （ ）	活動指標	訪問指導件数	目標	件				
		実績	件	38	37	31	30	
		達成率	%	-	-	-	-	-
	-	目標	-					
		実績	-					
		達成率	%	-	-	-	-	-
	-	目標	-					
		実績	-					
		達成率	%	-	-	-	-	-
	成果指標	実施率	目標	%	100	100	100	100
実績		%	100	100	100	100		
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	-	
-	目標	-						
	実績	-						
	達成率	%	-	-	-	-	-	
備考								

事務事業名	妊婦・乳幼児訪問事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03070111
担当部署	健康福祉部	北部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	中村紀子	連絡先	77-3000

四 半 期 と の 管 理	期	目 標	実 績	課 題
	第1期			
	第2期			
	第3期			
第4期				

事 中 評 価

の 管 理	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 後 の 方 向 性	成 果 拡 充	②	⑤	⑦
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）		現 状 維 持	③	⑥	⑨
			縮 小	④	⑧	⑩
			休 廃 止	①		
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			

評価年度 当年度

評 価 課 題 （ C H E C K ）	視 点	妥 当 性				有 効 性				効 率 性				総 合 評 価 判 定			
	評価の観点	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2		3	4	判定
	チェック					4					4						4

記号の定義
A：計画どおり事業を進めることが適当
B：事業の進め方に改善が必要
C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要
D：事業の統合、休・廃止の検討が必要
前年度総合評価判定
前年度評価シート整理番号

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
	核家族化や地域における人間関係の希薄化等に伴い、妊娠中や産後は地域社会から孤立してしまうことがある。この時期の対応は、育児不安やストレスなどを解消し母子の健全育成や虐待の防止につながる。早期に関わることによって、育児不安や負担の軽減や育児支援の情報提供が可能となり、その後の子育て支援につながっていくため、より充実した支援を目指していく必要がある。	核家族化や地域における人間関係の希薄化等に伴い、妊娠中や産後は地域社会から孤立してしまうことがある。この時期の対応は、育児不安やストレスなどを解消し母子の健全育成や虐待の防止につながる。早期に関わることによって、育児不安や負担の軽減や育児支援の情報提供が可能となり、その後の子育て支援につながっていくため、より充実した支援を目指していく必要がある。
	前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 （ A C T I O N ）	今 後 の 方 向 性	成 果 拡 充	②	⑤	⑦	成 果 拡 充				
	方 向 性	現 状 維 持	③	⑥	⑨	現 状 維 持			レ	
		縮 小	④	⑧	⑩	縮 小				
		休 廃 止	①			休 廃 止				
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			
改 革 ・ 改 善 策	対象世帯への働きかけ（電話・訪問）を積極的に行う。訪問体制の充実を図る。					対象世帯への働きかけ（電話・訪問）を積極的に行う。訪問体制の充実を図る。				

最終評価年月日	平成27年4月12日	最終評価責任者	北部保健福祉サービスセンター長	牛山 隆
---------	------------	---------	-----------------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

国民健康保険特別会計【茅野市】

事務事業名	特定健康診査事業	事業期間	平成 20 ~ 年度	整理番号	03020119
担当部署	健康福祉部 保健課	作成担当者名	小 穴 範 子	連絡先	326

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり
				施策	05	第5節 健康づくりの推進
				細施策	05	疾病予防対策の推進
				事務事業	01	生活習慣病予防事業
	予算事業名	特定健康診査事業			会計コード	002 款 08 項 01 目 01 事業 01
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	平成20年度から「高齢者の医療の確保に関する法律」にのっとり、各医療保険者が40～74歳の加入者を対象として「特定健診」を実施することになりました。茅野市では国民健康保険者を対象に年1回、茅野・原地区医師会の医療機関による特定健診を実施しています。特定健診を行うことで、疾病の早期発見・早期治療により生活習慣病を重症化させないようにする。				
	現状と背景 （どうして）	疾病全体における生活習慣病の割合が増加し、死因の原因では生活習慣病が6割を占め、それに伴う医療費も生活習慣病が医療費の3分の1を占め、医療費の増加が問題となっています。特に、生活習慣病の危険因子が高いメタボリックシンドロームの割合は、予備軍も含め男性の2人に1人、女性の5人に1人となっており、大きな課題といえます。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	国民健康保険加入者のうち、40歳から74歳の方			
		対象 （直接働きかける）	国民健康保険加入者のうち、40歳から74歳の方			
		意図	特定健診を受ける人が増加する。 健診を受けることで、メタボリックシンドローム該当率が減少する。			
	手段・方法 （どうやって）	特定健診・・・対象者全員に個別通知をし、茅野原地区の委託医療機関による個別健診を5月～12月まで実施し、誕生日を目安にご案内しています。また、同等の健診をお受けいただいている方からは、健診結果の写しを提出いただき、結果入力することで受診率の向上に努めています。				
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		特定健診受診者数の増加	健診受診率	%	受診者数÷対象者数	60
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		メタボリックシンドロームに該当しない人の増加	メタボに該当しない率	%	メタボ該当しない率	90

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円	35,001,011	36,760,583	36,405,382	36,648,128	55,564,000	
財源内訳							
国庫支出金	円	8,473,240	8,941,795	8,394,000	8,951,000	10,016,000	
県支出金	円	8,473,240	8,468,777	8,173,000	12,466,000	10,016,000	
地方債	円						
その他特定財源	円						
一般財源	円	18,054,531	19,350,011	19,838,382	15,231,128	35,532,000	
職員数	人						
正規職員	人	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90	
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合計	人	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90	
対象（者）数		10,585	10,747	11,104	10,125		
延利用（者）数 (b)		5,000	4,308	4,828	4,636		
単位コスト (a)/(b)	円	7,000	8,533	7,540	7,905	—	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	623.00	657.00	650.00	655.00	1,114.00	
活動指標	健診受診率	目標	%	65	65	60	60
		実績	%	45	45	45	未確定
	達成率	%	69.23	69.23	75.00	#VALUE!	
	—	目標	—				
—	実績	—					
	達成率	%	—	—	—	—	
成果指標	メタボに該当しない率	目標	%	90	90	90	90
		実績	%	85	85	85	未確定
	達成率	%	94.67	94.44	94.44	#VALUE!	
	—	目標	—				
—	実績	—					
	達成率	%	—	—	—	—	
備考	健診自己負担額無料化による事業費増加						

事務事業名	特定健康診査事業	事業期間	平成 20 ~	年度	整理番号	03020119	
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	小 穴 範 子	連絡先	326

期	目 標	実 績	課 題
第1期	対象者あての通知発送等に漏れがないようにする。	4月1日加入者を抽出し受診票を作成し発送を行った。	廻りの加入者が多く、手書きの受診票作成に時間がかかった。
第2期	対象者あての通知発送等に漏れがないようにする。	加入者の抽出を行い通知発送をした。	案内通知を昨年度より早く発送したが、受診者数がそれほど増加していない。
第3期	未受診者への受診勧奨通知を発送する。広報で受診の呼びかけを掲載する。	未受診者に受診勧奨はがきを送付した。広報で受診の呼びかけをした。	9月以降の受診数が昨年度を下回っている。
第4期	未受診者対象の集団健診を実施する。	集団健診の日数を増やし、電話による受診勧奨を行った。	集団健診を受けた人は増えたが、昨年度よりも個別健診の受診が減少した。

iZr4		今 後 の 方 向 性				
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 昨年よりも早く案内通知をしたが、9月時点でも受診者が昨年よりそれほど増えていない。 新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 健診の内容の充実として心電図検査を追加して実施したい。	成果の方向性	拡 充	②	⑤	⑦	レ
	方 向 性	現 状 維 持	③	⑥	⑨	
	方 向 性	縮 小	④	⑧	⑩	
	方 向 性	休 廃 止	①			
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4			レ		3					4	B
課題	個別健診の受診者が減少したため、未受診者向けの集団健診の実施日を増やした。11月以降の受診者が減少している。治療中の人の受診が少ない。															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	B															
前年度評価シート整理番号																

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	課題	特定健診の受診率向上のための取組みとして、集団健診の実施日を増やし、電話による受診勧奨を行った。もっと多くの人に受診してもらうためには、実施方法についての工夫が必要。								
前年度改革・改善策の実施状況	一部実施					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					
	今 後 の 方 向 性	成果の方向性	拡 充	②	⑤	レ	⑦	成果の方向性	拡 充		
改 革 ・ 改 善 策	方 向 性	現 状 維 持	③	⑥		⑨	方 向 性	現 状 維 持			
	方 向 性	縮 小	④	⑧		⑩	方 向 性	縮 小			
	方 向 性	休 廃 止	①				方 向 性	休 廃 止			
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				
改革・改善策	集団健診の実施日を増やす。					28年度から心電図検査を希望者に実施する。集団健診の日数を増やす。					

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	保健課長	両 角 直 樹
---------	------------	---------	------	---------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

国民健康保険特別会計【茅野市】

事務事業名	特定保健指導事業	事業期間	平成 20 ~ 年度	整理番号	03020120
担当部署	健康福祉部 保健課	健康推進係	作成担当者名	小 穴 範 子	連絡先
					326

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり
				施策	05	第5節 健康づくりの推進
				細施策	05	疾病予防対策の推進
				事務事業	01	生活習慣病予防事業
	予算事業名	特定保健指導事業			会計コード	002 款 08 項 01 目 01 事業 02
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	平成20年度から始まった特定健診の受診者で、健診結果がメタボリックシンドローム該当者には「特定保健指導を実施し、運動や栄養等の生活改善に取り組み生活習慣病の有病者や予備軍を減少・改善する事業です。				
	現状と背景 （どうして）	疾病全体における生活習慣病の割合が増加し、死因では生活習慣病が6割を占め、それに伴い生活習慣病が医療費の3分の1を占め医療費の増加が懸念されています。特に生活習慣病の危険因子が高いメタボリックシンドロームの割合は、予備軍も含め男性の2人に1人、女性の5人に1人となり大きな課題となっています。				
	目的 的 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	受益者 （誰のために）	国民健康保険加入者のうち、40歳から75歳未満の方			
		対象 （直接働きかける）	国民健康保険加入者のうち、40歳から75歳未満の方で、健診を受診し一定以上のリスクがある方			
		意図	生活習慣病やメタボリックシンドローム該当者率の減少。			
	手段・方法 （どうやって）	特定健診受診者のうち、メタボリックシンドロームの方や治療が必要な方等に保健師・管理栄養士による保健指導を実施し、6か月後に評価を行う。				
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		特定保健指導実施者数の増加	特定保健指導実施率 （終了者率）	%	特定保健指導実施者数÷保健指導が必要な対象者数	45
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		メタボリックシンドロームに該当しない人	メタボに該当しない率	%	メタボに該当しない率	90

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）
事業費等 (a)	円	1,415,286	1,896,979	1,454,184	1,519,605	1,949,000
財源内訳						
国庫支出金	円	612,000	645,205	245,000	252,000	774,000
県支出金	円	612,000	611,073	245,000	221,000	774,000
地方債	円					
その他特定財源	円					
一般財源	円	191,286	640,701	964,184	1,046,605	401,000
職員数	人					
正規職員	人	1.91	1.91	1.91	1.91	
嘱託職員	人					
臨時職員	人					
合計	人	1.91	1.91	1.91	1.91	
対象（者）数		660				
延利用（者）数 (b)						
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
受益者負担額	円					
市民一人当たりのコスト	円	25.00	34.00	26.00	27.00	35.00
活動指標	特定保健指導実施率 （終了者率）	目標	45	45	45	45
		実績	60	50	49	未確定
	達成率	133.33	111.11	109.33	#VALUE!	-
	—	目標	—	—	—	—
—	実績	—	—	—	—	
—	達成率	—	—	—	—	
成果指標	メタボに該当しない率	目標	90	90	90	90
		実績	51	85	85	未確定
	達成率	56.56	94.44	94.44	#VALUE!	94.44
	—	目標	—	—	—	—
—	実績	—	—	—	—	
—	達成率	—	—	—	—	
備考						

事務事業名	特定保健指導事業	事業期間	平成 20 ~	年度	整理番号	03020120	
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	小 穴 範 子	連絡先	326

期	目 標	実 績	課 題
第1期	保健指導研修会を行い、保健指導についての学習をする。	保健指導学習会を実施し、どこにポイントをおくか、何を学習すべきが整理できた。	引き続き学習が必要。
第2期	保健指導研修会を行い、保健指導についての学習をする。	保健指導学習会を実施した。	引き続き学習が必要。
第3期	保健指導研修会を行い、保健指導についての学習をする。	保健指導学習会を実施した。諏訪中央病院医師による研修も実施した。	引き続き学習が必要。
第4期	成人検討会で学習をする。	成人検討会で学習会を実施した。	全ての職員の保健地頭のレベルアップが必要。

事 中 評 価				
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の の 方 向 性 方 向 性	②	⑤	⑦
データの効果的な活用方法		③	⑥	⑨
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）		④	⑧	⑩
データの効果的な活用方法に基づいた保健指導の実現		①		
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性		

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4			レ		3					4	B
課題	特定保健指導が何年も続くと希望しない人が増えて、保健指導実施率が上がらない。治療中でコントロール不良の人が多くいるが、主治医との連携ができていないため保健指導ができていないケースが多い。															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	B															
前年度評価シート整理番号																

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					
	地区担当制で保健指導を行っている。KDBシステムも利用しながら個別指導を行っている。	年間通じて研修を行った。									
前年度改革・改善策の実施状況	一部実施					前年度細施策評価における今後の方向性					

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	今 後 の 方 向 性	成 果 の 方 向 性	拡 充	②	⑤	⑦	成 果 の 方 向 性	拡 充		レ
	現 状 維 持		③	⑥	⑨	現 状 維 持				
	縮 小		④	⑧	⑩	縮 小				
	休 廃 止	①				休 廃 止				
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				
個別指導の内容についてのレベルアップのための学習をする。	引き続き保健指導のレベルアップが必要。指導する対象者についても再検討する。									

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	保健課長	両 角 直 樹
---------	------------	---------	------	---------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

後期高齢者医療特別会計【茅野市】

事務事業名	高齢者健康診査事業	事業期間	平成 20 ~ 年度	整理番号	03020138
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	小 穴 範 子
				連絡先	326

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり
				施策	05	第5節 健康づくりの推進
				細施策	05	疾病予防対策の推進
				事務事業	01	生活習慣病予防事業
	予算事業名	健康診査事業費			会計コード	004 款 01 項 01 目 01 事業 03
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	健康診査の対象者は、実施主体となる市町村に住所を有する長野県後期高齢者医療保険に加入している人で、実施要綱の第2条2項に規定した施設入所者等を除いた人に対して、長野県後期高齢者医療広域連合の補助を受けて、年に1回健康診査を実施しています。実施は茅野・原地区医師会の医療機関に委託し5月から12月まで実施しています。健診を実施することで、疾病を早期発見・早期治療し生活習慣病を重症化させないようにし、健康に関心を持ち、生活習慣を見直す機会にしたいとすることを目的に実施しています。				
	現状と背景 （どうして）	生活習慣病は、現在、国民医療費（一般診療医療費）の3割、死亡者数の約6割を占めています。また、介護認定の要支援者および要介護者における介護が必要となった主な原因についても、脳血管疾患をはじめとした生活習慣病が3割を占めており、生活習慣病の予防は、課題となっています。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	実施主体となる市町村に住所を有する長野県後期高齢者医療保険に加入している人で、実施要綱の第2条2項に規定した施設入所者等を除いた人			
		対象 （直接働きかける）	同上			
		意図 （どんな状態にしたいか）	健康診査を受ける人が増加する。 介護保険の生活習慣病による、介護保険の認定開始年齢が、今より遅くなる。			
	手段・方法 （どうやって）	茅野市の各種検診のご案内を各家庭に配布し、健診の申し込みを受け付けます。申し込みいただいた人に、個別通知を発送し、茅野・原地区医師会の委託医療機関による個別健診を5月～12月まで実施します。				
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		後期高齢者健診 必要な人に占める受診割合の増加	受診率	%	受診者数÷対象者（除外対象を除いた後期高齢者人数）	60
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		生活習慣病の未治療者	受診勧奨値未受診者の割合	%	3疾患で受診勧奨値で受診していない人÷受診者数	5

実 施 状 況 （ D O ）	項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）
			事業費等(a)	円	3,313,609	3,028,180	3,193,022
財 源 内 訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円	3,313,609	2,971,336	3,121,053	2,895,200	4,620,000
職 員 数	一般財源	円		56,844	71,969	77,542	173,000
	正規職員	人	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	人					
	臨時職員	人					
	合計	人	0.10	0.10	0.10	0.10	
受 益 者 （ ）	対象（者）数		2,948	2,835	3,112	2,171	
	延利用（者）数(b)		536	436	404	376	
	単位コスト(a)/(b)	円	6,182	6,945	7,904	7,906	-
	受益者負担額	円					
活 動 指 標	市民一人当たりのコスト	円	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		86.00
	受診率	目標	60	60	60	60	
		実績	15	5	13	17	
	-	達成率	25.00	8.33	21.50	28.30	
目標		-	-	-	-		
-	実績	-	-	-	-		
	達成率	-	-	-	-		
成 果 指 標	受診勧奨値未受診者の割合	目標	5	5	5	5	
		実績	2.3	1.6	1.9	1.9	1.9
	-	達成率	46.00	32.00	38.00	38.00	38.00
		目標	-	-	-	-	
-	実績	-	-	-	-		
	達成率	-	-	-	-		
備考							

事務事業名	高齢者健康診査事業	事業期間	平成 20 ~	年度	整理番号	03020138	
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	小 穴 範 子	連絡先	326

期	目 標	実 績	課 題
第1期	希望者に通知を送信する。	希望者に通知を送信した。	申し込みが少ない。
第2期	検診申込書の表記について検討する。	他市の状況を確認。	申込み制でないところは受診率が高いが、生活習慣病で治療中の人は対象外。
第3期	KDBで医療の状況を確認する。	KDBで医療の状況を確認した。	国保と同様に人工透析の医療費が多かかっている。
第4期	KDBで医療の状況を確認する。	KDBで医療の状況を確認した。	国保と同様に人工透析の医療費が多かかっている。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 果 拡 充 後 の 現 状 維 持 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	前年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4			レ		3					4	B

課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・健診受診率が少ない。 ・結果が治療レベルでありながら、治療を受けていない人がいる。 	記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要
	前年度総合評価判定	B
	前年度評価シート整理番号	

細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
<ul style="list-style-type: none"> ・広報により、健診のPRをした。 ・後期高齢者の保険者証と一緒に、健診の案内を同封した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報により、健診のPRをした。 ・後期高齢者の保険者証と一緒に、健診の案内を同封した。 ・特定健診と同様に保健指導を行った。
前年度改革・改善策の実施状況	—
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性

今 後 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
成 果 拡 充	②	⑤
現 状 維 持	③	⑥
縮 小	④	⑧
休 廃 止	①	⑩
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性		
改 革 ・ 改 善 策	<ul style="list-style-type: none"> ・健診のPRを広報等に掲載する。 ・保険者証発行時に、健診の案内を同封しPRする。 ・結果が悪かった人については、受診勧奨をし治療につなげていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健診のPRを広報等に掲載する。 ・保険者証発行時に、健診の案内を同封しPRする。 ・結果が悪かった人については、受診勧奨をし治療につなげていく。 ・KDBシステムで健康状態を把握。

最終評価年月日	平成27年5月22日	最終評価責任者	保健課長	両 角 直 樹
---------	------------	---------	------	---------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	各種予防接種事業費（各種予防接種事業）			事業期間	平成	～	年度	整理番号	03020112
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	白鳥 晴美			連絡先	326

計	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり								
				施策	05	第5節 健康づくりの推進								
				細施策	05	疾病予防対策の推進								
				事務事業	02	感染症予防対策事業								
画	予算事業名	各種予防接種事業			会計コード	001	款	04	項	01	目	02	事業	01
	事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	感染症予防対策の充実。対象年齢内の予防接種の実施。 定期予防接種：BCG、不活化ポリオ、四種混合、三種混合、二種混合、麻しん風しん(混合)、日本脳炎、水痘、ヒブ感染症、小児の肺炎球菌感染症、ヒトパピローマウイルス感染症、インフルエンザ(65歳以上)、定期高齢者肺炎球菌												
	現状と背景 (どうして)	感染症の特徴、感染しやすい時期等に基づいた予防接種です。												
	目的	受益者 (誰のために)	各種予防接種対象者											
L		対象 (直接働きかける)	同上											
		意図 (どんな状態にしたいか)	ワクチン接種によって感染症に対する免疫をつけ、発病を防ぐと共に社会への感染症の蔓延を防止する。											
	手段・方法 (どうやって)	感染症の特徴・感染しやすい時期に各種予防接種を行う。周知方法は、広報ちの・ホームページ・個別通知による。接種方法は、集団接種・個別接種による。												
N	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値				
		各種予防接種者の増	集団予防接種延人数(二種混合・四種混合・B	人	予防接種者数					6,000				
		各種予防接種者の増	個別予防接種延人数(麻しん風しん第1期・第2	人	予防接種者数					7,000				
	各種予防接種者の増	個別予防接種延人数(インフルエンザ、定期高	人	予防接種者数					9,500					
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値				
	感染症予防対策の充実	0歳～18歳まで予防接種率	%	予防接種者数÷接種対象者数					100					
感染症予防対策の充実	高齢者インフルエンザ予防接種率	%	予防接種者数÷接種対象者数					60						

項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算又は決算額)	平成28年度事業計画(予算)	
実	事業費等(a)	円	129,209,535	109,269,089	118,608,290	118,354,891	123,862,000	
	財源内訳	国庫支出金	円					
		県支出金	円	22,477,000				
		地方債	円					
		その他特定財源	円					
	一般財源	円	106,732,535	109,269,089	118,608,290	118,354,891	123,862,000	
	職員数	正規職員	人	0.47	0.60	0.70	0.70	
		嘱託職員	人					
		臨時職員	人	0.33	0.40	0.40	0.40	
		合計	人	0.80	1.00	1.10	1.10	
状	対象(者)数							
	延利用(者)数(b)							
	単位コスト(a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
	受益者負担額	円						
	市民一人当たりのコスト	円	2,301.00	1,952.00	2,119.00	2,114.00	2,213.00	
	活動指標	集団予防接種延人数(二種混合・四種混合・BCG・日本脳炎)	目標	7,600	7,400	6,000	6,000	
			実績	7,233	7,094	5,693	4,775	
		達成率	%	95.17	95.86	94.88	79.58	-
		個別予防接種延人数(麻しん風しん第1期・第2期、日本脳炎2期、ヒブ感染症、小児の肺炎球菌)	目標	1,650	7,000	7,000	7,000	
			実績	1,290	4,666	6,165	4,943	
達成率		%	78.18	66.66	88.07	70.61	-	
個別予防接種延人数(インフルエンザ、定期高齢者肺炎球菌)	目標	7,700	7,700	9,500	9,500			
	実績	7,325	7,676	9,035	9,340			
達成率	%	95.13	99.69	95.11	98.32	-		
成果指標	0歳～18歳まで予防接種率	目標	%	100	100	100	100	
		実績	%	91	81	82	75	
	達成率	%	91.00	81.00	82.00	75.00		
	高齢者インフルエンザ予防接種率	目標	%	60	60	60	60	
実績		%	48	57	58	54		
達成率	%	80.00	95.00	96.67	90.00			
備考	平成24年度は、日本脳炎予防接種の対象が小学校3年生まで拡大されました。実態に合った職員数に見直しを行った。(H23) 平成26年10月から、水痘(個別接種)、高齢者肺炎球菌ワクチンが定期接種(個別接種)となった。							

事務事業名	各種予防接種事業費（各種予防接種事業）	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03020112
担当部署	健康福祉部 保健課	健康推進係	作成担当者名	白鳥晴美	連絡先	326	

期	目標	実績	課題
第1期	4月から開始される定期予防接種の通知出しを行う。（日本脳炎、MR、水痘、ヒブ・肺炎球菌、高齢者肺炎球菌）	通知数：高齢者肺炎球菌（3,400通）、日本脳炎（2,000通）、MR（2期：500通）・水痘・ヒブ・肺炎球菌（月ごと発送）を行った。	それぞれの予防接種の案内を通知したことで問い合わせが多くなる。
第2期	問い合わせにスムーズに回答できるようにしていく。 10月から実施開始になる高齢者インフルエンザ実施の準備を行っていく。	問い合わせについては統一した対応ができるように係会などで資料を作成し読み合せを行った。高齢者インフルエンザ予防接種単価改正について他自治会、医師会と丁寧な協議をして決定した。	問い合わせに対して適正に対応を行うこと。
第3期	問い合わせにスムーズに回答できるようにしていく。 10月から実施開始になる高齢者インフルエンザ実施の準備を行っていく。	高齢者インフルエンザの委託料変更については、医師会、6市町村で話し合いをし、医療機関への周知ができた。接種者への問い合わせにも、丁寧、適切な対応をすることができた。	高齢者肺炎球菌ワクチンの対象者は高齢者になるため予約をなくす人が多かった。 MR2期、日本脳炎2期の接種率が低い。
第4期	MR2期、日本脳炎2期未接種者へ接種勧奨通知する。	MR2期、日本脳炎2期、さらに日本脳炎1期未接種者へ接種勧奨通知を出すことができた。通知者からの問い合わせについても、丁寧、適切な対応をすることができた。	冬は体調を崩しやすいため、体調がよい季節に未接種者への接種勧奨ができるとうい。

事中評価																															
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 高齢者インフルエンザ予防接種にかかる委託単価が値上がりしたため、財政負担が増えることが見込まれるため、不足が生じないよう支出・予算状況の精査が必要。 新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 高齢化率の上昇にともなうコストの変動について精査が必要。	<table border="1"> <tr> <td>今</td> <td>成果</td> <td>拡充</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>後</td> <td>の</td> <td>現状維持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>の</td> <td>方向</td> <td>縮小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>方向</td> <td>性</td> <td>休廃止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>性</td> <td></td> <td></td> <td colspan="3">皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	今	成果	拡充	②	⑤	⑦	後	の	現状維持	③	⑥	⑨	の	方向	縮小	④	⑧	⑩	方向	性	休廃止	①			性			皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性		
今	成果	拡充	②	⑤	⑦																										
後	の	現状維持	③	⑥	⑨																										
の	方向	縮小	④	⑧	⑩																										
方向	性	休廃止	①																												
性			皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性																												

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
評価の観点					4					4					4	A
チェック																
課題	<p>予防接種の未受診者への受診勧奨は、体調をこわしにくい季節に実施し、受診率を高めていくことが必要。 乳幼児健診の際の予防接種の確認ができているがさらに徹底していく必要がある。 予防接種が多種で複雑なため、保護者に接種方法がわかりにくい。</p>															<p>記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要</p>
前年度総合評価判定	B															
前年度評価シート整理番号																

総合評価	細施策評価前					細施策評価後				
	住民にしっかり周知し、標準的な接種をしてくれる人が増えてきた。年齢が上がると、接種率が下がってしまうので接種勧奨に努めていきたい。	接種勧奨はしっかりできたが、勧奨する時期を考えていく必要がある。								
前年度改革・改善策の実施状況	実施済					前年度細施策評価における今後の方向性				

改革・改善の方向性（ACTION）	細施策評価前					細施策評価後				
	乳幼児健診や育児相談会など、個々と話ができる機会に積極的に接種勧奨し、接種率向上に努める。	乳幼児健診などで積極的に接種勧奨できた。保護者にも標準接種を理解してもらうために、問診票・わかりやすい案内など工夫する必要がある。								
今	成果	拡充	②	⑤	⑦	成果	拡充		⑤	⑦
後	の	現状維持	③	⑥	⑨	の	現状維持		⑥	⑨
方向	性	縮小	④	⑧	⑩	方向	性	縮小		⑧
性		休廃止	①			性		休廃止		
	皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性					皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性				

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	保健課長	両角直樹
---------	------------	---------	------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	各種予防接種事業費（高齢者肺炎球菌ワクチン接種助成事業）	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03020129
担当部署	健康福祉部 保健課	健康推進係	作成担当者名	白鳥 晴美	連絡先	326	

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり							
				施策	05	第5節 健康づくりの推進							
				細施策	05	疾病予防対策の推進							
				事務事業	02	感染症予防対策事業							
	予算事業名	各種予防接種事業費			会計コード	001	款	04	項	01	目	02	事業
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	高齢者肺炎球菌ワクチン接種の助成事業。												
現状と背景 （どうして）	高齢者の肺炎の約半数は、肺炎球菌が原因とされており、特に高齢者での重篤化が問題になっている。												
目的	対象	受益者 （誰のために）	高齢者肺炎球菌の予防接種を希望している方。または、医師が予防接種を必要と認めた方。										
	対象	対象 （直接働きかける）	75歳以上の接種希望者。74歳以下で在宅酸素療法患者・慢性呼吸器疾患患者・人工透析者・重症心不全患者で予防接種の必要があると医師が認めた方。										
的	意図	（どんな状態にしたいか）	接種希望・必要者全員がワクチン接種できる。また、ワクチン接種によって肺炎に対する免疫をつけ、重症化を予防する。										
	手段・方法 （どうやって）	接種方法は、かかりつけ医での個別接種。周知方法は、広報ちの・ホームページによる。助成は5年に1回。（5年に1回の接種で効果があるため）											
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値							
		対象者への周知	広報回数	回	掲載数	1							
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値							
		肺炎球菌ワクチン接種希望者・必要者へのワクチン接種	肺炎球菌ワクチン接種者数	人	ワクチン接種希望者・必要者に対しワクチン接種する。	200							

項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
実 施 状 況 （ D O ）	事業費等 (a)	円	572,000	1,121,000	928,000	370,000	340,000	
	財源内訳							
	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円	522,000	689,804	135,000			
	一般財源	円	50,000	431,196	793,000	370,000	340,000	
	職員数							
	正規職員	人	0.01	0.01	0.01	0.01		
	嘱託職員	人						
臨時職員	人							
合計	人	0.01	0.01	0.01	0.01			
	対象（者）数							
	延利用（者）数 (b)							
	単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—	
	受益者負担額	円						
	市民一人当たりのコスト	円	10.00	20.00	17.00	7.00	6.00	
O （ ）	活動指標	広報回数	目標	回	1	1	1	1
			実績	回	0	1	1	1
		達成率	%	0.00	100.00	100.00	100.00	
	—	—	目標	—	—	—	—	—
			実績	—	—	—	—	
		達成率	%	—	—	—	—	
	成果指標	肺炎球菌ワクチン接種者数	目標	人	200	200	200	300
			実績	人	189	336	306	121
		達成率	%	94.50	168.00	153.00	40.33	
	—	—	目標	—	—	—	—	
実績			—	—	—	—		
	達成率	%	—	—	—	—		
備考	・定期高齢者肺炎球菌がH26.10月から開始されている。							

事務事業名	各種予防接種事業費（高齢者肺炎球菌ワクチン接種助成事業）	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03020129
担当部署	健康福祉部 保健課	健康推進係	作成担当者名	白鳥 晴美	連絡先	326	

期	目 標	実 績	課 題
第1期	・病院に説明し、定期接種と間違えないようにしていただく。 ・定期予防接種が開始されると問い合わせが多くなるので対応していく。	・問い合わせにその都度対応できた。	・定期接種が開始されたがそれをまです接種を打ちたい方が増えている。状況みながらお勧めしていく。
第2期	・広報ものに掲載 ・引き続き問い合わせがあれば随時対応していく。	・広報に掲載し、その都度問い合わせに対応できた。	冬になるとインフルエンザの予防接種が始まり、肺炎球菌も一緒に受けたいという問い合わせが増える。
第3期	・インフルエンザが始まり、混乱なく実施できる。 ・問い合わせが増える可能性があるために対応していく。	・定期と助成が混乱してしまう医療機関もあったが、多くは混乱なく実施できた。 ・問い合わせには丁寧に対応できた。	・定期と助成の対象者をわかりやすくしていく。
第4期	・5年前に接種した人からの接種希望が出てくる可能性がある。	・実績121人。	・定期接種が始まり助成の人数が減ってきている。 定期は一生に1回であるが、助成は5年ごとできるので、間違いなく対応できるようにしていく。

始 末		今 後 の 方 向 性		今 後 の 方 向 性		今 後 の 方 向 性		今 後 の 方 向 性	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化		②	⑤	⑦					
		③	⑥	⑨					
		④	⑧	⑩					
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）		①							
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大	
		コ ス ト 投 入 の 方 向 性		コ ス ト 投 入 の 方 向 性		コ ス ト 投 入 の 方 向 性		コ ス ト 投 入 の 方 向 性	

評価年度	
------	--

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4			レ		3					4	B
課題	任意接種に対する助成事業。希望者・必要者全員に助成することはできている。ワクチン接種や助成事業を知らない方がいてはいけないので、しっかり周知していく必要がある。															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	B															
前年度評価シート整理番号																

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
		かかりつけ医にも協力してもらい、希望者・必要者全員に接種・助成ができた。					かかりつけ医にも協力してもらい、希望者・必要者全員に接種・助成ができた。			
前年度改革・改善策の実施状況						前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後										
	今後の方向性	成果の方向性	拡 充	②	⑤	レ	⑦	現 状 維 持	③	⑥	⑨	縮 小	④	⑧	⑩	休 廃 止
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大		
		コ ス ト 投 入 の 方 向 性		コ ス ト 投 入 の 方 向 性		コ ス ト 投 入 の 方 向 性		コ ス ト 投 入 の 方 向 性		コ ス ト 投 入 の 方 向 性		コ ス ト 投 入 の 方 向 性		コ ス ト 投 入 の 方 向 性		
改革・改善策	広報ちの・ホームページ等で周知している。肺炎の重症化予防につながるため、広報への掲載時期を検討し、各種検診のご案内にも載せたり、多くの方が接種できるようにする。					広報ちの・ホームページ等で周知している。肺炎の重症化予防につながるため、広報への掲載時期を検討し、各種検診のご案内にも載せたり、多くの方が接種できるようにする。										

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	保健課長	両角直樹
---------	------------	---------	------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	感染症予防対策事業	事業期間	平成 1 ~ 年度	整理番号	03020130
担当部署	健康福祉部 保健課	作成担当者名	森井潤	連絡先	326

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり		
			施策 05 第5節 健康づくりの推進			
			細施策 05 疾病予防対策の推進			
			事務事業 02 感染症予防対策事業			
予算事業名	感染症予防対策事業			会計コード 001 款 04 項 01 目 02 事業 02		
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	感染症の発生及び災害発生時の浸水家屋の防疫を行う					
現状と背景 （どうして）	感染症の発生や災害はいつ起こるか分からないが、発生した場合は感染の拡大を防がなくてはならない。					
目的	受益者 （誰のために）	市民				
	対象 （直接働きかける）	市民				
手段・方法 （どうやって）	意図 （どんな状態にしたいか）	感染症の発生時に感染の拡大を防ぎ、被害を最小に抑える。				
		感染症の発生または浸水家屋の確認ができれば、噴霧器による消毒液の散布を行う。				
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		必要物品の確認	確認	回	必要物品の確認	1
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度 事業計画（予算）
事業費等 (a)	円		1,827			8,000
財源内訳						
国庫支出金	円					
県支出金	円					
地方債	円					
その他特定財源	円					
一般財源	円		1,827			8,000
職員数	人		0.01	0.01	0.01	
正規職員	人					
嘱託職員	人					
臨時職員	人					
合計	人		0.01	0.01	0.01	
対象（者）数						
延利用（者）数 (b)						
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
受益者負担額	円					
市民一人当たりのコスト	円	-	0.00	-	-	0.00
活動指標	確認	目標	1	1	1	
		実績	1	1	1	
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	-
	-	目標	-	-	-	-
実績		-	-	-	-	
-	達成率	%	-	-	-	-
	目標	-	-	-	-	
成果指標	-	目標	-	-	-	
		実績	-	-	-	
	達成率	%	-	-	-	-
	-	目標	-	-	-	-
実績		-	-	-	-	
達成率	%	-	-	-	-	

※ 成果指標を設定することは性質上なじまない。

事務事業名	感染症予防対策事業	事業期間	平成	~	年度	整理番号	03020130
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	森井潤	連絡先	326

期	目標	実績	課題
第1期	いつでも出勤できる態勢を取る	なし	なし
第2期	いつでも出勤できる態勢を取る 必要物品の確認	なし	なし
第3期	いつでも出勤できる態勢を取る	なし	なし
第4期	いつでも出勤できる態勢を取る 必要物品の確認	なし	なし

事中評価																					
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	<table border="1"> <tr> <td>成果の方向性</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>今後の方向性</td> <td> <p>皆減縮小現状維持 コスト投入の方向性</p> </td> </tr> </table>	成果の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充	②	⑤	⑦	現状維持	③	⑥	⑨	縮小	④	⑧	⑩	休廃止	①			今後の方向性	<p>皆減縮小現状維持 コスト投入の方向性</p>
成果の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充	②	⑤	⑦	現状維持	③	⑥	⑨	縮小	④	⑧	⑩	休廃止	①						
拡充	②	⑤	⑦																		
現状維持	③	⑥	⑨																		
縮小	④	⑧	⑩																		
休廃止	①																				
今後の方向性	<p>皆減縮小現状維持 コスト投入の方向性</p>																				
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）																					

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
評価の観点					4					4					4	A
チェック																

課題	感染拡大防止に対する知識の習得。	記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要
	前年度総合評価判定	
	前年度評価シート整理番号	

総合評価	細施策評価前					細施策評価後				
	感染拡大防止に対する知識の習得。						感染拡大防止に対する知識の習得。			
前年度改革・改善策の実施状況						前年度細施策評価における今後の方向性				

改革・改善の方向性（ACTION）	細施策評価前					細施策評価後																																				
	感染拡大防止に対する知識の習得。	<table border="1"> <tr> <td>成果の方向性</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>今後の方向性</td> <td> <p>皆減縮小現状維持 コスト投入の方向性</p> </td> </tr> </table>	成果の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充	②	⑤	⑦	現状維持	③	⑥	⑨	縮小	④	⑧	⑩	休廃止	①			今後の方向性	<p>皆減縮小現状維持 コスト投入の方向性</p>	<table border="1"> <tr> <td>成果の方向性</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td></td> <td></td> <td>レ</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>今後の方向性</td> <td> <p>皆減縮小現状維持 コスト投入の方向性</p> </td> </tr> </table>	成果の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td></td> <td></td> <td>レ</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充				現状維持			レ	縮小				休廃止				今後の方向性
成果の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充	②	⑤	⑦	現状維持	③	⑥	⑨	縮小	④	⑧	⑩	休廃止	①																											
拡充	②	⑤	⑦																																							
現状維持	③	⑥	⑨																																							
縮小	④	⑧	⑩																																							
休廃止	①																																									
今後の方向性	<p>皆減縮小現状維持 コスト投入の方向性</p>																																									
成果の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td></td> <td></td> <td>レ</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充				現状維持			レ	縮小				休廃止																												
拡充																																										
現状維持			レ																																							
縮小																																										
休廃止																																										
今後の方向性	<p>皆減縮小現状維持 コスト投入の方向性</p>																																									
感染拡大防止に対する知識の習得を行う。						感染拡大防止に対する知識の習得を行う。																																				

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	保健課長	両角直樹
---------	------------	---------	------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	健康増進事業費（各種がん検診事業）	事業期間	平成 〇〇 ~ 〇〇 年度	整理番号	03020113	
担当部署	健康福祉部 保健課	健康推進係	作成担当者名	中谷 恵美	連絡先	326

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり
				施策	05	第5節 健康づくりの推進
				細施策	05	疾病予防対策の推進
				事務事業	03	各種検診事業
	予算事業名	各種がん検診事業費			会計コード	001 款 04 項 01 目 03 事業 03
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	<ul style="list-style-type: none"> 胃がん検診（集団・病院）：胃バリウム検査 大腸がん検診（集団・病院）：便潜血反応検査 肺がん検診（集団）：ヘリカルCT検査 子宮頸がん検診（病院）：細胞診 乳がん検診マンモグラフィー検査、乳房視触診検査（集団・病院）： 				
	現状と背景 （どうして）	昭和60年より死亡原因の1位は悪性新生物で変わらず推移。早期発見、治療のため、疾病への意識付けを、検診受診に結びつけることが必要。検診受診率低迷している。生活習慣病発症または癌の罹患が若年化（特に婦人）してきているにも関わらず受診率が低い。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	市民			
		対象 （直接働きかける）	市民			
		意図	早期発見、早期治療をすすめる。			
	手段・方法 （どうやって）	<ul style="list-style-type: none"> 各世帯に検診のご案内を配布。広報ちの、回覧板、ホームページ等で周知する。 申し込み者に案内通知を送る。検診期間中は随時検診のPRを行う。 				
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		検診申込者数	申し込み者数		申し込み者数÷推計対象者	50
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		検診受診率	受診率		受診者数÷推計対象者	40

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円		29,768,648	29,691,097	32,540,028	36,287,000	
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円		1,727,900	1,480,800	1,638,300		
一般財源	円		28,040,748	28,210,297	30,901,728	36,287,000	
職員数	人		0.70	0.70	0.70		
正規職員	人						
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合 計	人		0.70	0.70	0.70		
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	-	532.00	530.00	581.00	648.00	
D （ ）	活動指標	申し込み者数	目標	-	30	50	50
			実績	-	44	39	45
	達成率	%	-	147.33	78.00	90.20	
	-	-	目標	-	-	-	-
実績			-	-	-	-	
達成率	%	-	-	-	-		
O （ ）	成果指標	受診率	目標	-	30	40	40
			実績	-	33	36	41
	達成率	%	-	111.00	90.00	101.50	
	-	-	目標	-	-	-	-
実績			-	-	-	-	
達成率	%	-	-	-	-		
備考							

事務事業名	健康増進事業費（各種がん検診事業）	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03020113
担当部署	健康福祉部 保健課	健康推進係	作成担当者名	中谷 恵美	連絡先	326	

期	目標	実績	課題
第1期	・対象者に案内通知を送る。	・子宮頸がん、大腸がん検診は発送スケジュールに沿って発送した。 ・その他は随時、申し込みがあった時に発送する。	・検診結果業務が始まる検診もあるので、できるだけ早く受診者に結果が届くようにしていく。
第2期	・対象者に案内通知を送る。 ・検診結果を早めに正確に送付する。	案内通知と健診結果を正確に送ることができた。	乳房エコー検診が予定人数に達していない。
第3期	乳房エコー検診をテレビ・ラジオでPRし、保育園の保護者への周知を行う。	検診の実施。 12月現在 受診者数 胃731 大腸1738 肺458 乳エコー364 マンモ514 マンモ(施設)307 子宮1595 結果通知をする。	受診者への結果通知をなるべく速やかに発送する。
第4期	2月まで子宮がん検診は実施するため、随時希望者への案内通知、結果通知を行う。	検診の実施。 3月末現在 受診者数 胃731 大腸1927 肺458 乳エコー364 マンモ514 マンモ(施設)307 子宮2072 結果通知をする。	受診者への結果通知をなるべく速やかに発送する。

事中評価																						
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 予定人数に達していない検診があり、周知方法についてはさらに工夫が必要。	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">今後の方向性</td> <td>成果の方向性</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> <td></td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>③</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	今後の方向性	成果の方向性	②	⑤	⑦	拡大		⑥	⑨	現状維持	③			縮小	④	⑧	⑩	休廃止	①		
今後の方向性	成果の方向性		②	⑤	⑦																	
	拡大			⑥	⑨																	
	現状維持		③																			
	縮小	④	⑧	⑩																		
休廃止	①																					
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） ・広報だけでなく、回覧板等あらゆる手段を利用し、随時がん検診の周知をしていく必要がある。	① 皆減縮小 現状維持 拡大 コスト投入の方向性																					

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
評価の観点					4					3					4	B
チェック																
課題	・がん検診の種類によって対象年齢が違う。どの検診も年齢が高くなるにほど受診者は多くなっている。がん対策の目的は74歳以下（今後は69歳以下となる予定）のがん死亡率低下である。そのためできるだけ若い年代から検診を受けてもらう必要がある。															
CHIECK	前年度総合評価判定					前年度総合評価判定					B					
CHIECK	前年度評価シート整理番号					前年度評価シート整理番号										

総合評価	細施策評価前					細施策評価後				
	・検診期間を延ばしたり増やした検診は受診者が若干増えた。減った検診が増えるように検討していく。	・検診期間を延ばしたり増やした検診は受診者が若干増えた。減った検診が増えるように検討していく。								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

改革・改善の方向性(ACTION)	細施策評価前					細施策評価後				
	・色々な場面で検診のPRなどしていき受診者を増やす。	・色々な場面で検診のPRなどしていき受診者を増やす。								
・胃がん検診の実施方法について、バリウム以外の検査方法についても、市内の状況を情報収集していく。	・色々な場面で検診のPRなどしていき受診者を増やす。									

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	保健課長	両角直樹
---------	------------	---------	------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	健康増進事業費（健康増進総務事業）			事業期間	平成 25 ~ 年度	整理番号	03020135
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	小 穴 範 子	連絡先	326

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり								
				施策	05	第5節 健康づくりの推進								
				細施策	05	疾病予防対策の推進								
				事務事業	03	各種検診事業								
	予算事業名	健康増進総務事業			会計コード	001	款	04	項	01	目	03	事業	01
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	市で実施している健診・検診受診者や希望者に健康手帳を配布し、健診結果をファイリングしたり、血圧等の自身の変化を記録することにより、生活習慣病予防や健康づくりに役立てていただきます。												
	現状と背景 （どうして）	生活習慣病の増加およびそれに伴う医療費の増加が問題となっています。生活習慣病は、繰り返される生活習慣により発症し、短期で発症するものではありません。生活習慣病を予防するには、健診を受ける事、受けた結果を活用し予防に役立てる事が大切です。健康手帳等に健診結果をつづり、経過を確認していくことで、生活習慣病等の予防につながります。												
	目的 的 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	対象 （ 誰 の た め に ）	市民											
		対象 （ 直 接 働 き か け る ）	同上											
	意 図 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	健診結果を経年的に見ていくことは、健康づくり・疾病の早期発見にとって重要なことです。このような人が増える事で、健康に関心を持つ人が増え、健診受診者や健康に気をつける人が増加すると考えます。												
	手段・方法 （ ど う や っ て ）	市の健診・がん検診・歯科検診等の各種検診受診者や希望者に、健診受診時や保健福祉サービスセンターおよび健康管理センターで健康手帳を配布し説明します。												
N （ ）	活動 指 標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など			最終目標値						
		健康手帳の配布機会	配布事業数	回	手帳を配布した事業の数			16						
	成果 指 標	成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など			最終目標値						
		健康手帳の配布された割合	配布割合	%	手帳を配布した人の40歳から74歳人口に占める割合（H23からの累計）			50						

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円		1,478,554	977,911	680,316	909,000	
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円		710,000	126,000	89,000	201,000	
地方債	円						
その他特定財源	円						
一般財源	円		768,554	851,911	591,316	708,000	
職員数	人		0.10	0.10	0.10		
正規職員	人						
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合 計	人		0.10	0.10	0.10		
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	—	26.00	17.00	12.00	16.00	
D （ ）	活動 指 標	配布事業数	目標	回	16	16	16
			実績	回	16	16	16
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	—	
	—	目標	—	—	—	—	
—	実績	—	—	—	—		
—	達成率	—	—	—	—		
O （ ）	成果 指 標	配布割合	目標	%	50	50	50
			実績	%	77	82	86
	達成率	%	153.00	164.00	172.00	100.00	
	—	目標	—	—	—	—	
—	実績	—	—	—	—		
—	達成率	—	—	—	—		
備考							

事務事業名	健康増進事業費（健康増進総務事業）	事業期間	平成 25 ~	年度	整理番号	03020135
担当部署	健康福祉部 保健課	健康推進係	作成担当者名	小 穴 範 子	連絡先	326

期	目 標	実 績	課 題
第1期	個別健診実施医療機関に健康手帳を配布する。	医療機関に健康手帳を配布した。	ファイル式の健康手帳の配布率が目標に達しているため、ポケットサイズの健康手帳への変更を考える。
第2期	健康手帳の変更について検討する。	担当者の話し合いをもち、健康手帳を変更することにする。検診会議で、医師へお知らせした。	年度途中での変更だったため、すべての医療機関への周知ができていない。
第3期	健康手帳の変更について周知する。	ファイル式のものなくなった医療機関には、新しいものを渡しながらか説明した。	年度途中での変更だったため、すべての医療機関への周知ができていない。
第4期	健康手帳の変更について周知する。	集団健診で健康手帳を配布した。	来年度の検診説明の際、医療機関への周知を行う。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 課 題	視 点					妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定						
チェック					4					4					4	A					
課題	最終目標は、自分の健康診断やがん検診の結果を蓄積することで、生活習慣病等の発症予防や重症化予防に役立てることができる。健康手帳の活用に合わせ、結果の見方や生活習慣病の予防のために、何を気をつけたらいいのかわかる。																				
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要																				
前年度総合評価判定	A																				
前年度評価シート整理番号																					

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	・健康手帳については、年間を通じて健診実施時に配布・説明ができた。ファイル式の大きなサイズからコンパクトなものに変えた。	・健康手帳については、年間を通じて健診実施時に配布・説明ができた。								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	今 後 の 方 向 性	成 果 の 方 向 性	拡 充	②	⑤	⑦	成 果 の 方 向 性	拡 充		
	現 状 維 持	③	⑥	⑨	現 状 維 持			④		
	縮 小	④	⑧	⑩	縮 小					
	休 廃 止	①			休 廃 止					
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				
改 革 ・ 改 善 策	最終目標は、自分の健康診断やがん検診の結果を蓄積することで、生活習慣病等の発症予防や重症化予防に役立てることができる。健康手帳の活用に合わせ、結果の見方や生活習慣病の予防のために、何を気をつけたらいいのかわかること。そのために、健診や手帳配布時に活用の仕方をPRしていく。					引き続き健康手帳を配布し、健康管理に役立てていただくようにする。				

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	保健課長	両 角 直 樹
---------	------------	---------	------	---------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	健康増進事業費（40歳未満健診事業）	事業期間	平成 20 ~ 年度	整理番号	03020139
担当部署	健康福祉部 保健課 健康推進係	作成担当者名	白鳥 晴美	連絡先	326

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり		
			施策 05 第5節 健康づくりの推進			
			細施策 05 疾病予防対策の推進			
			事務事業 03 各種検診事業			
	予算事業名	40歳未満健診事業		会計コード 001 款 04 項 01 目 03 事業 04		
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	40歳未満健診：40歳未満の若年の方、および生活保護世帯の方に行う健診（血液検査・尿検査・内科診察等）				
	現状と背景 （どうして）	40歳～74歳の方には、特定健診と呼ばれるメタボリックシンドロームに着目された健康診査・保健指導が実施されている。40歳未満の方についても、早期から健康診査を実施し生活習慣病予防につなげる。生活保護世帯の方は、医療保険に加入していないため、特定健診ではなく、市が行う40歳未満健診で受診していただく。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （直接働きかける）	①18歳～39歳までの方 ②生活保護世帯の方 検診（健診）受診率の向上を図ることで、疾病予防・早期治療を進める。			
	手段・方法 （どうやって）	・40歳未満健診（血液検査・尿検査・内科診察等）を実施する。				
N （ ）	活動指標 の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		検診（健診）受診への啓発	広報掲載	回	広報掲載回数	1
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		40歳未満健診受診者数の増加	40歳未満健診受診数	人	受診者数	450

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）
事業費等 (a)	円		2,384,727	2,063,062	2,279,812	3,029,000
財源内訳						
国庫支出金	円				501,000	
県支出金	円					
地方債	円					
その他特定財源	円					
一般財源	円		2,384,727	2,063,062	1,778,812	3,029,000
職員数	人		0.30	0.30	0.30	
正規職員	人					
嘱託職員	人					
臨時職員	人					
合計	人		0.30	0.30	0.30	
対象（者）数						
延利用（者）数 (b)						
単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—
受益者負担額	円					
市民一人当たりのコスト	円	—	43.00	37.00	41.00	55.00
D （ ）	活動指標	広報掲載	目標 1	実績 1	達成率 100.00	
		—	目標 —	実績 —	達成率 —	
	—	目標 —	実績 —	達成率 —		
		目標 —	実績 —	達成率 —		
O （ ）	成果指標	40歳未満健診受診数	目標 450	実績 371	達成率 82.44	
		—	目標 —	実績 —	達成率 —	
	—	目標 450	実績 304	達成率 67.56		
		目標 450	実績 339	達成率 75.33		
備考	H25からシート作成。					

事務事業名	健康増進事業費（40歳未満健診事業）	事業期間	平成 20 ~	年度	整理番号	03020139
担当部署	健康福祉部 保健課	健康推進係	作成担当者名	白鳥 晴美	連絡先	326

期	目 標	実 績	課 題
第1期	40歳未満健診の啓発を行う。	乳幼児健診等の保護者向けに啓発ができた。	今後も啓発を行っていく。保健指導を充実させていく。
第2期	健診の啓発を行い、7月に健診を行う。受診勧奨値の人には、保健指導を行う。	乳幼児健診等の保護者向けに啓発ができた。健診を実施し、保健指導まで実施することができた。	夏の未受診者がいるため秋に受診してもらえよう啓発を行う。
第3期	7月未受診者、新規受診者への啓発を行い、10月に健診を実施。。受診勧奨値の人には、保健指導を行う。	未受診者への通知での受診勧奨、乳幼児健診、予防接種などでの保護者への啓発ができた。	受診勧奨値の人に保健指導を実施していく。
第4期	受診勧奨値の人への保健指導と、来年度へ向けての健診の啓発。	受診勧奨値の人をリストにして、地区担当が保健指導を実施することができた。	若者のため、日中不在で保健指導ができないケースがある。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 保健指導を実施したが、本人との連絡がとりにくい状況があった。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 性
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 健診当日に、保健指導があることを周知し、保健指導の実施率をあげ、個人のデータ改善につなげる。	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ① 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					3					4	B
課題	乳幼児健診の保護者向けに健診の啓発を行い、新規者および継続受診者を増やしていく。															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定																
前年度評価シート整理番号																
総合評価	細 施 策 評 価 前 引き続き、広報や乳幼児健診等で啓発をしていく。										細 施 策 評 価 後 引き続き、広報や乳幼児健診等で啓発をしていく。					
改革・改善の方向性	前年度改革・改善策の実施状況										前年度細施策評価における今後の方向性					

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	成 果 の 方 向 性	拡 充	現 状 維 持	縮 小	休 廃 止	成 果 の 方 向 性	拡 充	現 状 維 持	縮 小	休 廃 止
今 後 の 方 向 性										
改革・改善策	40歳未満健診の申込が始まる春に集中的に申込を受付ていく。受診勧奨値、メタボリック症候群の人への保健指導を実施していく。					40歳未満健診の申込が始まる春に集中的に申込を受付ていく。受診勧奨値、メタボリック症候群の人への保健指導を実施していく。				

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	保健課長	両角直樹
---------	------------	---------	------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	健康増進事業（結核胸部レントゲン検診事業）	事業期間	平成 27 ~ 28 年度	整理番号	03020140	
担当部署	健康福祉部 保健課	健康推進係	作成担当者名	中谷 恵美	連絡先	326

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり
				施策	05	第5節 健康づくりの推進
				細施策	05	疾病予防対策の推進
				事務事業	03	各種検診事業
	予算事業名				会計コード	001 款 04 項 01 目 02 事業 03
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	65歳以上の人に結核胸部レントゲン検診を行う。（感染症法に基づき実施する検診）				
	現状と背景 （どうして）	感染症法により結核定期検診が義務付けられている。（結核の感染拡大の予防のため）				
	目的 対象	受益者 （誰のために）	市民			
		対象 （直接働きかける）	市民			
	目的 意図 （どんな状態にしたいか）	65歳以上の人に結核胸部レントゲン検診を受けてもらい早期発見、早期治療につなげ感染を広げない。				
	手段・方法 （どうやって）	<ul style="list-style-type: none"> 対象者全員に個別通知。広報ちの、ホームページ、区内放送等で周知する。 市内各公民館を検診車で周りレントゲン撮影を行う。 要精密検査者は早期に受診していただく。 				
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		活動指標	広報ちのに掲載	掲載数	回	
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		受診率	受診率	%	受診者÷対象者	35

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）
事業費等 (a)	円		5,292,956	6,162,347	6,489,484	7,604,000
財源内訳						
国庫支出金	円					
県支出金	円					
地方債	円					
その他特定財源	円					
一般財源	円		5,292,956	6,162,347	6,489,484	7,604,000
職員数	人		0.20	0.20	0.20	
正規職員	人					
嘱託職員	人					
臨時職員	人					
合計	人		0.20	0.20	0.20	
対象（者）数						
延利用（者）数 (b)						
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
受益者負担額	円					
市民一人当たりのコスト	円	-	95.00	110.00	117.00	137.00
D （ ）	活動指標	掲載数	目標	実績	達成率	
			回	1	1	100.00
	-	目標	実績	達成率		
			-	-	-	
-	目標	実績	達成率			
		-	-	-		
O （ ）	成果指標	受診率	目標	実績	達成率	
			%	35	29	82.86
	-	目標	実績	達成率		
			-	-	-	

備考 H25からシート作成。H24各種検診事業決算額：43,831,755円

事務事業名	健康増進事業（結核胸部レントゲン検診事業）	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03020140
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	中谷 恵美	連絡先	326

期	目標	実績	課題
第1期	・対象者に通知発送を行う。	・対象者14,912人に通知を行った。	・各地区でレントゲン撮影開始している。地区ごとに受診者のばらつきがある。
第2期	・受診対象者に検診結果発送を行う。	・結果通知を行った。（受診者4978人に結果通知）	・7月で事業終了。
第3期			
第4期			

事中評価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 ・対象者全員に案内通知を行い、受診者は40%程度である。 ・検診事務担当者の確保が困難。 ・トイレや熱中症の問題から、来年度から会場となる公民館の鍵を全会場開けてもらうよう依頼していきたい。 新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） ・会場使用についての依頼を区長宛に行っていく。	今後の方向性 成果の方向性 拡充 現状維持 縮小 休廃止 ① 皆減縮小 現状維持 拡大 コスト投入の方向性
	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
評価の観点					4					3					4	B
チェック																
課題	・肺がんCT検診と年齢が重なる。（65～74歳）胸部レントゲンを受診し肺がんCT検診も受診している方もいる。重ならないようにしていく。また他の市町村では胸部レントゲン検査と肺がん検診を一緒に行っているところもあるため今後検討していく。 ・各公民館の日程で受けられず、最終日付近に受診者が多くなる。															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	B															
前年度評価シート整理番号																

総合評価	細施策評価前					細施策評価後				
		・対象者は、65歳以上の高齢者なので公民館単位での検診は継続していく。					・対象者は、65歳以上の高齢者なので公民館単位での検診は継続していく。			
前年度改革・改善策の実施状況						前年度細施策評価における今後の方向性				

改革・改善の方向性（ACTION）	細施策評価前					細施策評価後					
	今後の方向性	成果の方向性 拡充 現状維持 縮小 休廃止 ① 皆減縮小 現状維持 拡大 コスト投入の方向性	②	⑤	⑦	レ	成果の方向性 拡充 現状維持 縮小 休廃止 皆減縮小 現状維持 拡大 コスト投入の方向性				
改革・改善策	・受診者が最終日付近に多くなるので健康管理センターで行う日程を増やす。					・会場について、受診者が待避場所としてより安全に利用できるように各会場の区長宛に依頼した。					

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	保健課長	両角直樹
---------	------------	---------	------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	健康増進事業費（BC型肝炎検査事業）	事業期間	平成 〇〇 ~ 〇〇 年度	整理番号	03020141
担当部署	健康福祉部 保健課 健康推進係	作成担当者名	中谷 恵美	連絡先	326

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり 施策 05 第5節 健康づくりの推進 細施策 05 疾病予防対策の推進 事務事業 03 各種検診事業		
	予算事業名	BC型肝炎検査事業		会計コード 001 款 04 項 01 目 03 事業 06		
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	・40歳～85歳の5歳刻みの年齢の方を対象にB型、C型肝炎の早期発見のための検査を行う。				
	現状と背景 （どうして）	現在肝炎ウイルスに感染し、感染に気がつかないままに進行し肝硬変、肝がんに移行する患者がいるため。				
目的	対象	受益者 （誰のために）	市民			
	対象	対象 （直接働きかける）	市民			
的	意図 （どんな状態にしたいか）	検査を受け早期発見、治療につなげる。				
	手段・方法 （どうやって）	・B型、C型肝炎ウイルス検査を指定医療機関で実施する。				
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		対象者に案内通知を出す	受診者への通知率	%	通知数÷受診対象者	100
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		B型C型肝炎検査受診者が増える	受診率	%	受診者数÷対象者数	25

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円		4,627,280	4,712,963	4,137,106	5,289,000	
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円		3,252,000	3,783,000	2,793,320	3,814,000	
地方債	円						
その他特定財源	円						
一般財源	円		1,375,280	929,963	1,343,786	1,475,000	
職員数	人		0.30	0.30	0.30	0.30	
正規職員	人						
嘱託職員	人						
臨時職員	人					0.30	
合 計	人		0.30	0.30	0.30	0.60	
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	—	83.00	84.00	75.00	146.00	
活動指標	受診者への通知率	目標	%	100	100	100	
		実績	%	100	100	100	
	達成率	%	—	100.00	100.00	100.00	—
	—	目標	—				
—	実績	—					
	達成率	%	—	—	—	—	
成果指標	受診率	目標	%	20	25	25	25
		実績	%	21	21	18	25
	達成率	%	—	103.00	84.00	71.20	100.00
	—	目標	—				
—	実績	—					
	達成率	%	—	—	—	—	
備考							

事務事業名	健康増進事業費（BC型肝炎検査事業）	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03020141
担当部署	健康福祉部 保健課	健康推進係	作成担当者名	中谷 恵美	連絡先	326	

期	目標	実績	課題
第1期	・対象者に通知する。	誕生日月ごとの送付スケジュールに沿って発送した。(約6400通)	・7月末に残りの対象者に発送する。 ・受診者への結果の発送も始まっているので早期に正確に送付できるようにする。
第2期	・対象者に通知する。 ・受診した結果を正確に早く対象者に届くようにする。	・通知の発送スケジュールに沿って送付を行った。 ・受診者数8月末現在583名程度。	・月2回結果の発送を行っている。受診者に早く結果が送付できるように業務を行っていく必要がある。
第3期	・受診結果を正確に早く対象者に届くようにする。	・12月末まで事業実施中。月2回収し、結果通知を発送。 ・12月18日現在の受診者数 1083人	・月2回結果発送を行っている。結果の提出が遅い医療機関があり、結果通知を発送するまでに受診日から2か月近くかかってしまう場合があった。
第4期	・12月末までに検診を実施しているため、最終の結果を回収し通知を出す。	・12月末までの受診者数 1193人	・概ね受診日から1か月以内に結果を郵送できた。受診者からの問い合わせ等は特になかった。 ・前年度に比べ、受診者数が減った。

事中評価																	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 ・事業実施中のため問題点等は現在なし。	今後の方向性																
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） ・5歳刻みの対象年齢への通知は本年度で終わるので、来年度は40歳になる市民と、これまで受けたことのない人希望者を対象として予算要求していく。	方向性																
	<table border="1"> <tr> <td>成果の方向性</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性</p>	成果の方向性	②	⑤	⑦	現状維持	③	⑥	⑨	縮小	④	⑧	⑩	休廃止	①		
成果の方向性	②	⑤	⑦														
現状維持	③	⑥	⑨														
縮小	④	⑧	⑩														
休廃止	①																

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
評価の観点					4					3					4	B
チェック																

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者全員に通知した。前年度に比べ受診者は減少した。 ・肝炎治療の新薬が保険適応され、肝炎を早期発見することにより身近で治療することが可能になってきた。今後も受診者が増えるように個別勧奨通知を継続し、必要性を周知していきたい。 	記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要
	前年度総合評価判定	B
	前年度評価シート整理番号	

総合評価	細施策評価前					細施策評価後				
	<ul style="list-style-type: none"> ・検診期間を延長したり他の検診の案内通知等に肝炎検査の案内を載せることで受診者が増えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・検診期間は前年度と同様で実施した。5年経過し、40歳以上の対象者には一通り通知し、来年度からは新たに40歳に達する人と希望者への通知を予定していたが、県の補助金事業は廃止されないため次年度以降も今まで通り5歳刻みの対象者への通知を継続することとなった。 								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

改革・改善の方向性（ACTION）	細施策評価前					細施策評価後																												
	<ul style="list-style-type: none"> ・他の検診とセットで受けられるようにしたり、色々な場面で検診の必要性をPRしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の検診とセットで受けられるようにしたり、色々な場面で検診の必要性をPRしていく。 																																
今後の方向性	<table border="1"> <tr> <td>成果の方向性</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性</p>	成果の方向性	②	⑤	⑦	現状維持	③	⑥	⑨	縮小	④	⑧	⑩	休廃止	①			<table border="1"> <tr> <td>成果の方向性</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td></td> <td></td> <td>レ</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性</p>	成果の方向性				現状維持			レ	縮小				休廃止			
成果の方向性	②	⑤	⑦																															
現状維持	③	⑥	⑨																															
縮小	④	⑧	⑩																															
休廃止	①																																	
成果の方向性																																		
現状維持			レ																															
縮小																																		
休廃止																																		

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	保健課長	両角直樹
---------	------------	---------	------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	健康増進事業費（緑内障検査事業）	事業期間	平成 〇〇 ~ 〇〇 年度	整理番号	03020142
担当部署	健康福祉部 保健課 健康推進係	作成担当者名	中谷 恵美	連絡先	326

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり
				施策	05	第5節 健康づくりの推進
				細施策	05	疾病予防対策の推進
				事務事業	03	各種検診事業
	予算事業名	緑内障検査事業			会計コード	001 款 04 項 01 目 03 事業 07
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	40歳～75歳の5歳刻みの年齢の方を対象に緑内障の早期発見のための検査を行う。				
	現状と背景 （どうして）	日本人の40歳以上では20人に1人が緑内障になっていると報告されており、早期発見・早期治療の重要性が言われている。緑内障は自覚症状が無いために、気が付いた時には視野の欠損が進行している人が見られ、治療が遅れて多くの視野を失ってしまう場合もあるため。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	市民			
		対象 （直接働きかける）	市民			
	意図	早期発見、早期治療につなげる。				
	手段・方法 （どうやって）	40歳～75歳の5歳刻みの年齢の方を対象に緑内障の早期発見のために検査を行う。（市内指定医療機関）				
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		活動指標	申し込み者が増えるよう周知する	広報掲載	回	
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		緑内障検診受診率	受診率	%	受診者数÷検診対象者数	5

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）
事業費等 (a)	円		413,545	419,494	673,026	796,000
財源内訳						
国庫支出金	円					
県支出金	円					
地方債	円					
その他特定財源	円					
一般財源	円		413,545	419,494	673,026	796,000
職員数	人		0.10	0.10	0.10	
正規職員	人					
嘱託職員	人					
臨時職員	人					
合計	人		0.10	0.10	0.10	
対象（者）数						
延利用（者）数 (b)						
単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—
受益者負担額	円					
市民一人当たりのコスト	円	—	7.00	8.00	12.00	14.00
D （ ）	活動指標	広報掲載	目標	1	1	1
		実績	1	1	1	
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	
	—	目標	—	—	—	
実績	—	—	—	—		
達成率	%	—	—	—		
O （ ）	成果指標	受診率	目標	5	5	5
		実績	3	3	5	
	達成率	%	66.00	50.00	100.00	
	—	目標	—	—	—	
実績	—	—	—	—		
達成率	%	—	—	—		
備考						

事務事業名	健康増進事業費（緑内障検査事業）	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03020142
担当部署	健康福祉部 保健課	健康推進係	作成担当者名	中谷 恵美	連絡先	326	

期	目標	実績	課題
第1期	・案内通知等の作成をする。	・作成を行い、委託医療機関に確認依頼を行う。 ・特定健診や他の健診の通知にも緑内障検査の案内を入れて郵送した。	・第2期は申込者への通知を行う。
第2期	・申込者に案内の通知を郵送する。 ・広報に掲載する。	・申込者に通知を行った。277名。 ・広報に検査について掲載した。 ・特定健診や他の健診の通知にも緑内障検査の案内を入れて郵送した。	・検査期間中も検査希望者から申込がある。
第3期	・10月末まで検査実施期間中なので申込希望者には随時案内を郵送する。	・10月末まで 申込者数345人。受診者数320人。	・他の検査の通知に緑内障検査の案内を入れたことにより受診者数が増えた。次年度PR方法を工夫したい。 ・第3期で事業終了。
第4期	・今年度の検査のまとめ及び、次年度の準備をする。	・受診データの統計処理。 ・次年度検査申込書の準備。	・次年度もPR方法を工夫していきたい。

事中評価																						
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 ・現在検査対象者を40歳～75歳までとしている。(5歳刻み)現在の対象者で今後も行うか検討していく。	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">今後の方向性</td> <td>成果の方向性</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>拡充</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	今後の方向性	成果の方向性	②	⑤	⑦	拡充	③	⑥	⑨	現状維持	④	⑧	⑩	縮小	①			休廃止			
今後の方向性	成果の方向性		②	⑤	⑦																	
	拡充		③	⑥	⑨																	
	現状維持		④	⑧	⑩																	
	縮小	①																				
休廃止																						
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） ・検査対象者の変更があれば変えるが、なければ継続する。	<table border="1"> <tr> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>現状維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>コスト投入</td> <td>の</td> <td>方向性</td> <td></td> </tr> </table>	皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入	の	方向性														
皆減	縮小	現状維持	拡大																			
コスト投入	の	方向性																				

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
評価の観点					4					3					4	B
チェック																
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・緑内障検査は市単独で行っている事業である。市内眼科医と検討し対象者、検査方法は決めている。今後の対象者、方法等も検討していく。 ・受診者は少ないが、医療機関数も少ないため現在の期間、人数が精いっぱいである。 															記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要
前年度総合評価判定	B															
前年度評価シート整理番号																

総合評価	細施策評価前					細施策評価後				
	<ul style="list-style-type: none"> ・緑内障検査は市単独で行っている事業である。市内眼科医と検討し対象者、検査方法は決めている。今後の対象者、方法等も検討していく。 						<ul style="list-style-type: none"> ・緑内障検査は市単独で行っている事業である。市内眼科医と検討し対象者、検査方法は決めている。今後の対象者、方法等も検討していく。 			
前年度改革・改善策の実施状況						前年度細施策評価における今後の方向性				

改革・改善の方向性（ACTION）	細施策評価前					細施策評価後				
	今後の方向性	成果の方向性	②	⑤	⑦					
拡充		③	⑥	⑨						
現状維持		④	⑧	⑩						
縮小		①								
休廃止										
	皆減 縮小 現状維持 拡大 コスト投入の方向性					皆減 縮小 現状維持 拡大 コスト投入の方向性				
改革・改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・緑内障は生活習慣病とも関係があるため生活習慣病の予防とともに若い世代に受診していただけるように働きかけていく。 ・他の検査の通知にPR文書を同封等して検査周知をしていきたい。 									

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	保健課長	両角直樹
---------	------------	---------	------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	一般（情報提供事業）	事業期間	平成 23 ~ 年度	整理番号	03020114
担当部署	健康福祉部 保健課	作成担当者名	小 穴 範 子	連絡先	326

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり		
			施策 05 第5節 健康づくりの推進			
			細施策 05 疾病予防対策の推進			
			事務事業 04 情報提供事業			
予算事業名	一般事業費			会計コード 001 款 04 項 01 目 01 事業 02		
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	保健事業の的確な情報の伝達・啓発のため、健康カレンダー等を発行し広く市民の検診（健診）への呼びかけを行い疾病予防対策を行っている。					
現状と背景 （どうして）	普段の生活のなかでは、健康に対する認識が薄く食生活及び生活習慣の乱れから疾病予防対策が必要であると考えています。このことから、市民に対しての健康意識の高揚を図る啓発を行う。					
目的 的 （どんな状態にしたいか）	受益者 （誰のために）	市民				
	対象 （直接働きかける）	同上				
手段・方法 （どうやって）	意 図	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が将来何らかの病気にかかるかもしれないという事を認識し、定期的に健診を受診することをライフスタイルに組み込むことにより、自分自身の健康管理ができること。 ・必要なときに、情報を的確に知ることができる。 				
	手 段 ・ 方 法	毎年3月に健康カレンダーの発行（各種検診・健診申し込み書添付）広報・ホームページ・びーなチャンネルなどを通じて健康に関する啓発を行う。				
N （ ）	活動指標 の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		健康カレンダー発行	発行回数	回		1
		広報等掲載回数	掲載回数	回		12
	成果指標	成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		健診・検診申込者の増加	健診・検診申込者数	人		4,000

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）		
事業費等 (a)	円	766,500	693,000	637,200	874,800	864,000		
財源内訳								
国庫支出金	円							
県支出金	円							
地方債	円							
その他特定財源	円							
一般財源	円	766,500	693,000	637,200	874,800	864,000		
職員数	人	0.16	0.16	0.16	0.16	0.16		
正規職員	人							
嘱託職員	人							
臨時職員	人							
合 計	人	0.16	0.16	0.16	0.16	0.16		
対象（者）数								
延利用（者）数 (b)								
単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—		
受益者負担額	円							
市民一人当たりのコスト	円	14.00	12.00	11.00	16.00	37.00		
D （ ）	活動指標	発行回数	目標	回	1	1	1	1
			実績	回	1	1	1	1
		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	—
	掲載回数	目標	回	12	12	12	12	
		実績	回	12	12	12	12	
		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	—
—	目標	—	—	—	—	—		
	実績	—	—	—	—	—		
	達成率	%	—	—	—	—		
O （ ）	成果指標	健診・検診申込者数	目標	人	4,000	4,000	4,000	
			実績	人	2,932	3,312	2,347	6,705
	達成率	%	73.30	82.80	58.68	167.63	100.00	
	—	目標	—	—	—	—	—	
実績	—	—	—	—	—	—		
達成率	%	—	—	—	—	—		
備考	平成23年度から、冊子形式のカレンダーとする。							

事務事業名	一般（情報提供事業）	事業期間	平成 23 ~	年度	整理番号	03020114	
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	小 穴 範 子	連絡先	326

期	目 標	実 績	課 題
第1期	検診受付のとりまとめをする。	検診受付のとりまとめができた。	冊子での申し込みが、3月末となっているため、「間に合いませんか」という問い合わせが多い。申し込み期間についての表記について検討する。
第2期	健診申込書の内容について変更が必要な点をまとめる。	申込み書について検討した。	より分かりやすい内容を工夫する必要がある。
第3期	来年度の健診申込書の案を考える。	来年度の案を作成した。	より分かりやすい内容を工夫する必要がある。
第4期	来年度の健診申込書を作成して配布する。	来年度の申込み書を作成し配布した。	引き続き、今年度作成した冊子についても見直しをしていく。

の 管 理	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 後 の 方 向 性	拡 充	②	⑤	⑦
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）		現 状 維 持	③	⑥	⑨
			縮 小	④	⑧	⑩
			休 廃 止	①		
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			

評価年度	当年度
------	-----

評 価 課 題	視 点					妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定	
	評価の観点					1 2 3 4 判定					1 2 3 4 判定					1 2 3 4 判定						
	チェック					4					レ					3						
課題	冊子形式にし、内容や受け方はわかりやすくなったが、健診の申し込み人数が増えない。どうしたら健診を受けたいと思うのか、受けやすい環境の整備と意識を変える事が課題。																					
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要																					
前年度総合評価判定		B																				
前年度評価シート整理番号		03020116																				

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前										細 施 策 評 価 後									
	・申し込み書の内容を変えて見やすくし、各戸に広報と一緒に配布しました。メールでの申し込み方の説明をし申し込みしやすい状況を検討し、工夫しました。さらに広報や回覧で申込の呼びかけをしました。																			
	・申し込み書は定着してきたものの、経費と手間がかかっている。もう少し簡素化したものにしてほしいと考えます。																			
前年度改革・改善策の実施状況										実施済										
前年度細施策評価における今後の方向性																				

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 （ A C T I O N ）	細 施 策 評 価 前										細 施 策 評 価 後											
	成果の方向性	拡 充		②	⑤	レ	⑦	現 状 維 持		③	⑥	⑨	縮 小		④	⑧	⑩	休 廃 止		①		
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性																					
	・会議等人的集まる場所で、時間を頂いて健診のPRをしていきます。 ・乳幼児健診等で、健診受付の呼びかけをしていきます。 ・検診・健診を受ける事の大切さについて広報活動や講演活動を充実し、受けなくてはならないという意識の向上に努めたいと思います。また、受けたくないという人のご意見をお聞きし、申し込みやすい環境・受けやすい環境整備になるよう工夫します。										・会議等人的集まる場所で、時間を頂いて健診のPRをしていきます。 ・乳幼児健診等で、健診受付の呼びかけをしていきます。 ・検診・健診を受ける事の大切さについて広報活動や講演活動を充実し、受けなくてはならないという意識の向上に努めたいと思います。また、受けたくないという人のご意見をお聞きし、申し込みやすい環境・受けやすい環境整備になるよう工夫します。											

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	保健課長	両 角 直 樹
---------	------------	---------	------	---------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	保健補導員活動支援事業	事業期間	平成 ~ 年度	整理番号	03020115
担当部署	健康福祉部 保健課	健康推進係	作成担当者名	白鳥 晴美	連絡先
					326

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり
				施策	05	第5節 健康づくりの推進
				細施策	05	疾病予防対策の推進
				事務事業	05	保健補導員会活動支援事業
	予算事業名	保健補導員活動支援事業			会計コード	001 款 04 項 01 目 01 事業 09
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	自らの健康意識の高揚、地域住民への健康教育の実践をとおり、地域の健康づくりをすすめるため、保健補導員会の支援活動を行う。				
	現状と背景 （どうして）	地域住民への健康教育の実践等をとおり、疾病の一次予防を中心とした活動を実践し、市民の健康で安全な生活をすすめるために、保健補導員の活動が必要である。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	市民			
		対象 （直接働きかける）	保健補導員			
		意図	保健補導員が地域の中で活動しやすい環境をつくる。			
	手段・方法 （どうやって）	健康づくりに関する情報提供を行う。健診結果の統計など、地域住民の健康課題を伝え、対策をともに考える。保健補導員の学習会企画時には、専門の講師等を紹介し、活動が円滑にすすむようにする。				
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
			保健補導員理事会（平成26年度まで）	回		8
			保健補導員事務局会議（平成27年度から）	回		2
		成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		地域での学習会などの活動が活発化する。				

実 施 状 況 （ D O ）	項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）
			事業費等 (a)	円	2,638,000	2,595,000	2,427,000
財 源 内 訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円		232,000	176,000	184,000	240,000
	地方債	円					
	その他特定財源	円	171,000	171,000	171,000		
	一般財源	円	2,467,000	2,192,000	2,080,000	1,613,723	1,789,000
職 員 数	正規職員	人	0.30	0.30	0.30	0.30	
	嘱託職員	人					
	臨時職員	人					
	合計	人	0.30	0.30	0.30	0.30	
対 象 （ 者 ） 数	対象（者）数						
	延利用（者）数 (b)						
単 位 コ ス ト	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
	受益者負担額	円					
市 民 一 人 当 た り の コ ス ト	市民一人当たりのコスト	円	47.00	46.00	43.00	32.00	36.00
	活 動 指 標	保健補導員理事会	目標	回	8	8	8
実績			回	8	8	7	
達成率		%	100.00	100.00	87.50	-	-
保健補導員事務局会議		目標	回				2
	実績	回				2	
達成率	%	-	-	-	100.00	-	-
成 果 指 標	-	目標	-	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-	-
	達成率	%	-	-	-	-	-
	-	目標	-	-	-	-	-
実績		-	-	-	-	-	
達成率	%	-	-	-	-	-	
備 考							

事務事業名	保健補導員活動支援事業	事業期間	平成	~	年度	整理番号	03020115
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	白鳥晴美	連絡先	326

期	目標	実績	課題
第1期	平成26年をもって保健補導員連合会は休会となったため保健補導員事務局会議を開催し情報提供を行い各地区の保健補導員活動に反映させていく。	事務局会議を開催し情報を共有することができた。	引き続き地区ごとの活動がスムーズに行えるように支援する。
第2期	特定健診・がん検診など地区別に抽出が可能なデータを更新していく。	情報を要求された場合は情報提供ができた。	各SCと連携をし、情報共有をする。
第3期	事務局会議を開催し、本年のまとめをし、新年からの保健補導員活動に生かす。	事務局会議を開催し、情報の共有、課題を出し合った。	理事会がなくなったことで、情報共有が難しくなっている。
第4期	平成28年からの新保健補導員への研修会を開催し、保健補導員活動、茅野市の健診等に関する情報提供を行う。	新保健補導員対象に研修会を開催することができた。	当日欠席者の周知 茅野市の問題を各地区活動を通してさらに理解を深め地区活動に生かしていく必要がある。

事中評価																	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 理事会がなくなったことにより課題の共有ができにくくなっている。	今後の方向性																
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 理事会が無くなった分、各地区・支部活動がしやすくなるための支援、情報公開、情報共有をしていく必要がある。	方向性																
	<table border="1"> <tr> <td>成果の方向性</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性</p>	成果の方向性	②	⑤	⑦	現状維持	③	⑥	⑨	縮小	④	⑧	⑩	休廃止	①		
成果の方向性	②	⑤	⑦														
現状維持	③	⑥	⑨														
縮小	④	⑧	⑩														
休廃止	①																

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
評価の観点					4					3					4	B
チェック					4					3					4	
課題	理事会がなくなったため、各地区・支部活動への支援、課題の共有ができるように考えていくことが必要。															記号の定義
																A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要
																前年度総合評価判定
																B
																前年度評価シート整理番号
																03020117

総合評価	細施策評価前					細施策評価後				
	特定健診、がん検診の結果などのデータを地区別で出し、共有することができた。 理事会がなくなったことによる情報共有があまりできなかったため、情報共有・課題の共有ができるようにしていくことが必要。						特定健診、がん検診の結果などのデータを地区別で出し、共有することができた。 理事会がなくなったことによる情報共有があまりできなかったため、情報共有・課題の共有ができるようにしていくことが必要。			
前年度改革・改善策の実施状況	一部実施					前年度細施策評価における今後の方向性				

改革・改善の方向性	細施策評価前					細施策評価後				
	成果の方向性	②	⑤	⑦		レ				
現状維持	③	⑥	⑨							
縮小	④	⑧	⑩							
休廃止	①									
	皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性					皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性				
改革・改善策	事務局会議の定期的開催と、課題や情報の共有ができるようにしていく。					事務局会議の定期的開催と、課題や情報の共有ができるようにしていく。				

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	保健課長	両角直樹
---------	------------	---------	------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	地区保健補導員活動支援事業（保健補導員事務事業）	事業期間	平成 12 ~ 年度	整理番号	03050109
担当部署	健康福祉部 西部保健福祉サービスセンター 地域福祉推進係	作成担当者名	清水 利 恵	連絡先	82-0073

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり		
			施策 05 第5節 健康づくりの推進			
			細施策 05 疾病予防対策の推進			
			事務事業 06 地区保健補導員活動支援事業			
予 算 事 業 名	西部保健福祉サービスセンター事業費		会計コード	001 款 03 項 01 目 09 事業 03		
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	保健補導員活動①自主活動②保健事業協力活動③健康づくりの学習を支援する。					
現状と背景 （どうして）	保健補導員は、地域の中で現代社会の問題を踏まえ健康づくり（生活習慣病・寝たきり・認知症・心の病気などに関する理解を深めることと、生活習慣の改善策を見出していくこと）に関する自主的な組織活動として生まれてきた経過がある。その健康づくりの担い手である保健補導員活動を支援し、地域の健康づくりに繋げていく。					
目 的 （ P L A N ）	対 象 （ 誰 の た め に ）	受 益 者 （ 誰 の た め に ）	各地区の保健補導員と地域住民			
	対 象 （ 直 接 動 き か け る ）	宮川・金沢地区保健補導員				
意 図 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	保健補導員の健康意識を高めることと、保健補導員が企画する講演会・講習会を支援することで、地域の健康意識を高める。					
手 段 ・ 方 法 （ ど う や っ て ）	保健補導員に対する健康教育の実施。 保健補導員が企画する、区や地域での講演会・学習会などの企画支援。 保健補導員の地域活動の支援。 保健事業協力の依頼。					
N （ ）	活動指標 の 作 成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		保健補導員地区会開催回数	地区会 開催回数	回	宮川・金沢地区会	
		講演会・講習会の開催回数	講演、講習会の実施回数	回		
	成 果 指 標	成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		保健補導員地区会の参加率	地区会の参加率	%	(保健補導員会参加者÷保健補導員数)×100	100
		講演会・講習会の参加率	講演会・講習会の参加率	%	(保健補導員数+講演会等参加者数)÷北部地区20歳以上の人口の10%×100	80

項 目	単 位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円						
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円						
一般財源	円						
職員数	人	0.18	0.18	0.18	0.18		
正規職員	人						
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合 計	人	0.18	0.18	0.18	0.18		
対 象 (者) 数							
延 利 用 (者) 数 (b)							
単 位 コ ス ト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
受 益 者 負 担 額	円						
市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	-	
D （ ）	地区会 開催回数	目標	回				
		実績	回	15	15	15	15
	講演、講習会の実施回数	目標	回				
		実績	回	-	-	-	-
	-	目標	%				
		実績	%	-	-	-	-
O （ ）	地区会の参加率	目標	%	100	100	100	
		実績	%	90	90	90	90
	講演会・講習会の参加率	目標	%				
		実績	%	90.00	90.00	90.00	90.00
	-	目標	%				
		実績	%	-	-	-	-
備考							

事務事業名	地区保健補導員活動支援事業（保健補導員事務事業）	事業期間	平成 12 ~	年度	整理番号	03050109	
担当部署	健康福祉部	西部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	清水 利 恵	連絡先	82-0073

四 半 期 と の 管 理	期	目 標	実 績	課 題
	第1期			
	第2期			
	第3期			
	第4期			

事 中 評 価

の 管 理	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 後 の 方 向 性	成 果 的 拡 充	②	⑤	⑦
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）		現 状 維 持	③	⑥	⑨
			縮 小	④	⑧	⑩
			休 廃 止	①		
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			

評価年度 当年度

評 価 （ C H E C K ）	視 点	妥 当 性				有 効 性				効 率 性				総 合 評 価 判 定		
	評価の観点	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2		3	4
	チェック					4			レ		3					4
課 題	足腰おたっしや教室への協力をお願いし、その中での健康学習も毎月行っているため、地区会の回数は減らす方向で、支部ごとの活動を充実させている。												記 号 の 定 義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要		
	前年度総合評価判定				B				前年度評価シート整理番号				03050109			

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
	地区支部活動を充実させることを目標にしたい。	地区支部活動を充実させることを目標にしたい。
	前年度改革・改善策の実施状況	一部実施
	前年度細施策評価における今後の方向性	

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 （ A C T I O N ）	今 後 の 方 向 性	成 果 的 拡 充	②	⑤	レ	⑦	成 果 的 拡 充			レ		
	方 向 性	現 状 維 持	③	⑥		⑨	現 状 維 持					
		縮 小	④	⑧		⑩	縮 小					
		休 廃 止	①				休 廃 止					
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性						皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					
	地区会は以前より回数を減らしたため、内容を充実し支部活動にいかせる内容を考える。支部活動の開催回数、参加率を指標とする。						地区会は以前より回数を減らしたため、内容を充実し支部活動にいかせる内容を考える。支部活動の開催回数、参加率を指標とする。					

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	西部保健福祉サービスセンター長	依 田 利 文
---------	------------	---------	-----------------	---------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	地区保健補導員活動支援事業（保健補導員事務事業）	事業期間	平成 12 ~ 年度	整理番号	03060113
担当部署	健康福祉部 中部保健福祉サービスセンター 地域福祉推進係	作成担当者名	清水 幸子	連絡先	82-0107

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり		
			施策 05 第5節 健康づくりの推進			
			細施策 05 疾病予防対策の推進			
			事務事業 06 地区保健補導員活動支援事業			
予 算 事 業 名				会計コード 001 款 04 項 01 目 02 事業 05		
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	保健補導員活動①自主活動②保健事業協力活動③健康づくりの学習を支援する。					
現状と背景 （どうして）	保健補導員は、地域の中で現代社会の問題を踏まえ健康づくり（生活習慣病・寝たきり・認知症・心の病気などに関する理解を深めることと、生活習慣の改善策を見出していくこと）に関する自主的な組織活動として生まれてきた経過がある。その健康づくりの担い手である保健補導員活動を支援し、地域の健康づくりに繋げていく。					
目 的	受益者 （誰のために）	各地区の保健補導員と地域住民				
	対象 （直接働きかける）	ちの・米沢・中大塩地区保健補導員				
手 段 ・ 方 法 （どうやって）	意 図 （どんな状態にしたいか）	保健補導員の健康意識を高めることと、保健補導員が企画する講演会・講習会を支援することで、地域の健康意識を高める。				
		保健補導員に対する健康教育の実施。 保健補導員が企画する、区や地域での講演会・学習会などの企画支援。 保健補導員の地域活動の支援。 保健事業協力の依頼。				
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		保健補導員地区会開催回数	地区会 開催回数	回	ちの・米沢・中大塩地区会の開催回数	14
		講演会・講習会の開催回数	講演、講習会の実施回数	回	開催回数	18
	成果指標	成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		保健補導員地区会の参加率	地区会の参加率	%	(保健補導員会参加者÷保健補導員数)×100	100
		講演会・講習会の参加率	講演会・講習会の参加率	%	(保健補導員数+講演会等参加者数)÷中部地区20歳以上の人口の10%×100	80

項 目	単 位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円						
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円						
一般財源	円						
職員数	人						
正規職員	人						
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合計	人						
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	—	—	—	—	—	
D （ ）	地区会 開催回数	目標	17	17	12	14	14
		実績	20	16	12	12	
	達成率	117.65	94.12	100.00	85.71	—	
	講演、講習会の実施回数	目標	33	29	16	18	18
		実績	30	29	16	19	
	達成率	90.91	100.00	100.00	105.56	—	
—	目標	—	—	—	—	—	
	実績	—	—	—	—	—	
達成率	—	—	—	—	—		
O （ ）	地区会の参加率	目標	100	100	100	100	
		実績	78	69	65	91	100
	達成率	78.00	69.00	65.00	91.00	100.00	
	講演会・講習会の参加率	目標	80	80	80	80	80
		実績	71	49	36	65	64
	達成率	88.75	61.25	45.00	81.25	80.00	
備考							

事務事業名	地区保健補導員活動支援事業（保健補導員事務事業）	事業期間	平成 12 ~	年度	整理番号	03060113	
担当部署	健康福祉部	中部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	清水 幸子	連絡先	82-0107

四 半 期 と の 管 理	期	目 標	実 績	課 題
	第1期			
	第2期			
	第3期			
	第4期			

事 中 評 価

の 管 理	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 後 の 方 向 性	成 果 的 拡 充	②	⑤	⑦
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）		現 状 維 持	③	⑥	⑨
			縮 小	④	⑧	⑩
			休 廃 止	①		
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			

評 価 年 度

評 価 課 題 （ C H E C K ）	視 点	妥 当 性				有 効 性				効 率 性				総 合 評 価 判 定		
	評価の観点	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2		3	4
	チェック					4					4					4
	課 題	保健補導員の負担軽減を考え、地区会の回数は検討し支部ごとの活動を充実させている。												記号の定義	A : 計画どおり事業を進めることが適当 B : 事業の進め方に改善が必要 C : 事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D : 事業の統合、休・廃止の検討が必要	
		前年度総合評価判定				A				前年度評価シート整理番号				03060113		

細 施 策 評 価 前

細 施 策 評 価 後

総 合 評 価	地区支部活動を充実させることを目標にしたい。					地区支部活動を充実させることを目標にしたい。				
	前年度改革・改善策の実施状況					前年度細施策評価における今後の方向性				

細 施 策 評 価 前

細 施 策 評 価 後

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 （ A C T I O N ）	今 後 の 方 向 性	成 果 的 拡 充	②	⑤	⑦	成 果 的 拡 充	②	⑤	⑦				
		現 状 維 持	③	⑥	⑨					現 状 維 持	③	⑥	⑨
		縮 小	④	⑧	⑩					縮 小	④	⑧	⑩
		休 廃 止	①							休 廃 止	①		
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性							皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			
		地区会は以前より回数を減らしたため、内容を充実し支部活動に行かせる内容を考える。支部活動の開催回数、参加率を指標とする。					地区会は以前より回数を減らしたため、内容を充実し支部活動に行かせる内容を考える。支部活動の開催回数、参加率を指標とする。						

最終評価年月日	平成28年4月27日	最終評価責任者	中部保健福祉サービスセンター長	保 科 実 早 子
---------	------------	---------	-----------------	-----------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	地区保健補導員活動支援事業（保健補導員事務事業）	事業期間	平成 12 ~ 年度	整理番号	03040109
担当部署	健康福祉部 東部保健福祉サービスセンター 地域福祉推進係	作成担当者名	朝倉 絵 梨 子	連絡先	82-0026

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり
				施策	05	第5節 健康づくりの推進
				細施策	05	疾病予防対策の推進
				事務事業	06	地区保健補導員活動支援事業
	予算事業名				会計コード	001 款 03 項 01 目 09 事業 03
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	保健補導員活動①自主活動②保健事業協力活動③健康づくりの学習を支援する。				
	現状と背景 （どうして）	保健補導員は、地域の中で現代社会の問題を踏まえ健康づくり（生活習慣病・寝たきり・認知症・心の病気などに関する理解を深めることと、生活習慣の改善策を見出していくこと）に関する自主的な組織活動として生まれてきた経過がある。その健康づくりの担い手である保健補導員活動を支援し、地域の健康づくりに繋げていく。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （直接働きかける）	保健補導員の健康意識を高めることと、保健補導員が企画する講演会・講習会を支援することで、地域の健康意識を高める。			
	手段・方法 （どうやって）	受益者 （誰のために）	保健補導員に対する健康教育の実施。 保健補導員が企画する、区や地域での講演会・学習会などの企画支援。 保健補導員の地域活動の支援。 保健事業協力の依頼。			
N （ ）	活動指標 の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		保健補導員地区会開催回数	地区会 開催回数	回	玉川・豊平・泉野地区会	
		講演会・講習会の開催回数	講演、講習会の実施回数	回		
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		保健補導員地区会の参加率	地区会の参加率	%	(保健補導員会参加者÷保健補導員数)×100	100
		講演会・講習会の参加率	講演会・講習会の参加率	%	(保健補導員数+講演会等参加者数)÷東部地区20歳以上の人口の10%×100	80

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円						
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円						
一般財源	円						
職員数	人	0.18	0.18	0.20	0.20	0.20	
正規職員	人						
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合計	人	0.18	0.18	0.20	0.20	0.20	
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	27.00	
D （ ）	活動指標	地区会 開催回数	目標	実績	達成率		
			回	18	18	100	18
	講演会・講習会の実施回数	目標	実績	達成率			
		回	-	-	-	-	-
	-	目標	実績	達成率			
		-	-	-	-	-	-
O （ ）	成果指標	地区会の参加率	目標	実績	達成率		
			%	100	90	90.00	100
	講演会・講習会の参加率	目標	実績	達成率			
		%	-	-	-	-	-
備考							

事務事業名	地区保健補導員活動支援事業（保健補導員事務事業）	事業期間	平成 12 ~	年度	整理番号	03040109	
担当部署	健康福祉部	東部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	朝倉 絵梨子	連絡先	82-0026

期	目 標	実 績	課 題
第1期	地区会の実施	地区会を実施	支部活動の充実を図る
第2期	地区会の実施	地区会を実施	支部活動の充実を図る
第3期	地区会の実施	地区会を実施	支部活動の充実を図る
第4期	地区会の実施	地区会を実施	支部活動の充実を図る

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	
------	--

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4			レ		3					4	

課 題	足腰おたっしや教室への協力をお願いし、その中の健康学習も毎月行っているため、地区会の回数は減らす方向で、支部ごとの活動を充実させている。	記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要
		前年度総合評価判定 B 前年度評価シート整理番号

細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
地区支部活動を充実させることを目標にした。	地区支部活動を充実させることを目標にした。
前年度改革・改善策の実施状況 一部実施	前年度細施策評価における今後の方向性

今 後 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
成果の方向性	拡 充 ② ⑤ ⑦ 現 状 維 持 ③ ⑥ ⑨ 縮 小 ④ ⑧ ⑩ 休 廃 止 ①	拡 充 ② ⑤ ⑦ 現 状 維 持 ③ ⑥ ⑨ 縮 小 ④ ⑧ ⑩ 休 廃 止 ①
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性		
改革・改善策	地区会は以前より回数を減らしたため、内容を充実し支部活動にいかせる内容を考える。支部活動の開催回数、参加率を指標とする。	地区会は以前より回数を減らしたため、内容を充実し支部活動にいかせる内容を考える。支部活動の開催回数、参加率を指標とする。

最終評価年月日	平成28年5月19日	最終評価責任者	東部保健福祉サービスセンター長	依 田 利 文
---------	------------	---------	-----------------	---------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	地区保健補導員活動支援事業（保健補導員事務事業）	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03070113
担当部署	健康福祉部	北部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	山崎 知子	連絡先	77-3000

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり								
				施策	05	第5節 健康づくりの推進								
				細施策	05	疾病予防対策の推進								
				事務事業	06	地区保健補導員活動支援事業								
	予算事業名	北部保健福祉サービスセンター事業費			会計コード	001	款	03	項	01	目	09	事業	05
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	保健補導員活動①自主活動②保健事業協力活動③健康づくりの学習を支援する。												
	現状と背景 （どうして）	保健補導員は、地域の中で現代社会の問題を踏まえ健康づくり（生活習慣病・寝たきり・認知症・心の病気などに関する理解を深めることと、生活習慣の改善策を見出していくこと）に関する自主的な組織活動として生まれてきた経過がある。その健康づくりの担い手である保健補導員活動を支援し、地域の健康づくりに繋げていく。												
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	各地区の保健補導員と地域住民											
		対象 （直接働きかける）	北山地区保健補導員											
		保健補導員の健康意識を高めることと、保健補導員が企画する講演会・講習会を支援することで、地域の健康意識を高める。												
	手段・方法 （どうやって）	保健補導員に対する健康教育の実施。 保健補導員が企画する、区や地域での講演会・学習会などの企画支援。 保健補導員の地域活動の支援。 保健事業協力の依頼。												
（ N ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値					
		保健補導員地区会開催回数	地区会 開催回数	回	北山地区会				5					
		講演会・講習会の開催回数	講演、講習会の実施回数	回					9					
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値					
		保健補導員地区会の参加率	地区会の参加率	%	（保健補導員会参加者÷保健補導員数）×100				100					
		講演会・講習会の参加率	講演会・講習会の参加率	%	（保健補導員数+講演会等参加者数）÷北部地区20歳以上の人口の10%×100				80					

実施状況	項目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算又は決算額）	平成28年度事業計画（予算）	
			事業費等 (a)	円				
財源内訳	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
	一般財源	円						
職員数	正規職員	人	0.18	0.18	0.18	0.18		
	嘱託職員	人						
	臨時職員	人						
	合計	人	0.18	0.18	0.18	0.18		
状況	対象（者）数							
	延利用（者）数 (b)							
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
	受益者負担額	円						
	市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	-	
（ D ）	活動指標	地区会 開催回数	目標	回	8	8	5	5
			実績	回	6	6	6	5
		達成率	%	75.00	75.00	120.00	100.00	-
	-	講演、講習会の実施回数	目標	回	12	8	8	8
			実績	回	10	9	9	9
		達成率	%	83.33	112.50	112.50	112.50	-
	目標	-						
	実績	-						
	達成率	%	-	-	-	-	-	
（ O ）	成果指標	地区会の参加率	目標	%	100	100	100	100
			実績	%	94	100	65	93
		達成率	%	94.00	100.00	65.00	93.00	100.00
	講演会・講習会の参加率	目標	%	80	80	80	80	
		実績	%	60	60	65	65	
		達成率	%	75.00	75.00	81.25	81.25	80.00
備考								

事務事業名	地区保健補導員活動支援事業（保健補導員事務事業）	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03070113
担当部署	健康福祉部	北部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	山崎知子	連絡先	77-3000

四 半 期 と の 管 理	期	目 標	実 績	課 題
	第1期			
	第2期			
	第3期			
	第4期			

事 中 評 価

今 後 の 方 向 性	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	成 果 的 方 向 性	拡 充	②	⑤	⑦
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	成 果 的 方 向 性	現 状 維 持	③	⑥	⑨
		成 果 的 方 向 性	縮 小	④	⑧	⑩
		成 果 的 方 向 性	休 廃 止	①		
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			

評価年度 当年度

評 価 （ C H E C K ）	視 点	妥 当 性				有 効 性				効 率 性				総 合 評 価 判 定			
	評価の観点	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2		3	4	判定
	チェック					4			レ		3						4
課 題	足腰おたっしや教室への協力をお願いし、その中での健康学習も毎月行っているため、地区会の回数は減らす方向で、支部ごとの活動を充実させている。												記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要			
前年度総合評価判定														前年度評価シート整理番号			

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
	地区支部活動を充実させることを目標にしたい。	地区支部活動を充実させることを目標にしたい。
前年度改革・改善策の実施状況		前年度細施策評価における今後の方向性

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 （ A C T I O N ）	今 後 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後									
	成 果 的 方 向 性	拡 充	②	⑤	レ	⑦	成 果 的 方 向 性	拡 充				
	成 果 的 方 向 性	現 状 維 持	③	⑥		⑨	成 果 的 方 向 性	現 状 維 持			レ	
	成 果 的 方 向 性	縮 小	④	⑧		⑩	成 果 的 方 向 性	縮 小				
		休 廃 止	①				成 果 的 方 向 性	休 廃 止				
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性						
改革・改善策		地区会は以前より回数を減らしたため、内容を充実し支部活動にいかせる内容を考える。支部活動の開催回数、参加率を指標とする。					地区会は以前より回数を減らしたため、内容を充実し支部活動にいかせる内容を考える。支部活動の開催回数、参加率を指標とする。					

最終評価年月日 平成28年4月12日 最終評価責任者 北部保健福祉サービスセンター長 牛山 隆

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	うつ等対策事業	事業期間	平成 27 ~ 28 年度	整理番号	03020116	
担当部署	健康福祉部 保健課	健康推進係	作成担当者名	中谷 恵美	連絡先	326

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり
				施策	05	第5節 健康づくりの推進
				細施策	06	こころの健康
				事務事業	02	心の健康づくりの普及啓発事業
	予算事業名	こころの相談事業費			会計コード	001 款 04 項 01 目 02 事業 08
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	・こころの健康づくりの普及啓発として、増加傾向にある自殺対策を始めとする、こころの健康についての相談や各企業を対象とした講演会を実施することにより、こころの健康についての理解と知識を普及啓発する必要があることから本事業を実施する。 ・こころの不調により自殺への意向を防ぐために専門家による相談を行う。 ・薬物依存・アルコール依存防止のための活動を行う。				
	現状と背景 （どうして）	・自殺者が減少しない。 ・アルコール依存症になるとそこから抜け出すのが難しく、肝機能障害や痛風を起こしている方がいる。 ・たばこによる害がある。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象	受益者 （誰のために）	市民		
		対象 （直接働きかける）	市民			
	手段・方法 （どうやって）	・市内の中小企業を中心に向いてこころの健康についての講座を行う。（臨床心理士、看護師、スポーツインストラクターなど） ・自殺企図へ移行しないように専門家による面接を行う。（対面型相談） ・こころの健康について（自殺・アルコール依存・ニコチン依存）と相談場所を周知のため広報ものに記事掲載する。				
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		広報活動	広報	回		2
		対面型相談	対面型相談件数	件		68
		中小企業への出張講座	実施回数	回		10
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		死亡原因が自殺以外の者の率	自殺以外での死亡率	%	自殺以外での死亡者÷全死亡者	100

実施状況	項目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算又は決算額）	平成28年度事業計画（予算）	
			事業費等 (a)	円	1,431,595	759,392	751,997	679,847
財源内訳	国庫支出金	円						
	県支出金	円	1,431,595	759,392	745,997	462,000	378,000	
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
職員数	一般財源	円			6,000	217,847	380,000	
	正規職員	人	0.07	0.12	0.11	0.11	1.11	
	嘱託職員 臨時職員 合計	人						
状況	対象（者）数							
	延利用（者）数 (b)							
状況	単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—	
	受益者負担額	円						
状況	市民一人当たりのコスト	円	25.00	14.00	13.00	12.00	163.00	
	活動指標	広報	目標	2	2	2	2	
実績				2	2	2		
達成率		%	—	100.00	100.00	100.00	—	
対面型相談件数		目標	件	57	60	68	68	
		実績			83	85	74	
		達成率	%	—	138.33	125.00	108.82	—
実施回数	目標	回	10	10	10	10		
	実績		7	6	6	8		
	達成率	%	70.00	60.00	60.00	80.00	—	
成果指標	自殺以外での死亡率	目標	%	100	100	100	100	
		実績		98	98	98	98	
	達成率	%	98.00	98.00	98.00	98.00	100.00	
	—	目標	—					
実績								
達成率	%	—	—	—	—	—		
備考								

事務事業名	うつ等対策事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03020116
担当部署	健康福祉部	保健課	健康推進係	作成担当者名	中谷 恵美	連絡先	326

期	目 標	実 績	課 題
第1期	・企業にメンタルヘルス講座の案内を送る。 ・こころの相談を随時実施。	・商工課に依頼して約500社に通知を発送した。 ・こころの相談を20件実施した。	・企業メンタルヘルス講座の依頼は現在2件。増やせるように周知していく。
第2期	・小規模の事業所にメンタルヘルス講座の案内を送る。	・市内の企業2社に対し、4回メンタルヘルス出張講座を実施した。 ・10月にこころの健康に関する内容を広報に掲載し市民に周知した。	・出張講座の依頼に関して、なるべく相手の希望する内容に沿って実施できるようにしたい。
第3期	・相談が必要な方に対し、心の相談を紹介し随時実施していく。	・市内の事業所4社に4回メンタルヘルス出張講座を実施した。 ・11月までにこころの相談を41回実施。	・こころの相談、出張講座等希望があれば随時対応していきたい。
第4期	・相談が必要な方に対し、心の相談を紹介し随時実施していく。 ・メンタルヘルス出張講座の依頼があれば随時実施していく。	・3月末までにこころの相談を74回実施。 ・メンタルヘルス出張講座は、1月中旬に予定していたが、雪のため中止となった。	・平成27年12月から労働安全衛生法の改正により、50人以上の従業員がいる企業に対し、ストレスチェックが義務づけられました。こころの相談については、希望者に対し随時相談対応できるようにしていきたい。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 ・12月から、労働安全衛生法の改正により従業員50以上の事業所に対しストレスチェック制度が義務付けられました。このことによる、ストレスチェック導入に向けての方法や、管理職向けの対応方法などの希望が増えています。 新年度の実実施計画・予算要求事項（改革・改善策） ・こころの相談については、上記の法改正による面接の需要が増えることが予想されるので、来年度は85回分の予算を要求しました。 ・地域自殺対策強化事業（補助金）の補助率が1/2となったため、広報による周知等、お金をかけずに掲載できる部分については内容を検討し縮小して	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 性
	② ⑤ ⑦ レ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ① 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定	
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定		
チェック					4					レ	3					4	B
課題	・こころの健康相談については、今年度実施回数が増えた。こころの健康相談が始まった当初から継続で面接を行っている相談者もいる。他の支援も入っているケースもあるが精神的に不安定で定期的に相談が必要な者もいる。新規者については、26年度からこども部に臨床心理士がいることからどちらで行った方がよいケースか検討して行く必要がある。 ・出張講座については定着している企業もある。しかし定着してきている企業は規模も大きくメンタルヘルスの体制が整っている企業が多い。小規模な企業は講座を設ける時間も難しいため今後方法等を検討していく必要がある。																
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要																
前年度総合評価判定	B																
前年度評価シート整理番号																	

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	・対面型相談はニーズに合わせて相談枠を増やし、緊急性に応じて他部署の相談枠につなげていく。 ・出張講座については、商工会議所等と協力し小規模企業等に更に積極的に働きかける。など事業の進め方を改善していくことが必要である。	・対面型相談はニーズに合わせて相談枠を増やし、緊急性に応じて他部署の相談枠につなげていく。 ・出張講座については、商工会議所等と協力し小規模企業等に更に積極的に働きかける。事業の進め方を改善していくことが必要である。								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 (ACTION)	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	・対面型相談は、こども関係の相談はこども部や母子の相談へつなげていく。緊急なケースや相談場所のない年齢層を中心に行っていく。 ・出張講座は、小企業や今年度実施できなかった企業に働きかけて実施していく。また、商工会議所とも協力検討していく。	・対面型相談は、こども関係の相談はこども部や母子の相談へつなげていく。対象者の時間的な都合も考慮し、より身近に利用できるように工夫していく。緊急なケースや相談場所のない年齢層を中心に行っていく。 ・出張講座は、小企業や今年度実施できなかった企業に働きかけて実施していく。また、商工会議所とも協力検討していく。								
成 果 の 方 向 性 拡 充 現 状 維 持 縮 小 休 廃 止 ① 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	成 果 の 方 向 性 拡 充 現 状 維 持 縮 小 休 廃 止 ① 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性									

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	保健課長	両角直樹
---------	------------	---------	------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	こころの健康づくりの普及啓発事業	事業期間	平成 〇〇 ~ 〇〇 年度	整理番号	03050111
担当部署	健康福祉部	作成担当者名	清水 利恵	連絡先	82-0073

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり			
			施策 05 第5節 健康づくりの推進				
			細施策 06 こころの健康				
			事務事業 02 心の健康づくりの普及啓発事業				
	予算事業名	西部保健福祉サービスセンター事業費		会計コード 001 款 03 項 01 目 09 事業 03			
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	健康づくりの普及啓発として、訪問等による成人保健に関する相談や支援を始めとする、こころの健康についての知識を普及啓発する必要があることから本事業を実施して行く。					
	現状と背景 （どうして）	65歳未満の自殺者が多いことと精神疾患による長期入院患者が多いことなどの課題がある。					
	目的 （どんな状態にしたいか）	受益者 （誰のために）	宮川・金沢地区に住む市民				
		対象 （直接働きかける）	同上				
	手段・方法 （どうやって）	地域や職場、家庭でこころの健康に関する意識を高め、早期対応が出来る環境をつくるとともに、過度のストレスの継続が及ぼす精神的・身体的健康への影響を緩和するため、職場や地域サポート体制を充実し、個人を支える社会的環境整備を図る。 訪問等による相談の継続実施。					
（ N ）	評価指標の作成	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
			訪問等による心の相談	相談件数	件		
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	
		訪問等による心の相談回数	相談件数	件			

項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算又は決算額）	平成28年度事業計画（予算）
実 施 状 況 （ D O ）	事業費等 (a)	円					
	財源内訳						
	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
	一般財源	円					
職員数		人			0.10	0.10	
	正規職員	人					
	嘱託職員	人					
	臨時職員	人					
	合計	人			0.10	0.10	
	対象（者）数						
	延利用（者）数 (b)						
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
	受益者負担額	円					
	市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	-
活動指標	相談件数	目標	件			10	5
		実績	件				
	達成率	%	-	-	-	-	-
	-	目標	件				
		実績	件				
	達成率	%	-	-	-	-	-
成果指標	相談件数	目標	件			10	5
		実績	件				
	達成率	%	-	-	-	-	
	-	目標	件				
実績		件					
達成率	%	-	-	-	-		
備考	※ 成果指標を設定することは性質上なじまない。						

事務事業名	こころの健康づくりの普及啓発事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03050111
担当部署	健康福祉部	西部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	清水 利恵	連絡先	82-0073

四 半 期 と の 管 理	期	目 標	実 績	課 題
	第1期			
	第2期			
	第3期			
	第4期			

事 中 評 価

の 管 理	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 後 の 方 向 性	成 果 的 拡 充	②	⑤	⑦
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）		現 状 維 持	③	⑥	⑨
			縮 小	④	⑧	⑩
			休 廃 止	①		
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			

評価年度 当年度

評 価 課 題 （ C H E C K ）	視 点	妥 当 性				有 効 性				効 率 性				総 合 評 価 判 定			
	評価の観点	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	B
	チェック					4			レ		3					4	
課 題	サービスセンターへ相談があったケースについては把握できるが、潜在的にいるうつ病や自殺願望がある方の把握が難しい。														記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要		
		前年度総合評価判定				B				前年度評価シート整理番号				03050111			

総 合 評 価 （ C H E C K ）	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後		
	今後もニーズに応じて行くことが必要であるが他部署でも相談が行われている。相談者の相談内容や緊急性に合わせて適切な相談場所につなげていくことが必要である。	今後もニーズに応じて行くことが必要であるが他部署でも相談が行われている。相談者の相談内容や緊急性に合わせて適切な相談場所につなげていくことが必要である。		
	前年度改革・改善策の実施状況	一部実施	前年度細施策評価における今後の方向性	

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 （ A C T I O N ）	今 後 の 方 向 性	成 果 的 拡 充	②	⑤	レ	⑦	成 果 的 拡 充			レ	
	方 向 性	現 状 維 持	③	⑥		⑨	現 状 維 持				
		縮 小	④	⑧		⑩	縮 小				
		休 廃 止	①				休 廃 止				
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					
改 革 ・ 改 善 策	訪問等による相談は緊急性や他の相談につなげていけるか検討はしていく必要がある。					訪問等による相談は緊急性や他の相談につなげていけるか検討はしていく必要がある。					

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	西部保健福祉サービスセンター長	依 田 利 文
---------	------------	---------	-----------------	---------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	こころの健康づくりの普及啓発事業	事業期間	平成 〇〇 年度	整理番号	03060115
担当部署	健康福祉部	作成担当者名	清水 幸子	連絡先	82-0107

計	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり								
				施策	05	第5節 健康づくりの推進								
画	予算事業名				会計コード	001	款	03	項	01	目	09	事業	04
	事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	健康づくりの普及啓発として、訪問等による成人保健に関する相談や支援を始めとする、こころの健康についての知識を普及啓発する必要があることから本事業を実施して行く。												
P	現状と背景 (どうして)	65歳未満の自殺者が多いことと精神疾患による長期入院患者が多いことなどの課題がある。												
	目的	対象	受益者 (誰のために)	ちの・米沢・中大塩地区に住む市民										
L		対象	対象 (直接働きかける)	同上										
		意図 (どんな状態にしたいか)	地域や職場、家庭でこころの健康に関する意識を高め、早期対応が出来る環境をつくるとともに、過度のストレスの継続が及ぼす精神的・身体的健康への影響を緩和するため、職場や地域サポート体制を充実し、個人を支える社会的環境整備を図る。											
A	手段・方法 (どうやって)	訪問等による相談の継続実施。												
	N	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値			
活動指標		訪問等による心の相談	相談件数	件										
O	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値				
		訪問等による心の相談回数	相談件数	件										

項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)
実 施 状 況	事業費等(a)	円					
	財源内訳						
	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
	一般財源	円					
職 員 数	正規職員	人			0.10	0.10	
	嘱託職員 臨時職員	人					
合計	人			0.10	0.10		
対 象 数	対象(者)数						
	延利用(者)数(b)						
単 位 コ ス ト	単位コスト(a)/(b)	円	-	-	-	-	-
	受益者負担額	円					
市 民 一 人 当 た り の コ ス ト	市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	-
	活 動 指 標	相談件数	目標	件			
実績			件	2	3	32	21
達成率		%	-	-	-	-	
-		目標	件				
	実績	件	-	-	-	-	
達成率	%	-	-	-	-		
成 果 指 標	相談件数	目標	件				
		実績	件	2	3	32	21
	達成率	%	-	-	-	-	
	-	目標	件				
実績		件	-	-	-	-	
達成率	%	-	-	-	-		
備考	※ 成果指標を設定することは性質上なじまない。						

事務事業名	こころの健康づくりの普及啓発事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03060115
担当部署	健康福祉部	中部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	清水 幸子	連絡先	82-0107

四 半 期 と の 管 理	期	目 標	実 績	課 題
	第1期			
	第2期			
	第3期			
	第4期			

事 中 評 価										
の 管 理	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化					今 後 の 方 向 性	成 果 的 拡 充	②	⑤	⑦
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）						現 状 維 持	③	⑥	⑨
							縮 小	④	⑧	⑩
							休 廃 止	①		
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性										

評価年度	
------	--

評 価 課 題 （ C H E C K ）	視 点	妥 当 性				有 効 性				効 率 性				総 合 評 価 判 定			
	評価の観点	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	B
	チェック					4					3					4	
課 題	サービスセンターへ相談があったケースについては把握できるが、潜在的にいるうつ病や自殺願望がある方の把握が難しい。												記 号 の 定 義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要			
	前年度総合評価判定				B				前年度評価シート整理番号				03060115				

総 合 評 価 （ C H E C K ）	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後		
	今後もニーズに応じて行くことが必要であるが他部署でも相談が行われている。相談者の相談内容や緊急性に合わせて適切な相談場所につなげていくことが必要である。	今後もニーズに応じて行くことが必要であるが他部署でも相談が行われている。相談者の相談内容や緊急性に合わせて適切な相談場所につなげていくことが必要である。		
	前年度改革・改善策の実施状況	一部実施	前年度細施策評価における今後の方向性	

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 （ A C T I O N ）	今 後 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後							
	成 果 的 拡 充	②	⑤	レ	⑦	成 果 的 拡 充			レ	
	現 状 維 持	③	⑥		⑨	現 状 維 持				
	縮 小	④	⑧		⑩	縮 小				
休 廃 止	①				休 廃 止					
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				
改 革 ・ 改 善 策	訪問等による相談は緊急性や他の相談につなげていけるか検討はしていく必要がある。					訪問等による相談は緊急性や他の相談につなげていけるか検討はしていく必要がある。				

最終評価年月日	平成28年4月27日	最終評価責任者	中部保健福祉サービスセンター長	保 科 実 早 子
---------	------------	---------	-----------------	-----------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	こころの健康づくりの普及啓発事業	事業期間	平成 〇〇 年度	整理番号	03040111
担当部署	健康福祉部	作成担当者名	朝倉 絵梨子	連絡先	82-0026

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり		
			施策 05 第5節 健康づくりの推進			
			細施策 06 こころの健康			
			事務事業 02 心の健康づくりの普及啓発事業			
予 算 事 業 名				会計コード 001 款 03 項 01 目 09 事業 03		
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	健康づくりの普及啓発として、訪問等による成人保健に関する相談や支援を始めとする、こころの健康についての知識を普及啓発する必要があることから本事業を実施して行く。					
現状と背景 （どうして）	65歳未満の自殺者が多いことと精神疾患による長期入院患者が多いことなどの課題がある。					
目 的 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	受益者 （誰のために）	玉川・豊平・泉野地区に住む市民				
	対象 （直接働きかける）	同上				
	意 図 （どんな状態にしたいか）	地域や職場、家庭でこころの健康に関する意識を高め、早期対応が出来る環境をつくるとともに、過度のストレスの継続が及ぼす精神的・身体的健康への影響を緩和するため、職場や地域サポート体制を充実し、個人を支える社会的環境整備を図る。				
手 段 ・ 方 法 （どうやって）	訪問等による相談の継続実施。					
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		訪問等による心の相談	相談件数	件		
	成果指標	成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		訪問等による心の相談回数	相談件数	件		

項 目	単 位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円						
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円						
一般財源	円						
職員数	人		0.10	0.10	0.10	0.10	
正規職員	人						
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合 計	人		0.10	0.10	0.10	0.10	
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	14.00	
D O （ ）	活動指標	相談件数	目標	件			
		実績	件				
	達成率	%	-	10	8	10	-
	-	目標	件				
		実績	件				
	達成率	%	-	-	-	-	-
成果指標	相談件数	目標	件				
	実績	件					
	達成率	%	-	10	8	10	-
	-	目標	件				
実績	件						
達成率	%	-	-	-	-	-	
備考	※ 成果指標を設定することは性質上なじまない。						

事務事業名	こころの健康づくりの普及啓発事業	事業期間	平成	~	年度	整理番号	03040111
担当部署	健康福祉部	東部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	朝倉絵梨子	連絡先	82-0026

四 半 期 と の 管 理	期	目 標	実 績	課 題
	第1期			
	第2期			
	第3期			
	第4期			

事 中 評 価

の 管 理	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 後 の 方 向 性	成 果 的 拡 充	②	⑤	⑦
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）		現 状 維 持	③	⑥	⑨
			縮 小	④	⑧	⑩
			休 廃 止	①		
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			

評価年度

評 価 課 題 （ C H E C K ）	視 点	妥 当 性				有 効 性				効 率 性				総 合 評 価 判 定			
	評価の観点	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2		3	4	判定
	チェック					4					レ	3					
課 題	サービスセンターへ相談があったケースについては把握できるが、潜在的にいるうつ病や自殺願望がある方の把握が難しい。												記 号 の 定 義				
													A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要				
													前年度総合評価判定	B			
													前年度評価シート整理番号				

細 施 策 評 価 前

細 施 策 評 価 後

総 合 評 価	今後もニーズに応じて行くことが必要であるが他部署でも相談が行われている。相談者の相談内容や緊急性に合わせて適切な相談場所につなげていくことが必要である。	今後もニーズに応じて行くことが必要であるが他部署でも相談が行われている。相談者の相談内容や緊急性に合わせて適切な相談場所につなげていくことが必要である。
	前年度改革・改善策の実施状況	一部実施
改 革 ・ 改 善 策 （ A C T I O N ）	今 後 の 方 向 性	今 後 の 方 向 性
	訪問等による相談は緊急性や他の相談につなげていけるか検討はしていく必要がある。	訪問等による相談は緊急性や他の相談につなげていけるか検討はしていく必要がある。

細 施 策 評 価 前

細 施 策 評 価 後

改 革 ・ 改 善 策 （ A C T I O N ）	今 後 の 方 向 性	成 果 的 拡 充	②	⑤	レ	⑦
		現 状 維 持	③	⑥		⑨
		縮 小	④	⑧		⑩
		休 廃 止	①			
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				
改 革 ・ 改 善 策 （ A C T I O N ）	今 後 の 方 向 性	成 果 的 拡 充				レ
		現 状 維 持				
		縮 小				
		休 廃 止				
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				
		訪問等による相談は緊急性や他の相談につなげていけるか検討はしていく必要がある。				
		訪問等による相談は緊急性や他の相談につなげていけるか検討はしていく必要がある。				

最終評価年月日	平成28年5月19日	最終評価責任者	東部保健福祉サービスセンター長	依田利文
---------	------------	---------	-----------------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	こころの健康づくりの普及啓発事業			事業期間	平成	～	年度	整理番号	03070115					
担当部署	健康福祉部	北部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	中村 紀子			連絡先	77-3000					
計	市民プランにおける位置づけ	有	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり									
			施策	05	第5節 健康づくりの推進									
画	事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)		細施策	06	こころの健康									
			事務事業	02	心の健康づくりの普及啓発事業									
P	予算事業名	北部保健福祉サービスセンター事業費			会計コード	001	款	03	項	01	目	09	事業	05
	現状と背景 (どうして)	65歳未満の自殺者が多いことと精神疾患による長期入院患者が多いことなどの課題がある。												
L	目的	対象	湖東・北山地区に住む市民											
		対象	同上											
A	手段・方法 (どうやって)	意図 (どんな状態にしたいか)	地域や職場、家庭でこころの健康に関する意識を高め、早期対応が出来る環境をつくるとともに、過度のストレスの継続が及ぼす精神的・身体的健康への影響を緩和するため、職場や地域サポート体制を充実し、個人を支える社会的環境整備を図る。											
		訪問等による相談の継続実施。												
N	評価指標の作成	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値			
		成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値			
			訪問等による心の相談	相談件数	件									
			訪問等による心の相談回数	相談件数	件									

項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)
実 施 状 況	事業費等(a)	円					
	財源内訳						
	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
	一般財源	円					
D	職員数	人	0.01	0.01	0.01	0.01	
	対象(者)数						
O	延利用(者)数(b)						
	単位コスト(a)/(b)	円	-	-	-	-	-
O	受益者負担額	円					
	市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	-
O	活動指標	相談件数	目標	実績	達成率		
		件	19	22	10	22	
O	成果指標	相談件数	目標	実績	達成率		
		件	19	22	10	22	
備考		目標					
		実績					
※ 成果指標を設定することは性質上なじまない。							

事務事業名	こころの健康づくりの普及啓発事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	03070115
担当部署	健康福祉部	北部保健福祉サービスセンター	地域福祉推進係	作成担当者名	中村紀子	連絡先	77-3000

四 半 期 と の 管 理	期	目 標	実 績	課 題
	第1期			
	第2期			
	第3期			
	第4期			

事 中 評 価

の 管 理	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 後 の 方 向 性	成 果 的 拡 充	②	⑤	⑦
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）		現 状 維 持	③	⑥	⑨
			縮 小	④	⑧	⑩
			休 廃 止	①		
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			

評価年度 当年度

評 価 課 題 （ C H E C K ）	視 点	妥 当 性				有 効 性				効 率 性				総 合 評 価 判 定			
	評価の観点	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	B
	チェック					4			レ		3					4	
課 題	サービスセンターへ相談があったケースについては把握できるが、潜在的にうつ病や自殺願望がある方の把握が難しい。												記 号 の 定 義				
													A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要				
													前年度総合評価判定				
													前年度評価シート整理番号				

総 合 評 価 （ C H E C K ）	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
	今後もニーズに応じて行くことが必要であるが他部署でも相談が行われている。相談者の相談内容や緊急性に合わせて適切な相談場所につなげていくことが必要である。	今後もニーズに応じて行くことが必要であるが他部署でも相談が行われている。相談者の相談内容や緊急性に合わせて適切な相談場所につなげていくことが必要である。
	前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 （ A C T I O N ）	今 後 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後						
	方 向 性	成 果 的 拡 充	②	⑤	レ	⑦			
		現 状 維 持	③	⑥		⑨			
		縮 小	④	⑧		⑩			
休 廃 止		①							
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			
改 革 ・ 改 善 策	訪問等による相談は緊急性や他の相談につなげていけるか検討はしていく必要がある。				訪問等による相談は緊急性や他の相談につなげていけるか検討はしていく必要がある。				

最終評価年月日	平成28年4月12日	最終評価責任者	北部保健福祉サービスセンター長	牛 山 隆
---------	------------	---------	-----------------	-------